

質 問 書 兼 質 問 回 答 書

工事名： 八潮市新庁舎建設工事(建築工事・南側外構工事)

質問 番号	仕様書 (ページ)	図面 番号	質 問	回 答
1	共通特 記仕様 書-2	A-002	101.オイルタンク、01.地下埋設オイルタンクに支持杭と記載がありますが、構図図には杭の記載がありません、杭なしと考えて宜しいですか。	よろしいです。
2	参考事 業スケ ジュール	A-202	全体工程の中に東側水路の改修時期の記載がありますが、この期間は A-205：工事用出入口 1 メインゲートが使えません、工事計画として南側道路（市道 2033 号線、市道 2034 号線）からの搬入は可能と考えて宜しいですか。	出入口は原則として A-203 に記載の敷地東側 1 箇所、西側 1 箇所としてください。やむを得ない理由等による場合は監督員との協議によります。
3	水路改 修計画 図-1	L-017	水路改修工事期間中の仮設排水は、別途設備工事の対応と考えて宜しいですか。	本工事としてください。
4	撤去施 設平面 図-1	K-001	工区内の凡例明示の外構施設は特記なき限り全て撤去とありますが、既存庁舎棟のエントランス庇（庇受け柱、基礎）の処置記載がありません、また庇を残存とした場合新庁舎と干渉しますが、どの	K-009 図の既存庁舎庇解体図に示す範囲を解体してください。

			ような処置と考えるのでしょうか。	
5	撤去施設平面 図-1	K-001	既存庁舎棟のエントランスと仮囲い境の撤去部分（床、腰壁等）の記載がありません、どのような処置と考えるのでしょうか。	該当箇所の擁壁の撤去範囲及び撤去詳細は K-004 図、K-010 図の符号 B25 を参照してください。床の撤去範囲及び撤去詳細は K-001 図、K-006 図の符号 B04、B05 を参照してください。
6	撤去施設平面 図-3	K-003	防火水槽の撤去ですか、オープン掘削と考えた場合、仮囲いの盛替えが必要です、その場合屋外機周辺の通路利用は不可と考えて宜しいですか。 また、撤去後の埋め戻し土の仕様を御指示下さい。	防火水槽の撤去期間に限り、室外機置場周辺の通路利用は不可としてよろしいです。 撤去時期については、事前に監督員の承諾を得てください。 近接する室外機等に影響が出た場合には、受注者負担にて現状回復を行ってください。 当該箇所の埋戻し土は A 種としてください。
7	撤去施設平面 図-3	K-003	防火水槽の用水（約 100 t）は、空と考えて宜しいのですか。	貯水された状態となっていますので、排水も本工事に見込んでください。

8	撤去施設平面 図-3	K-003	石碑、モニュメント等の移設がありますが、移設場所の記載がありません、御指示下さい。	石碑、モニュメントは監督員と協議のうえ、既存防火水槽付近の本工事にて整地までを行う範囲（L-007 図参照）に仮置きしてください。看板13、15については、監督員と協議のうえ現況位置から敷地内側へ2mほどセットバックしたコグマザサ植栽内に移設してください。
9	撤去施設平面 図-1~3	K-001~003	撤去を行うものは、全て有害物（アスベスト他）等は含まれていないものとして、自由処分と考えて宜しいですか	よろしいです。
10	山留・構台計画図	S-101.102	新東棟（掘削長約GL-2.9m）の山留記載がありません、山留なしと考えるのでしょうか。	山留・構台計画図は参考図となりますので、山留計画は受注者にて検討してください。 なお、シートパイル等は不要としています。
11	山留・構台計画図	S-101.102	山留鋼材は、残置と考えて宜しいですか。	山留・構台計画図は参考図となりますので、山留計画は受注者にて検討してください。 なお、参考図では引抜撤去としています。

12			地盤調査(ボーリング費)は別途と考えて宜しいでしょうか。又、追加地盤調査の必要はありますか。あれば具体的な指示をお願いします。	追加調査は予定していません。
13		S-2 A-003	建築特記仕様書において、3章05埋戻し及び盛土でA種が適用になっていますが、意匠特記仕様書A-03図の土工事では新東棟基礎はB種で記載されています。庁舎はA種、新東棟はB種と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
14		S-2	建築特記仕様書において、6章22.マスコングリートでセメントの種類が普通ポルトランドセメント、中庸熱ポルトランドセメント、低熱ポルトランドセメントの3種類が適用になっていますが、中庸熱ポルトランドセメントを適用して宜しいでしょうか。	中庸熱ポルトランドセメントを採用することはよろしいです。なお、温度応力解析にてひび割れ等の検証を行った場合のみ、普通ポルトランドセメントの採用を可とします。
15		S-2	建築特記仕様書において、6章22マスコングリートで、マスコングリートの適用範囲が庁舎の基礎・基礎梁と記載されています。又、6章08コンクリートの品質管理で躯体防水混和剤(ベスト)の適用箇所は庁舎の耐圧版、地下外周基礎梁、擁壁と記載されていて、膨張材の適用箇所は同上と記載されています。マスコングリートと防水混和剤、膨張材の適用箇所は同じと考えて宜しいでしょうか。又、その範囲は最下部床版含めた基礎部全てと免震擁壁、ピット内立上り、免震層立上りと考えて宜しいでしょうか。(免震装置下部の後打ち高強度コンクリートFc60は除く。)	耐圧版・擁壁はマスコングリートの適用範囲から除外してよろしいです。またピット内立上り・免震層立上りはマスコングリート・膨張剤、防水混和剤の適用範囲から除外してよろしいです。

16	S-2	建築特記仕様書において、6章08コンクリートの品質管理で、水セメント比、単位水量、単位セメント量の記載がありますが、マスコンクリートにも同様の仕様を適用して宜しいでしょうか。適用しない場合はマスコンクリート Fc30 の、水セメント比、単位水量、単位セメント量を御指示下さい。	よろしいです。
17	S-2	建築特記仕様書において、6章25設計基準強度が 36N/mm ² を超えるコンクリートの取り扱いに記載の Fc60 のコンクリートの仕様は、高性能 AE 減水剤、普通ポルトランドセメント、水セメント比 65%以下、単位水量 175kg/m ³ 以下、単位セメント量 270kg/m ³ 以下と考えて宜しいでしょうか。	仕様は、高性能 AE 減水剤、普通ポルトランドセメント、水セメント比 65%以下、単位水量 175kg/m ³ 以下、単位セメント量 270kg/m ³ 以上としてください。
18	S-2	建築特記仕様書において、6章23無筋コンクリートで防水押えコンクリート、嵩上げコンクリートが普通コンクリートと軽量コンクリート両方に記載がありますが、普通コンクリートを適用して宜しいでしょうか。軽量コンクリートを使用する場合、気乾比重、スランプ 値を御指示下さい。	よろしいです。
19	S-73	雑詳細図において、擁壁伸縮目地仕様要領図に止水板の記載がありますが、伸縮目地の範囲 3m ピッチに止水板及び添え筋が共に必要と考えてよろしいですか。	よろしいです。
20	S-17 S-67~S-69	免震材料リストにおいて、SP50~SP80 の弾性すべり支承材のリストが S-67~S-69 図に 3 種類記載があります。S-67 のリストの仕様を適用して宜しいでしょうか。	S-67~S-69 のどの部材を選定しても支障ありません。受注者の判断で決定してください。

21		S-16	免震工事特記仕様書において、かが針式変位記録計の記録板の寸法が不明です。□1200程度と考えて宜しいでしょうか。	□1300x1300を基準としてください。
22		S-48	床スラブリストにおいて、特記なきに記載の捨て型枠フラットデッキの使用範囲は、3階床以上のDS1～DS5と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
23		S-10 A-022	<p>RC梁貫通補強において、下記の質問の回答を御願います。</p> <p>1)A-022 図に記載の人口口、連通管、通気管の建築スラブの補強はS-10 図の梁貫通補強数量、及び、補強仕様の表の補強筋枚数に含まれていると考えて宜しいでしょうか。</p> <p>2)A-144 図に記載の連通管、通気管の建築スラブの補強はS-10 図の梁貫通補強数量、及び、補強仕様の表の補強筋枚数に含まれていると考えて宜しいでしょうか。</p> <p>3)上記1),2)より、S-10 図の梁貫通補強数量、及び、補強仕様の表の補強筋枚数はA-022 図、A-144 図に記載の建築スラブ+建築図に記載の無い設備スラブの合計の補強枚数と考えて宜しいでしょうか。(150φ～250ΦはA-022 図、A-144 図のスラブに記載の無いφになります)</p> <p>4)上記3)より、設備スラブのか所数を棟毎、φ毎、階毎に御指示下さい。</p> <p>5)上記3)より、S-10 図の梁貫通補強数量、及び、補強仕様の表の補強筋枚数が新庁舎棟、新東棟の合算の数量になっている場合、それぞれの棟に分けた数量を御指示下さい。</p> <p>6)S-10 図の梁貫通補強数量、及び、補強仕様の表に記載の既製品補</p>	<p>1) よろしいです。</p> <p>2) よろしいです。</p> <p>3) よろしいです。</p> <p>4) S-010 図より算出してください。</p> <p>5) S-010 図より算出してください。</p> <p>6) よろしいです。</p>

			強の製品はが 1/2 NS 程度と考えると宜しいでしょうか。	
24		A-123～ A-125	昇降機参考図において、各 ELV ピット平面図で周囲の壁を増し打ちしていますが、補強筋は縦横共 D13@200 程度と考えると宜しいでしょうか。	S-08 配筋規準図-4「打増し補強配筋」の要領に準じてください。
25		S-82	新東棟フーチングリストにおいて、フーチング F21 の杭天端からフーチング下端の 300mm の部分の配筋の記載がありませんが、不要と考えると宜しいでしょうか。必要な場合配筋を御指示下さい。	S-06 配筋規準図-2「既成コンクリート杭基礎の配筋_B型_底板補強筋」に準じ、D13@200 としてください。
26		S-30 S-49	二次部材リストにおいて、下記鉄骨梁のピン接合継手が記載されておられません。御指示下さい。 HB1 □-100x100x6(STKR400) Y1 通り軸組図 X5～X7	G.PL-9、塞ぎ PL-9、HTB 2-M20 としてください。
27		S-49 S-50	鉄骨大梁リスト、二次部材リストにおいて、下記鉄骨梁の剛接合継手が記載されておられません。御指示下さい。 4SGY3H BH-750x300x19x32 (SN490B) 3SGX1H BH-400x300x12x19 (SN490B) SCG1A H-340x250x9x14 (SN490B) SCG4 H-440x300x11x18 (SN490B) SCB35 H-350x175x7x11 (SN490B)	3SGX1H 中央は BH-400x300x12x22 とし、継手仕様は下記のとおりとしてください。 4SGY3H_ウェブ :M22-8x2,2PL-12x500x290 フランジ :M22-9x2,PL-25x300x890,2PL-25x110x890

				<p>3SGX1H_ウェブ :M20-3x2,2PL- 12x260x290 フランジ :M20-5x2,PL- 16x300x650,2PL-16x110x650 SCG1A_ウェブ :M22-3x2,2PL- 12x200x290 フランジ :M22-4x2,PL- 12x250x530,2PL-12x110x530 SCG4_ウェブ :M22-5x1,2PL- 9x320x170 フランジ :M22-5x2,PL- 12x300x530,2PL-12x110x530 SCB35_ウェブ :M20-3x1,2PL- 6x260x170 フランジ :M20-2x2,PL-9x175x290,2PL- 9x70x290</p>
28		S-28 S-29 S-50	<p>二次部材リストにおいて、下記鉄骨梁の中間継手が記載されておりません。御指示下さい。</p> <p>SB70 H-700x300x13x24 (SS400) 4 階伏図 Y5 ↑ X1~X3 L=16.2m SB80 H-800x300x14x26 (SS400) R 階伏図 Y4 ↑ X3~X5 L=15.97m SB85 SH-850x350x16x32 (SS400) 4 階伏図 X7→Y1~Y3 L=14.4m</p>	<p>継手仕様は下記のとおりとしてください。</p> <p>SB70_ウェブ :M22-9x1,2PL- 9x560x170 フランジ :M22-5x2,PL- 19x300x530,2PL-19x110x530</p>

				<p>SB80_ウェブ:M22-10x1,2PL- 12x620x170</p> <p>フランジ:M22-5x2,PL- 19x300x530,2PL-19x110x530</p> <p>SB85_ウェブ:M22-11x1,2PL- 12x680x170</p> <p>フランジ:M22-6x2,PL- 22x300x620,2PL-22x110x620</p>
29		<p>S-31</p> <p>S-32</p> <p>S-49</p>	<p>鉄骨大梁リストにおいて、SGX1H H-588x300x12x20 は、ハチ梁とされます。下記に読み替えて宜しいでしょうか。</p> <p>3階 H-588x300x12x20→BH-588~400x300x12x19</p> <p>Y3 通り軸組図 X9~X10</p> <p>4, R階 H-588x300x12x20→BH-588~390x300x12x19</p> <p>Y5 通り軸組図 X8~X9</p>	<p>よろしいです。</p>
30		S-49	<p>二次部材リストにおいて、SP10 先端の蓋 PL リストが記載されておりません。蓋 PL は PL-16 150x150(SS400) として宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
31		<p>S-29</p> <p>S-38</p>	<p>R 階床伏図において、X8 通り Y8~Y9 に SGX2 が有りますが X8 通り軸組図では SGY2 で相違します。SGY2 を正として宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
32		S-29	<p>R 階床伏図において、Y4 ↓ X7~X8 に小梁が有りますが符号が不明で</p>	<p>ハト小屋の姿図を示しています。</p>

			す。SB25 として宜しいでしょうか。	記載以上の小梁は不要です。
33		S-29 A-055	R 階床伏図において、Y8+1025/X3~X4 にハト小屋が有りますが、ハト小屋受け小梁が記載されておられません。SB25 として宜しいでしょうか。	スラブからハト小屋壁を配筋してください。 記載以上の小梁は不要です。
34		S-50	鉄骨部材継手リストにおいて、エクシジョンピースの材質が不明です。SS400 として宜しいでしょうか。	よろしいです。
35		S-50	鉄骨ブレース継手リストにおいて、角形鋼管先端の蓋 PL が記載されておられません。蓋 PL は PL-6 (SS400) として宜しいでしょうか。	PL-はブレース母材と同厚とし、材質は G.PL と同等としてください。
36		S-49	二次部材リストにおいて、V1、V2、V3、HB1、SP15 は製品が有りません。下記に読み替えて宜しいでしょうか。 V1 □-300x300x16x40→□-300x300x16 V2 □-250x250x12x30→□-250x250x12 V3 □-200x200x12x30→□-200x200x12 HB1 □-100x100x6x12→□-100x100x6 SP15 H-150x150x7x70→H-150x150x7x10	よろしいです。
37		S-71	鉄骨架構詳細図-1 において、鉄骨材質が不明な PL が有ります。下	母材に準じた材質としてください。

			記として宜しいでしょうか。 鉄骨梁ブレース受け R.PL-16→鉄骨梁に倣う SGX3H PL-25→鉄骨梁に倣う	
38		S-73 A-054 A-055	屋上設備用鉄骨架台詳細図において、部材が下記のように相違しています。構造図が正と考えて宜しいでしょうか。 構造図：H-150×150、H-294×200 意匠図：H-200×200	よろしいです。
39		A-120 A-121	PC 版詳細図において、受鉄骨の詳細が不明です。参考内訳 53 頁より水平 PL-14、垂直 PL-9 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
40		A-034 A-035	矩計図において、鉄骨溶融亜鉛メッキ範囲は 3FL、PHFL 外周 PC 受梁(SB250、CG 梁)と考えて宜しいでしょうか。	当該部分は溶融亜鉛メッキ範囲としてください。 その他屋外の各種下地類、部分詳細図等に溶融亜鉛メッキ処理指定の記載のある鋼材は溶融亜鉛メッキとしてください。
41		S-3	溶融亜鉛メッキにおいて、参考内訳 39、62 頁にリン酸処理が計上されていますが範囲が不明です。必要な場合に適用範囲を御指示下さい。	高力ボルト摩擦面に適用としてください。

42		A-115	部分詳細図-4/D-37 遮光ルーバーにおいて、メーカー名・品番指定がありましたら御指示下さい。 又、メーカー名・品番指定が無い場合は、設計協力会社を御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。また、設計協力会社は明示できません。
43		A-028 A-128	屋根 2 において、笠木 F のアルミ笠木仕様が不明です。笠木 B に倣い ABC 商会 MAG-550 同等と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
44		A-028 A-128	屋根 2 において、谷樋 落し口が平面図では 3 か所ですが、金属屋根参考図では 2×3 の 6 か所と相違します。金属屋根参考図を正とし 6 か所と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 A-055 図に記載のとおり、当該壁面にある 6 本の堅樋にそれぞれ接続するものとしてください。
45		A-028 A-128	屋根 2 において、落し口からの堅樋経路が不明です。金属屋根参考図 ef 断面に倣い X3 通り外壁を貫通させて屋根 1 に落とすと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
46		A-018	屋根 3 において、外部仕上表に立上り：砂付ルーフィング・高反射率塗料塗布とありますが、露出防水の為に床面にも必要と考えて宜しいでしょうか。	床面への高反射率塗料塗布は不要です。
47		A-018 A-034 S-027	3 階メンテナンスデッキにおいて、外部仕上表に X3 通り Y6-7 間デッキはグレーチング敷とあり、構造図にも床版の記載がありませんが、矩計図-2 と部分詳細図-3 D-31 ではコンクリート床と相違します。矩計図-2 と部分詳	よろしいです。

			細図-3 D-31 を正としコンクリート床と考えて宜しいでしょうか。	
48	A-049 A-051		2階市民活動スペースにおいて、X3・4/Y10 通りにアルミ製堅樋とありますが、上部3階からの堅樋は屋内に入っています。アルミ製堅樋は不要と考えて宜しいでしょうか。	必要としてください。
49	A-047 A-049		2階市民活動スペースにおいて、X3/Y10 通りの RD が 100Φ ですが、下部1階の DP は 125Φ と相違します。1階の DP125Φ を正とし RD125Φ と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
50	A-046 A-047		1階保険センターポーチ他において、SUSグレーチング W150 細目 歩行用とありますが、排水溝内の仕上・詳細が不明です。御指示下さい。	乾式浮床に取りつくグレーチング以外には排水溝を設け、防水モルタル＋防滑性エポキシ塗床仕上としてください。
51	A-018 A-019		1階廻り床において、外部仕上表の保険センターポーチ・東出入口ポーチは金ゴテ押えですが、内部仕上表(2)の外部通路1・2はコンクリートショットブラスト仕上です。外部仕上表の保険センターポーチ・東出入口ポーチも外部通路1・2に倣いコンクリートショットブラスト仕上と考えて宜しいでしょうか。	A-018図のとおりとしてください。
52	A-019 A-064		1階外部通路1・2において、天井仕上が内部仕上表(2)では内装薄塗材 E ですが、天井伏図-1では⑩外装薄塗材 E と相違します。天井伏図-1を正とし外装薄塗材 E と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

53		A-045	屋外階段 C において、防水板 10・11 部にチェーンとありますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	JIS 規格のロングリンクチェーン 呼び径 8mm とし、引掛用フックは両端としてください。
54		A-018 A-112	丸環において、外部仕上表にステンレス製 120Φ とありますが、部分詳細図-1/D-04 では Φ19 と相違します。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	A-112 図では内径を φ120、丸環自体の径を φ19 としてください。
55		A-112	排水溝において、部分詳細図-1 D-05 屋上排水側溝で、排水溝脇が PC 又は現場打コンクリートとありますが、全て現場打コンクリートと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
56		A-112	排水溝において、部分詳細図-1 D-05 屋上排水側溝で、排水溝内の溶接金網が Φ26.4 とありますが、断面寸法が大きいと思われます。Φ3.2 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
57		A-112	屋上外小屋において、部分詳細図-1 D-06 で外壁が防水型複層塗材 E とありますが、他外壁に倣い外装薄塗材 E と読み替えると考えて宜しいでしょうか。	A-112 図に示すとおりです。
58		A-114	手摺 E において、部分詳細図-3 D-27 の左詳細では笠木 FB-9×44、手摺子 FB-12×44 ですが、右詳細では笠木 FB-9×65、手摺子 FB-12×50 と相違します。右詳細を正とし笠木 FB-9×65、手摺子 FB-	手摺 E 立面図の笠木:FB-9×65、手摺子:FB-12×50 を正としてください。

			12×50 と考えて宜しいでしょうか。																						
59	A-018 A-113		ウッドデッキにおいて、外部仕上表では t23 W146 ですが、部分詳細図-2 D-18 では t30 W145 と相違します。外部仕上表を正とし t23 W146 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。																					
60	A-047 A-048 A-049 A-053 A-115	<table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>詳細図リスト</th> <th>平面詳細図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 階庁舎西ポーチ</td> <td>W1800 2 台</td> <td>W1800 1 台</td> </tr> <tr> <td>1 階庁舎北ポーチ</td> <td>W2400 1 台</td> <td>W1200 1 台</td> </tr> <tr> <td>2 階市民活動スペース</td> <td>W1800 18 台</td> <td>W1800 4 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>W2600 2 台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>W3600 1 台</td> </tr> <tr> <td>4 階展望テラス</td> <td>W1800 6 台</td> <td>W1800 2 台</td> </tr> </tbody> </table>		詳細図リスト	平面詳細図	1 階庁舎西ポーチ	W1800 2 台	W1800 1 台	1 階庁舎北ポーチ	W2400 1 台	W1200 1 台	2 階市民活動スペース	W1800 18 台	W1800 4 台			W2600 2 台			W3600 1 台	4 階展望テラス	W1800 6 台	W1800 2 台	ワイヤメッシュベンチにおいて、部分詳細図-4 D-36 詳細図リストと各階平面詳細図とで、寸法・数量が相違します。詳細図リストを正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
	詳細図リスト	平面詳細図																							
1 階庁舎西ポーチ	W1800 2 台	W1800 1 台																							
1 階庁舎北ポーチ	W2400 1 台	W1200 1 台																							
2 階市民活動スペース	W1800 18 台	W1800 4 台																							
		W2600 2 台																							
		W3600 1 台																							
4 階展望テラス	W1800 6 台	W1800 2 台																							
61	A-018 A-129		化粧コンクリートブロックにおいて、仕様が A-018 図 外部仕上表:900×150×150(太陽エコブロック/RMブロック帳壁同等品)と、A-129 図 化粧コンクリートブロック参考図:600×150×150(太陽サブ/DENX1560)とで相違します。正しい仕様を御指示下さい。	A-129 図を正としてください。																					

62	A-129	化粧コンクリートブロック参考図において、AW 取合詳細図がありますが、AG・SD 設置の場合の納まり詳細が不明です。御指示下さい。	AG は AW 取り合い図と同仕様としてください。SSD は縦枠及び上枠取り合いは AW 取り合い詳細図と同仕様としてください。
63	A-112	外壁 ALC 板において、コーナー部の納まりはコーナーパネル等を使用せず、勝ち負け納まり程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
64	A-112	外壁 ALC 板において、部分詳細図-1/D-10 にて脚元:埋込アンカー L7×100×100 とありますが、通しではなく L=100 @600 程度にて設置と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
65	A-112	外壁 ALC 板において、部分詳細図-1/D-10 にて納まり詳細がありますが、各定規アングルにロックウール吹付(耐火被覆)等は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
66	A-112	外壁 ALC 板において、部分詳細図-1/D-10 にて調整金物:C-100×50×20×3.2 通しとありますが、差している箇所には C チャンネルがありません。必要であれば設置箇所を御指示下さい。	不要としてください。
67	A-018 A-112	外壁 ALC 板 t125+アルミカットパネルにおいて、ALC 板の定規アングル仕様は A-112/D-10 に倣うものと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

68		A-121	PC板詳細図-2 縦断面図において、水抜きパイプとありますが、仕様が不明です。ステンス φ10 L50 程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
69		A-029 A-030	1階西面 Y2 通り他 外壁:アルミパネにおいて、下地金物の納まりが不明です。御指示下さい。	パネ左右に St-□50×50×2.3 溶融亜鉛メッキを通して流しアルミパネをビス止めとしてください。
70		A-048 A-049 A-098	2階平面詳細図-1 X11 通り/Y3~9 間他 水切において、パネ厚が平面詳細図:t2.0 と、建具詳細図-4:t2.5 とで相違します。平面詳細図を正とし、t2.0 として宜しいでしょうか。	よろしいです。
71		A-131	免震スパンジョイント参考図において、F1 断面図及び E1 断面図にて充填材コンクリート ショットブラスト仕上とありますが、コンクリート平板 t33 ショットブラスト仕上と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
72		A-131	免震スパンジョイント参考図において、B 部 詳細図及び D 部 詳細図にて EXP.J 金物端部に W705×D1265 の床板の様な物がありますが、納まり詳細が不明です。御指示下さい。	A-131 図 D 部詳細図下部の断面図に準じてください。
73		A-045 A-131	屋外階段 C 詳細図において、着脱式手摺(免震 EXP.J 参考図参照)とありますが参考図に無く詳細が不明です。着脱式手摺の詳細を御指示下さい。	全て溶融亜鉛メッキ仕上として下記寸法としてください。両端の支柱足元にて 2-M-22 ボルト締めとしてください。

				<p>支柱：FB-12×50（手摺両端） 手摺：FB-12×50 下残：FB-12×50（位置はGL+100） 縦棧：丸鋼φ12@100</p>
74		A-045 A-131	屋外階段 C 詳細図において、着脱式手摺とありますが、同図面以外に設置箇所がありましたら設置箇所等を御指示下さい。	屋外階段 C 以外に設置箇所はありません。
75		A-113	部分詳細図-2/D-14 定礎において、定礎石裏に C チャンセルの架台の様な物がありますが、下地の仕様等不明です。御指示下さい。	C 2.3t×60×30×10 としてください。
76		A-145	外構屋根詳細図-1 において、駐輪場 1・3 屋根に桁樋がありますが、設置箇所は各柱に隣接して設置と考えて宜しいでしょうか。	A-145 図に記載のとおり、Xb2、Xb3、Xb6、Xb8、Xb10 に設置してください。
77		A-146	外構屋根詳細図-2 において、多目的駐車場 3 屋根に縦樋の設置が無いように見えます。必要であれば設置箇所を御指示下さい。	北側（新庁舎建屋側）に 3 本としてください。
78		A-021 A-144	新東棟 1 階配管・室外機スペースにおいて、床仕上が仕上表-4:防水モルタル金罫と、新東棟 平・立・断面図:ウレタン塗膜防水とで相違します。仕上表-4 を正とし、防水モルタル金罫として宜しいでしょうか。	よろしいです。

79		A-144	新東棟 1階配管・室外機スペースにおいて、新東棟 平・立・断面図にて外周側にスリーブ 100φ 半割とありますが、VP 管程度と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
80		A-144	新東棟 2階メンテナンススペースにおいて、W150 程度の排水溝の様なものがありますが、防水モルタル金鍍 W150×H100 程度+ワイヤメッシュ φ3.2 50×50 程度が必要と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
81		A-113	部分詳細図-2/D-16 地流しにおいて、ステンスグレーチングとありますが、メーカー名・品番が不明です。御指示下さい。	第一機材同等品 FR13-H15@13 LP-15 枠共としてください。
82		A-113	部分詳細図-2/D-16 地流しにおいて、100×60 角 磁器質タイル張とありますが、メーカー名・品番が不明です。御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
83		A-113	部分詳細図-2/D-16 地流しにおいて、ライニング壁がコンクリートブロックのようになっていますが、仕様が不明です。C 種 t=100 程度と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
84		A-024 他 A-144	新東棟 縦樋において、新東棟 平・立・断面図凡例ではステンス 100φ とありますが、新庁舎平面図では内部は SGP 管となっています。新東棟の樋仕様は外部:ステンス、内部:SGP 管程度と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

85	A-144	新東棟 縦樋において、新東棟 平・立・断面図凡例にてステンレス 100φとありますが、仕上は HL 程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
86	A-004	防水工事施工票において、設置個所数が不明です。ご指示下さい。	屋根の防水工事において、防水工事毎(仕様毎)に設置してください。
87	A-005	左官塗材において、素地こしらえの種別が不明です。B種と考えて宜しいでしょうか。	公共建築工事標準仕様書（建築工事編）に準じてください。
88	A-005	鍵箱において、何組用を何か所か不明です。ご指示下さい。	建具表を参照のうえ、鍵の数量より算出してください。
89	A-007	カーテンレールにおいて、全てシングルタイプと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
90	A-016	エレメント図-2において、折上天井-2の上がり壁の仕様は、GB-Rt12.5+12.5程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
91	A-016	エレメント図-2において、その他6間接照明の上がり壁の仕様は天井仕上と同仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
92	A-015 A-018 A-046	不燃木練付板において、エレメント図及び仕上表では t9.0 となっていますが、平面詳細図では t6.0 となっている為相違します。エレメント図及び仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

93		A-015	化粧ケイカル板において、出隅・入隅の仕様が不明です。ご指示下さい。	目透かし目地、目地幅 2~3mmとしてください。
94		A-007 A-018	OA フアの配線開口において、特記仕様書では 50%となっていますが、仕上表では OA フア A は記載なし、OA フア B は 100%となっています。OA フア A は 50%、OA フア B は 100%と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
95		A-018	靴拭きマットにおいて、メーカー・品番がありましたら御指示下さい。	A-015 図および A-018 図に記載の仕様とし、メーカー・品番の指定はありません。
96		A-018	乾式二重床・OA フアにおいて、メーカー・品番がありましたら御指示下さい。	A-018 図に記載の仕様とし、メーカー・品番の指定はありません。
97		A-015 A-018	乾式二重床において、仕上表-1 材料名にはスチール製支柱とありますがエレメント図-1 では樹脂製支柱(H600 以上は鋼製支持脚)となっている為相違します。全てスチール製支柱と考えて宜しいでしょうか。	A-015 図のとおりとしてください。
98		A-015	エレメント図-1 F-6 において、フローリング下のコンパネ捨張の厚みが不明です。御指示下さい。	捨張合板 t = 12mm以上としてください。

99		A-015	床 C 研磨仕上において、エレメント図-1 F-14 に誘発目地とありますが F-4・F-15 の場合でも誘発目地を見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
100		A-015	床 C 研磨仕上において、エレメント図-1 F-14 に溶接金網 6φ×100メッシュとありますが F-15 では 6.2φ100メッシュとなっている為相違します。F-14 を優先とし 6φ と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
101		A-046 他	平面詳細図において、一般間仕切にグラスウール充填している範囲が読み取れません。範囲図を御指示下さい。	平面詳細図及び図中表記凡例に記載のとおりです。
102		A-036 A-048	間仕切において、平面詳細図にボード範囲床～天井までと記載ありますが矩計図でスラブ～スラブまでとなっている為部屋が多数(例:2階間診室/廊下 H2-2間)あります。全て平面詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。 又、確認ですが、ボード範囲が床～天井の場合は LGS も床～天井までと考えて宜しいでしょうか。	平面詳細図を正としてください。また、LGS についてもよろしいです。
103		A-005 A-017 A-056 他	間仕切幅において、下記のように相違します。特記仕様書を優先と考えて宜しいでしょうか。 ・特記仕様書-3:標準仕様書による(50型あり) ・仕上特記仕様書:50型なし ・便所詳細図:1・2階 W100 3・4階 W65	原則 65mm以上としてください。

104			間仕切において、H 寸法が 5.0m 以上の場合の補強が不明です。御指示下さい。	本体梁から C-100×50×20×2.3 にて支持を取るものとしてください。
105		A-116	部分詳細図-5 サッシ取合金物において、現場発泡ウレタン充填とありますが密度が不明です。御指示下さい。	現場発泡ウレタンにつきましては、A-017 図 16.特記事項に記載の断熱材に準じ、吹付硬質ウレタンフォーム断熱材（不燃・ノンフロン）としてください。
106		A-119	部分詳細図-8/D-139 において、梁化粧材既集成材とありますが表面仕上が不明です。UC と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
107		A-119	部分詳細図-8/D-139 A-6 において、シャッターボックス塞ぎがありますがボードの取付下地が不明です。軽鉄天井下地と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
108		A-006 A-017	遮音シール材において、特記仕様書-4 ではジョイントコンパウンドとありますが仕上特記仕様書ではシーリングとなっている為相違します。特記仕様書-4 を優先と考えて宜しいでしょうか。	シーリング（PS-2）としてください。
109		A-015 A-018	フレキシブルボードにおいて、仕上材料名表示凡例では目透かし張とありますが、エレメント図では継目処理工法とあり相違します。目透かし張と考えて宜しいでしょうか。	壁フレキシブルボードについては、目透かし張りとしてください。

110		A-016	木製上がり框において、樹種・仕上が不明です。御指示下さい。	タモ集成材程度としてください。
111		A-016	木製出隅において、樹種・仕上が不明です。御指示下さい。	ゴム集成材程度としてください。
112		A-016 A-018	天井仕上:アルミカット [®] 襦において、エレメント図-2 に詳細図がありますが該当箇所の1階風除室1は天井内懐がH1000以上となっている為相違します。正しい納まり詳細を御指示下さい。	A-016 図は、A-064 風除室1の⑩の範囲を示しています。
113		A-016 A-018	天井仕上:杉小幅目透し張において、エレメント図-2 に角材の図示がありますが天井固定方法が不明です。固定方法を御指示下さい。	木製下地組パネルの天井懐側からのビス固定としてください。
114		A-018 A-032 A-064	1階総合案内 天井高さにおいて、仕上表・天井伏図ではCH2400ですが断面図ではCH2300となっている為相違します。仕上表・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
115		A-018 A-047	1階総合案内・多目的スペース他 壁仕上において、仕上表にC塗装の上SCCとありますが壁下地がボード面の場合はEPと読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
116		A-047 A-135	1階総合案内 カウンターにおいて、平面詳細図と木製造作家具図で寸法が相違します。平面詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	木製造作家具図を優先してください。
117		A-018 A-047	1階平面詳細図において、床吹出空調範囲・床輻射冷暖房システム範囲の図示がありますが、一部範囲外となっていますが仕上表に範囲外の床下地の記載がありません。平面詳細図が範囲外の場合でも仕上表	A-047 図に記載した範囲に、床吹出空調範囲・床輻射冷暖房システムに関わる建築工事としてください。

			通り床吹出空調範囲・床輻射冷暖房システム範囲を見込むと考えると宜しいでしょうか。	
118		A-119	部分詳細図-8/D-139 において、C 部分詳細に目地棒とありますが仕様が不明です。御指示下さい。	タモ材としてください。
119		A-064	1 階多目的スペース売店間の梁型仕上において、天井伏図では A-3 タイプと図示がありますがシャッターがある為 A-6 タイプに読み替えるかと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
120		A-047 A-064 A-119	1 階多目的スペース待合 1-1 間の梁型仕上において、天井伏図で A-5 タイプとありますが部分詳細図-8/D-139 ではシャッター受鉄骨塞ぎは GB-Ft21+GB-Ft21EP となっていますが、平面詳細図ではスチールレール t1.6 AEB となっている為相違します。平面詳細図を優先とし GB-Ft21+GB-Ft21 の上スチールレール t1.6 AEB と考えて宜しいでしょうか。	スラブまでの区画形成は、A-119 図を正としてください。なお、平面詳細図のスチールレールは、シャッター受けレール（シャッター間の塞ぎレール）を示すものです。
121		A-064	1 階売店 X2 通りの梁型仕上において、天井伏図では A-3 タイプと図示がありますが W 寸法が足りないため C 塗装の上 SCC と読み替えて宜しいでしょうか。	A-3 タイプとし、RC 壁側は側板無しとしてください。
122		A-047	1 階売店下部の部屋において、部屋名が記載されていない為不明です。PS と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

123		A-018 A-019	1階売店において、仕上表で巾木仕上無しとありますが床仕上:ゴム床タイルの為巾木が必要と思われます。ELV ホール 1-2 と同様に PVC60 と見込むと考えるて宜しいでしょうか。	不要とします。
124		A-100	建具詳細図-6 AW-101~107 において、下記について御指示下さい。 1) 断面図に天然木練付とありますが仕様及び塗装が不明です。御指示下さい。 2) 天然木取付材がありますが仕様が不明です。御指示下さい。	膳板、額縁はともに W225 珪集成材 t20UC としてください。
125		A-047 A-064	1階ふるさとホール/待合 1-1 間の部屋において、仕上が不明です。床仕上:待合 1-1 同様、壁・廻縁:ふるさとホール同様、天井:天井伏図より石膏ボード EP と考えるて宜しいでしょうか。	よろしいです。
126		A-015 A-047	1階ふるさとホール・執務室 1-D において、平面詳細図に床立上り F-14 とありますが OA フアと床輻射冷暖房システムとの取合の為 F-20 と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
127		A-018 A-064	1階前室 1-1 天井仕上において、仕上表では直天井とありますが天井伏図では化粧石膏ボードとなっている為相違します。仕上表を優先と考えるて宜しいでしょうか。	よろしいです。
128		A-018 A-056	1階廊下 1-1 天井高さにおいて、仕上表・天井伏図では CH2600 ですが便所詳細図-1 では CH2700 となっている為相違します。仕上	よろしいです。

		A-064	表・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	
129		A-019 A-059 A-065	2階廊下 2-1 天井高さにおいて、仕上表・天井伏図では CH3000 ですが便所詳細図-1 では CH2700 となっている為相違します。仕上表・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
130		A-018 A-064	1階待合 1-1/風除室 2間において、天井伏図に CH2600 杉小幅板目透し張とありますが仕上表には記載が無い為相違します。不要と考えて宜しいでしょうか。	A-064 に準じ、一部杉小幅板目透し張としてください。
131		A-047	1階指定金融機関において、平面詳細図に窓口カウンターとありますが該当する詳細図が不明です。御指示下さい。	形状は A-068 図展開図に記載のとおりとし、カウンターや窓部、室内側引き出し、ガラス等の仕様は A-119 図中の D-132 図に準じ、監督員と協議してください。
132		A-015	1階エレメント図-1 F-15 において、アスファルト防水とありますが該当箇所の待合 1-3・廊下 1-2 は必要ないと思われるため不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
133		A-046 A-047	1階下記の部屋において、平面詳細図に床見切と図示がありますが異種素材の床が取り合わない位置に図示があります。確認ですが見込むと考えて宜しいでしょうか。 ・ELV ホール 1-1/廊下 1-1 間	よろしいです。

			<ul style="list-style-type: none"> ・待合 1-3/執務室 1-A・1-B 間 ・待合 1-1/待合 1-3 間 ・待合 1-2/廊下 1-2 間 ・待合 1-3/廊下 1-5 間 ・廊下 1-2/廊下 1-4 間 ・ELV ホール 1-2/階段 B 間 	
134		A-047	1 階廊下 1-2/執務室 1-B・1-C 間において、平面詳細図に OA フォア内断熱(F-23)とありますが異種仕上取合の為、待合 1-3/執務室 1-A 間と同様に F-20 と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
135		A-068 他 A-118	流し台上部吊戸棚において、部分詳細図-7/D-120 では吊戸棚の図示がありますが展開図では吊戸棚無い部屋(例:1 階授乳室 1-1)が多数あります。部分詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
136		A-047 A-135	1 階執務室 1-B X3 通りにおいて、平面詳細図に窓口カウンター(ローカウンター)W2270 がありますが木製家具詳細図では W2370 となっている為相違します。平面詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	A-135 図を正としてください。
137		A-046 他 A-135	木製家具詳細図 ウェスタン扉において、寸法・台数が記載されていますが平面詳細図と一致しません。正しい寸法・台数と該当する範囲図を御指示下さい。	A-135 図を正としてください。

138	A-047 A-135	木製家具詳細図 カウンターパーティション A において、木製家具詳細図では 29 台とありますが平面詳細図では 30 台ある為相違します。30 台と 考えて宜しいでしょうか。	A-135 図を正としてください。
139	A-018 A-046	1 階自販機コーナーにおいて、平面詳細図に記載がありますが隣接する 廊下との取合位置が不明です。床・天井仕上を廊下と同仕様と読み替 えて宜しいでしょうか。 上記が正でない場合、取合位置を御指示下さい。	よろしいです。
140	A-019	1 階風除室 3 において、仕上表に巾木:SUS60 とありますが風除室 H1・H2 では巾木仕上無しとなっています。他の仕上は同仕様の為 全て巾木仕上無しと考えて宜しいでしょうか。	A-019 図のとおりとしてください。
141	A-019 A-042 A-064	1 階待合 H1-1 天井高さにおいて、仕上表・天井伏図では CH2600 ですが階段 D 詳細図では CH2900 となっている為相違します。仕 上表・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
142	A-049	2 階 ELV ホール 2-1 において、X8/Y10 通りに柱がありますが仕上が不 明です。耐火塗料+AL と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
143	A-084 他 A-095 他	AW-301 他自然通風用チャンパー周囲において、建具姿図ではアルパネルと ありますが建具詳細図では St-1.6t AEB となっている為相違しま す。建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	建具姿図については、チャンパー内 部（止水ラインでいうと屋外側）の 仕様を示しています。

144	A-084 A-098	建具詳細図-4 自然通風用チャンバー周囲において、S 断面詳細図では St-1.6t AEB とありますが V 断面詳細図では St-1.6t SOP となっている為相違します。S 断面詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
145	A-065 A-098	2 階執務室 2-A ブラインドボックス寸法において、天井伏図ではエレメント図-1(W120×H150)ですが建具詳細図-4 では W120×H120 となっている為相違します。建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。又、エレメント図と建具詳細図が相違する場合、建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	エレメント図を正としてください。
146	A-049 A-051	2 階執務室 2-A・3 階執務室 3-A において、ウエスタン扉/窓口カウンター(ローカウンター)間に仕切がありますが仕様が不明です。御指示下さい。	A-135 図に示す寸法を正とし、ウエスタン扉はカウンター側板に直接取り合いとしてください。
147	A-098 A-118	2 階執務室ペリカウンターにおいて、詳細図が下記のように相違します。寸法・仕様は建具詳細図、吹出口・断熱材・巾木は部分詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。 ・建具詳細図-4:W 寸法 375・仕様:St-1.6t SOP ・部分詳細図:W 寸法 500・仕様:スチールパネル t1.2 AEB	よろしいです。
148	A-019 A-049	2 階キッズスペース 床仕上において、仕上表ではコルクタイルとありますが平面詳細図ではタイルペット B+ゴム床タイルとなっている為相違します。仕上表を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

149	A-019 A-049	2階キッズスペースホールフル内立上りにおいて、仕上表に合板の上コルクタイ ル張とありますがホールフル立上りは曲面の為不可能と思われます。エ ジボードと読み替えて宜しいでしょうか。	合板としてください。
150	A-033	2階キッズスペース上部において、矩計図-1に吊材:H-100×100とありま すがピッチが不明です。450ピッチと考えて宜しいでしょうか。	S-074図に準じてください。
151	A-019	2階キッズスペースにおいて、仕上表に壁仕上:石膏ボード+EP・有孔内装 用OSBとありますが見切縁の有無が不明です。必要な場合は御指 示下さい。	目透かし目地を設けてください。
152	A-136	調理家具詳細図 F-2において、仕様リストにW2400とありますが姿図 ではW1200の為相違します。姿図を優先と考えて宜しいでしょ うか。	よろしいです。
153	A-136	調理家具詳細図において、家具キプランにF-5とありますが詳細図が 無い為仕様不明です。不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
154	A-072	2階栄養指導室において、展開図に木目ボードとありますが仕様が不 明です。御指示下さい。	内田洋行ホーローホワイトボード同 等品としてください。
155	A-099	建具詳細図-5において、E縦断面図に耐火ボード t=20EPとありま すがスチールプレート内にある為塗装は不要と思われます。不要と 考えて宜	設置前に塗装してください。また、 耐火ボードはケイカル板としてくだ

			しいでしょうか。 又、耐火ボードの仕様が不明です。ケイカル板と考えて宜しいでしょうか。	さい。
156		A-083 A-099	建具詳細図-5において、E 縦断面図に無目かゝりの図示がありますが建具姿図と寸法及び仕様・工事区分が相違します。建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
157		A-037 A-100	ACW-203 のブラインドボックスにおいて、矩計図-5 と建具詳細図-6 で寸法が相違します。建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
158		A-066 他	3 階ラウンジ 3-1 において、天井伏図で天井仕上が取合位置に折上 A とありますが天井仕上は石膏ボード+EP の為折上 E と読み替えて宜しいでしょうか。 又、 上記質疑が正の場合、下がり天井が石膏ボード+EP の場合は折上 E と読み替えて宜しいでしょうか。	天伏伏図中に記載している折上 A について、A-066 図の 2~4 階折上天井詳細図、折上天井 A の形状、仕様に準ずるものとし、天井仕上が石膏ボード EP の際は、折上天井詳細図の岩綿吸音板を石膏ボード EP と読み替えてください。
159		A-066	3 階執務室 3-A において、天井伏図 執務室 3-B X11 通りに折上 C とありますが執務室 3-A も同様に Y10 通りに折上 C を見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

160	A-050 A-051 A-135	窓口カウンター(ローカウンター)において、3階の台数が W1400:8台・W1600:41台・W1700:1台・W2600:1台・W2650:1台とありますが平面詳細図では W1400:11台・W1600:38台・W2000:2台となっている為相違します。平面詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	A-135図を優先してください。
161	A-049 A-051 A-135	2階執務室 2-A・3階執務室 3-A・3-B・4階執務室 4-Aにおいて、リフレクショカウンター W4500の図示がありますが木製家具詳細図に寸法の記載がありません。W5980・4790×2台・5370をW4500と読み替えて宜しいでしょうか。	A-135図に示すとおりです。
162	A-020 A-037 A-066	3階ラウンジ 3-2 天井仕上において、仕上表・天井伏図ではデックスラフ SOP+一部石膏ボード EP とありますが矩計図ではデックスラフ SOP+岩綿吸音板となっている為相違します。仕上表・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
163	A-066 A-067	3階廊下 3-2・4階廊下 4-2において、天井伏図にブライトボックスの図示がありませんが執務室 3-B・執務室 4-B とカーテンウォールが続いている為ブライトボックスを見込むと考えると宜しいでしょうか。	図示のとおり不要です。
164	A-020 A-033	3階会議室 3-1において、矩計図にアルミ格子天井+デックスラフの上 SOP とありますが仕上表では記載が無い為相違します。矩計図を優先としアルミ格子天井上部にはグラスウールボードが無い場合全て見込むと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

165	A-033 A-035 A-066	3階市民相談室・相談室 3-1・3-2 において、天井伏図にブラインドボックスとありますが矩計図では図示が無い為相違します。ブラインドボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。	天井伏図を正としてください。
166	A-020 A-033 A-066	3階相談室 3-1 天井高さにおいて、仕上表・天井伏図では CH2850 ですが矩計図では CH2800 となっている為相違します。仕上表・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
167	A-020 A-034 A-066	3階廊下 3-4・3-5 天井高さにおいて、仕上表では CH2750 ですが矩計図・天井伏図では CH2850 となっている為相違します。矩計図・天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
168	A-020	4階教育長室において、壁仕上が天然木練付ですが巾木仕上がワト巾木となっています。壁仕上と同様に巾木仕上も天然木練付と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
169	A-021 A-036 A-067	4階廊下 4-3 天井高さにおいて、仕上表・矩計図では CH2700 ですが天井伏図では CH2850 となっている為相違します。仕上表・矩計図を優先とし、廊下 4-4 との取合には折上 E を見込むと考えて宜しいでしょうか。	天井伏図を正としてください。
170	A-034 A-066	3階廊下 3-4・4階廊下 4-6 において、矩計図にブラインドボックスの図示がありますが天井伏図にはブラインドボックスの図示が無い為相違しま	よろしいです。

		A-067	す。天井伏図を優先と考えて宜しいでしょうか。	
171		A-021 A-040 A-067	PH 階 ELV ホール PH-1 床仕上及び天井仕上において、仕上表・天井伏図では床:ビニル床シート・天井:化粧石膏ボードですが階段室 B 詳細図-2 では床(踏面・蹴込):ゴム床タイル・天井:石膏ボード+EP となっている為相違します。階段室 B 詳細図-2 を優先とし、床仕上全面ゴム床タイルと考えて宜しいでしょうか。	仕上表を正としてください。
172		A-048	2 階厨房事務室において、仕上表が無い為仕上が不明です。仕上表を御指示下さい。	A-021 図のとおりです。
173		A-019 A-036 A-048 A-065	2 階指導室倉庫 天井高さにおいて、下記のように相違します。矩計図-4 を優先と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表・天井伏図:CH3950 ・矩計図-4:CH3000 ・平面詳細図:壁を H3000 までとし上部解放	よろしいです。
174		A-037 A-046	1 階耐火倉庫 1-2/印刷室間の間仕切において、矩計図-5 ではガラスカールの図示がありますが平面詳細図では F1(耐火間仕切)となっている為相違します。F3 と読み替えて宜しいでしょうか。	F1 を正としてください。
175		A-046	1 階 PS/倉庫 1-2(外部用)間の間仕切において、F1 とありますが片面耐火間仕切の図示の為 F2 と読み替えて宜しいでしょうか。	壁符号を優先し F1 としてください。

176	A-038 A-047 A-059	階段 A/MWC1-1 間の間仕切において、階段室 A 詳細図に F1 とありますがガラスの図示がある為相違します。便所詳細図-4 では F3 の為 F3 と読み替えて宜しいでしょうか。	図示のとおり、F1 に GW 充填としてください。
177	A-039 A-048 他	階段室 B 周囲 X3 通りの間仕切において、階段室 B 詳細図-1 では階段室の内側に F2 の記載がありますが平面詳細図では階段室の外側に記載がある為相違します。階段室 B 詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
178	A-033 A-047	1 階執務室 1-B/廊下 1-2・廊下 1-2/執務室 1-C 間の間仕切において、平面詳細図では H2200 とありますが矩計図-1 では H2500 となっている為相違します。矩計図を優先と考えて宜しいでしょうか。	A-047 図を正としてください。
179	A-052	4 階控室/PS 間の間仕切において、L1 とありますが耐火区画の為 F1 と読み替えて宜しいでしょうか。	図示のとおりです。
180	A-119	2 階食堂の配膳カウンターにおいて、開口三方は壁仕上巻き込みと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
181	A-134	2 階食堂の返却口において、開口三方は壁仕上巻き込みと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

182	A-119	2階食堂において、配膳カウンター下に化粧コンクリートブロック積みとありますが、仕様及びメーカー・品番を御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありませんが、外壁の化粧コンクリートブロックと同メーカー、同品番のものとしてください。
183	A-020	2階厨房において、床仕上立上げ H150 となっていますが、見切縁の仕様及び納まり詳細が不明です。ご指示下さい。	A-016 図巾木-7 を参照してください。
184	A-049	2階多目的室(軽体操室)において、手摺がありますが笠木・支柱の仕様、支柱のピッチ等が不明です。御指示下さい。	GCW-201 の方立とピッチを合わせてください。その他記載のメーカー仕様と同等品としてください。
185	A-018	1階仮眠スペースにおいて、床仕上は木軸組の上畳敷きとありますが、畳の無い範囲の仕上が不明です。守衛室・中央監視室と同様 OA フloor A H=100 の上タイルカーペット A と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
186	A-019	1階洗濯室において、備考に物干しとありますが仕様・か所数が不明です。壁付タイプ・2個/1組を1か所と考えて宜しいでしょうか。	A-018 図に記載のとおりです。
187	A-019 A-065	2階物置において、仕上表では天井高が H=2500 ですが天井伏図では H=3000 で相違します。H=2500 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

188	A-65 A-71	2階事務室兼相談室 2-Bにおいて、天井伏図にブラインドボックスがありますが、展開図には姿が無く相違します。必要と考えると宜しいでしょうか	よろしいです。
189	A-019 A-048	2階前室 H2-1において、平面詳細図に床見切がありますが、仕上表では床仕上は1つしか無いため、不要と考えると宜しいでしょうか。	A-048図のとおり、床見切りを設けてください。
190	A-066 A-074	3階厚生室 2において、天井伏図の吹抜側にはブラインドボックスがありますが、展開図には無く相違します。必要と考えると宜しいでしょうか	よろしいです。
191	A-020 A-050	3階脱衣室 1・2・3において、壁下地は石膏ボード EP-Gとありますが、平面詳細図では壁符号が S1とあり相違します。耐水石膏ボード EP-Gと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
192	A-020 A-066	3階倉庫 3-3・3-4において、天井高が仕上表では H=2600 ですが、天井伏図では H=2750 とあり相違します。H=2750 と考えると宜しいでしょうか	よろしいです。
193	A-020 A-067	4階相談室 4-2において、天井仕上に一部デッキスラブ現しの上 SOPとありますが、デッキスラブ現しの範囲が不明です。御指示下さい。	デッキスラブ現しの範囲はありません。
194	A-020 A-052	4階電気室において、仕上表備考に機械基礎とありますが平面詳細図に機械基礎が無く相違します。必要な場合、機械基礎の寸法・仕様	下記の寸法のべた基礎としてください。仕様は他屋内機械基礎に準じて

			を御指示下さい。	ください。 W2500xL11300xH200x2 W1000xL11300xH200x1
195		A-021	1階機械室他において、天井はGWボードが外留めとありますが、梁型の仕様が不明です。打放補修と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
196		A-067	4階機械室 4-2 において、天井伏図に天井点検口がありますが、直天のため不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
197		A-021	1階機械室他において、機械基礎の仕様が不明です。床材と同仕様と考えて宜しいでしょうか。	A-112 図に示すとおりです。
198		A-118	エントランスにおいて、三方枠のメーカー・品番が不明です。御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
199		A-118	仮眠室洗面カウンター詳細図において、甲板の仕様がメラミン・スチロールと人工大理石があり相違します。メラミン・スチロールを正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
200		A-050 A-118	仮眠室洗面カウンター詳細図において、W 寸法が仮眠室(男):W=1385・仮眠室(女):W=2450 とありますが、平面詳細図から仮眠室(男):W=2450・仮眠室(女):W=1385 と考えて宜しいでしょうか	よろしいです。

201	A-123~ A-125	昇降機詳細図において、フィッシャープレートは昇降機工事と建築工事がありますが、全て建築工事と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
202	A-070	展開図-3 において、診察室 1-1 他に天吊のカテンレールがありますが、仕様が不明です。御指示下さい。	アルミ既製品としてください。
203	A-132 A-133 A-134	4 階議場・傍聴席において、議場詳細図-1 の平面詳細図で⑱床段差以外の床段差(傍聴席・議場小階段等)についても同等の納まりと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
204	A-132 A-133 A-134	4 階議場・傍聴席において、Y7 通りのスロープ 側面及び議場小階段の側面の仕様及び納まり詳細が不明です。御指示下さい。	議場木製家具の側板を延長し塞ぐものとしてください。
205	A-034	4 階議場・傍聴席において、矩計図-2 で脚元のサッシ~内壁の下端の塞ぎ材及び下地詳細が不明です。御指示下さい。	A-134 図の仕上 B としてください。
206	A-018 A-134	天然木練付において、下記を御指示下さい。 1) 仕上表-1 ではホクサンとなっていますが、議場詳細図-3 仕上 A.B では内外テクノとなっている為メーカーが相違します。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 2) 表面仕上として UC を見込むと考えて宜しいでしょうか。	1) 材料はホクサン、施工は内外テクノス同等品としてください。 2) よろしいです。

207	A-034 A-134	<p>4階議場・傍聴席において、仕上 B の壁構成が下記の様に相違します。部分詳細図/仕上 A.B を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 矩計図-2・部分詳細図/A 断面図： 木練付+GB12.5+LGS ・ 部分詳細図/仕上 A.B 木練付+GB12.5+LGS+空き+GB12.5+12.5+LGS 	よろしいです。
208	A-134	<p>4階議場・傍聴席において、手摺 4 の H 寸法が㊶手摺 4 では H900+250 となっていますが、㊶手摺 4 両サド^レ扉では H1000+250 となっている為相違します。H900+250 を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
209	A-134	<p>4階議場・傍聴席において、手摺 4 において、ガラス扉用支柱以外の支柱の有無及び仕様、ピッチ等が不明です。御指示下さい。</p>	支柱のない自立タイプとなります。
210	A-134	<p>4階親子傍聴席において、D 断面図に梁型がありますが、仕上は有孔ケイカル板と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
211	A-134	<p>4階親子傍聴席において、ササ^レ檜集成材 t30×2 とありますが、t30+30 が両サド^レにあると考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
212	A-067 A-132	<p>4階傍聴ロビーにおいて、天井伏図で GCW 周りが㊶天然木練付となっていますが、議場詳細図-1 展開図 A・C 面では軒天の様な図示と</p>	天井詳細図を正とし、LDG にて GB・R t 12.5+天然木練付板を上裏に

			なっている為相違します。天井伏図を正とする場合、下地及び納まり詳細図を御指示下さい。	設けてください。
213		A-134	4階傍聴ホールにおいて、議場詳細図-3 C 断面図の B 断面に見切縁がありますが仕様が不明です。既集成材程度と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
214		A-018	トイレブースにおいて、仕上表-1 で TB-GPR とありますが、小松ウォール：サニティ TB-GPR と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
215		A-021 A-064 A-056	各階便所の天井仕上において、仕上表及び天井伏図では GB+EP となっていますが、便所詳細図-1~8 まで岩綿吸音板となっている為相違します。仕上表及び天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
216		A-118	便所洗面カウンター部の化粧鏡において、下地補強が必要な場合、仕様、寸法等を御指示下さい。	A-118 図中の D-121 図に示すとおりとしてください。
217		A-056 A-058 A-061 A-118	便所において、鏡：W350・400・450×H1000 がありますが、枠の仕様及び下地有無、下地補強等が不明です。部分詳細図 7/D-121 洗面カウンターの鏡に倣うと考えて宜しいでしょうか。	枠、下地補強は不要とし、接着張りとしてください。
218		A-021 A-056	1階 LGBTWC1-1 において、仕上表に洗面カウンターとありますが、便所詳細図-1 の展開図では洗面器のみとなっている為相違します。展	よろしいです。

			開図を正と考えて宜しいでしょうか。	
219	A-057 A-118		1階 FWC1-2 他において、パウダーカウンター上に鏡がありますが詳細が不明です。洗面カウンター部の鏡に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
220	A-021 A-033		免震層において、壁仕上が仕上表では C ママですが矩計図では C 塗装の上 FCC とあり相違します。C 塗装の上 FCC と考えて宜しいでしょうか	矩計図に示すとおり、ドラムエリア回りのみ C 塗装の上 FCC としてください。
221	A-017 A-033		免震ピット天井において、仕上特記仕様書にはポリスチレンフォーム t=70 打込とありますが、矩計図には t=70 と t=50 があり相違します。t=70 と考えて宜しいでしょうか。 又、大梁には断熱材 t=50 吹付とありますが、ポリスチレンフォーム t=50 打込と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。 又以降の質問についてもよろしいです。
222	A-021		消火水槽において、仕様が不明です。雨水貯留槽と同様と考えて宜しいでしょうか	A-116 図中の D-102 図に示すとおりです。
223	A-116		ピットトラップにおいて、奥行が不明です。D=200 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
224	A-021		ポリウレタン樹脂ライニング工法において、メーカー・品番がございましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。

225		A-144	新東棟のゴミ庫において、排水溝 W200 とありますが H 寸法及び仕上が不明です。H100、モルタル金鍍程度と考えて宜しいでしょうか。	防水モルタル+防滑性エポキシ塗床 W200 x H50、蓋無しとしてください。
226		A-144	新東棟のゴミ庫及び土嚢収納庫において、埋設配管が汚水柵の手前に側溝がある為、汚水柵までの経路が不明です。経路詳細及び参考数量 m を御指示下さい。	経路は平面図を参照し算出してください。 汚水柵までの経路詳細については、監督員との協議となります。
227		A-144	新東棟の会議室 E 他において、柱型の仕上は EP-G 程度と考えて宜しいでしょうか。	EP としてください。
228		A-021 A-144	新東棟の洗濯・乾燥室において、壁下地が仕上表では耐水石膏ボードとなっていますが、平面図では石膏ボードとなっている為相違します。耐水石膏ボードを正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
229		A-144	新東棟の洗濯・乾燥室において、洗濯パンは 2 か所と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
230		A-144	新東棟の洗濯・乾燥室において、物干しは 2 個/1 組を 1 か所計上と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

231		A-144	新東棟のサツ額縁において、有無及び断面寸法が不明です。ご指示下さい。	建具表を参照してください。
232		A-144 S-81	新東棟の防火水槽において、平面図には人通口がありませんが構造図にはあり相違します。不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
233		A-021 A-144	新東棟の配管ピットにおいて、仕上表備考に釜場がありますが、平面図には無く相違します。不要と考えて宜しいでしょうか。	仕上表を正とし、 W600xD600xH300 を 1 か所として ください。
234		A-021 A-144	新東棟の配管ピットにおいて、仕上表備考にマンホール、トラップがありますが、平面図には無く相違します。1 か所ずつ必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
235		A-095 他	<p>詳細図の無い建具において、それぞれ以下を準用すると考えて宜しいでしょうか。</p> <p>ACW-202→ACW-201 準用 ACW-305→ACW-308 準用 ACW-302・401→ACW-308 準用 ACW-304・402→ACW-308 準用 ACW-306→ACW-308 準用 ACW-309→ACW-301・303 準用 GCW-201・206 以外の GCW→GCW-201 準用</p>	<p>下記のとおり準用してください。</p> <p>ACW-202→ACW-201 準用 ACW-305→ACW-308 準用 ACW-302・401→ACW-301 準用 ACW-304・402→ACW-301 準用 ACW-306→ACW-301 準用 ACW-309→ACW-301・303 準用 GCW-201・206 以外の GCW→GCW-201 準用</p>

			<p>AW-204・207・304・306・307・404・405・407・408・409・410・411・412・413・414・415・E01・E02・E03・E04→AW-305 準用</p> <p>AW-302・303・402・403→AW-301 準用</p> <p>SSD-102→SSD-101 準用</p> <p>SSD-111→SSD-110 準用</p> <p>SSD-112→SSD-110 準用</p>	<p>AW-204・207・304・306・307・404・405・407・408・409・410・411・412・413・414・415・E01・E02・E03・E04→準用する詳細図無し</p> <p>AW-302・303・402・403→AW-301 準用</p> <p>SSD-102→SSD-101 準用</p> <p>SSD-111→準用する詳細図無し</p> <p>SSD-112→準用する詳細図無し</p>
236	A-087 他 A-200 他	<p>下記建具において、防火区画図では遮煙性能有の記載がございますが、建具表では記載が無く相違します。遮煙性能有と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・SD-106・110・111・115・201・205・209・211・213・305・308・310・311・312・313・314・401・402・410・408・411</p> <p>・SW-208</p>	建具表を正としてください。	
237	A-087 A-200	<p>SD-112 において、防火区画図では煙感連動の記載がございますが、建具表では記載が無く相違します。煙感連動と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。	
238	A-087 A-200	<p>SD-208 において、防火区画図では防火区画上・遮煙性能有となっておりますが、建具表では記載が無く相違します。常時閉鎖式特定防火</p>	防火区画ライン上に無いため、特定防火設備とする必要はありません。	

			設備 2 と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
239	A-088 A-201		SD-409 において、防火区画図では防火区画上にございませんが、建具表では特定防火設備となっており相違します。常時閉鎖式特定防火設備 2 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
240	A-046 A-200		SG-001 において、1 階平面詳細図-1・執務室 1-B・機械室 1-2 間 (X4/Y5 通り)、執務室 1-B-DS 間(X4-6/Y5 通り、X10-11/Y5 通り) 執務室 1-C・機械室 1-1 間(X9-10/Y5 通り)に計 5 か所ございますが、防災計画図-1 では防火区画上にある為、常時閉鎖式特定防火設備 2 と考えて宜しいでしょうか。 又、上記が正の場合防火ダンパーが必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	建具表を正としてください。 ダンパーは本工事では不要としてください。
241	A-049 A-200		LD-204 において、2 階平面詳細図-2・廊下 2-1・執務室 2-A 間(X10-Y9 通り)にございますが、防災計画図-1 では防火区画上にある為、鋼製の常時閉鎖式特定防火設備 2 と考えて宜しいでしょうか。	該当箇所の LD-204 は SD-201 と読み替え、 下記の数量を正としてください。 LD-204 : 9 か所 SD-201 : 5 か所
242	A-087 他		外部建具枠廻りシーリングにおいて、図に記載の無い場合カーテンウォール以外は 15×10 のシングルシーリング、カーテンウォールは 20×10+20×10 のダブルシーリングと考えて宜しいでしょうか。	図に記載のない場合、 AW、ACW、GCW はダブルシーリングとしてください。

				SD、SSD、SS、SW はシングルシーリングとしてよろしいです。
243		A-093 他	Low-E 複層ガラスにおいて、映像調整費は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
244		A-082 他	強化ガラスにおいて、単板の箇所(SW-106 の框戸部分等)は飛散防止フィルム A が必要と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
245		A-086	GCW-401 において、框戸部分のガラスの種類が不明です。強化ガラス t=8.0 と考えて宜しいでしょうか。	Low - E6+A12+P6 としてください。
246		A-082 A-091	SW-305 において、建具表-5 のガラスでは P-6、扉部 T-5 とございますが、建具姿図-1 では P-8 の箇所もあり相違しております。建具姿図-1 を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
247		A-092 A-101 他	GCW において、建具表-6 の備考にコマガラス工法とございますが、ガラスの種類・W 寸法が不明です。フロントガラス t=5.0・W=20 と考えて宜しいでしょうか。	t=6.0・W=20 としてください。
248		A-080 A-091	SW-109 において、確認ですが 1 階平面図・待合 1-3-倉庫 1-5 間 (X3/Y5-6 通り)にございますが、飛散防止フィルム B(乳白色)による目隠しと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

249		A-105 他	SSD の自動ドアにおいて、建具詳細図-11 等では強化ガラス細枠枠とございますが、自動ドアは全てパブリコスカドアと考えて宜しいでしょうか。	メーカー・品番の指定はありません。
250		A-005	自動ドア開閉装置において、特記仕様書-3・センサーの種類に多機能トレスイッチとございますが、多機能トレ部に自動ドアが無い為、適用は無しと考えて宜しいでしょうか。 又、上記が誤の場合、適用する建具を御指示下さい。	よろしいです。
251		A-090	SSD において、建具表-4 の備考にパニックオープンとございますが、電気錠は必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
252		A-081 A-089	LD-301・401 において、建具表-3 の金物に引戸錠とございますが、LD-301×1 か所、LD-401×4 か所は WC に取り付く為、LD-101・201 に倣い表示錠と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
253		A-005	鋼製建具の水密性、ステンレス製建具の気密性・水密性が不明です。鋼製建具の水密性:W-1、ステンレス製建具の気密性:A-3・水密性:W-4 と考えて宜しいでしょうか。	鋼製、ステンレス製ともに外部に面する建具は気密性：A-3、水密性：W-4 としてください。
254		A-091	SW-407～409 において、建具表-5 の枠に GW 充填とございますが、密度が不明です。32kg/m3 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

255	A-095 A-100	カーテンウォール方立部、カーテンウォールファスター部、自然通風用チャンバーのロックウール吹付において、密度が不明です。80kg/m ³ と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
256	A-079	外部ガリにおいて、建具特記仕様書・共通事項に「W1500以上は方立を設ける。」とございますが、材質・寸法が不明です。材質はガリ本体に倣い、寸法はW60×D200と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
257	A-047	1階平面詳細図-2において、待合1-1-多目的スペース間(X3-5/Y9)通りに中枠がございますが、スチール・t=1.6・AEBと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
258	A-080 A-087	SD-009において、建具表-1では仕上がSOPとなっておりますが、建具案内図-1・2階平面図外部廊下-EPS間(X2-3/Y4-5通り)のSD-009は外部に取り付く為、他の外部建具に倣いDPと考えると宜しいでしょうか。	該当部のSD-009のみFEB仕上としてください。
259	A-101	GCWにおいて、コマガラス部にアルミホルダーがございますが、仕上が不明です。BA-1種のシルバーアルマイトマットと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
260	A-117	MSFにおいて、部分詳細図-6・D-115の座板・ガードレールにアルミがございますが、表面処理が不明です。BA-1種と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

261		A-005 A-090	SSD の表面仕上において、特記仕様書-3・ステンレス建具ではフッ素樹脂焼付となっておりますが、建具表-4 では SSD-101～112 まで HL となっております相違します。建具表を正とし HL と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
262		A-015 A-088	SD-306・406 において、建具表-2 の仕上に天然木練付板とございますが、SD-306 はラウンジ側のみ、SD-307 は両面とし、枠、小口は SOP と考えて宜しいでしょうか。 又、 SD-307 の仕上に天然木練付ケイカル板とございますが、エレメント図-1 に倣い天然木練付板と考えると宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	SD-306：よろしいです。 SD-307：天然木練付ケイカル板 ホクサン ケイカル板 t6 柵付パーチ板目着色 UC 同等品としてください。
263		A-090	WD-301 において、建具表-4 の仕上に天然木練付板とございますが、枠、小口は UC と考えて宜しいでしょうか。	OSCL としてください。
264		A-018 A-09	TL-001 において、建具表-4 では仕上が HL とございますが、仕上表-1 では DP となっております相違します。HL を正と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

265	A-119	<p>SS-202 において、部分詳細図-8・D-133 に化粧枠がございますが、材質・厚さ・仕上が不明です。スチール・t=1.6・フッ素樹脂焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、D-134 の同様の箇所に W=150 の記載のみございますが、D-133 に倣い上記と同仕様の化粧枠が必要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p> <p>D-134 についてもよろしいです。</p>
266	A-117	<p>部分詳細図-6 において、D-117 に堅材:L-50×50×6 がございますが、ピッチが不明です。@900 と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、</p> <p>D-117 に FB-50×6 @350 とございますが、取り付く箇所が不明です。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。FB はボード下地としてください。</p>
267	A-081	<p>TL-R01・R02 において、建具案内図に建具符号の記載がございませんが、R 階平面図・議場-傍聴スペース-上部(X1/Y5-9 通り、X3/Y5-9 通り)に計 2 か所必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
268	A-080 A-093	<p>AW-E02 において、建具表-7 では個数が 1 か所となっておりますが、建具案内図-1・新東棟 2 階平面図では休憩・控えスペースに計 2 か所建具符号の記載があり相違します。2 か所と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
269	A-080 A-092	<p>AG-106 において、建具案内図に建具符号の記載がございませんが、建具表-6 の取付場所から 1 階平面図・待合 H1-2-外部通路間(X9/Y1-</p>	<p>よろしいです。</p>

			2 通り)、外部通路-倉庫 1-2 間(X9-10/Y1-2 通り)の計 2 か所必要と考えて宜しいでしょうか。	
270		A-048 A-089	2 階平面詳細図-1 において、問診室-計測室間(X6/Y1-2 通り)、計測室-診察室 2-1 間(X6-7/Y1-2 通り)に片引戸が計 2 か所ございますが、建具符号がございません。いずれも LD-201 と同寸法、同仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 LD-201 の数量は「7 か所」を正としてください。
271		A-039 A-046	SD-107 において、1 階平面詳細図-1・階段室 B-消火ポンプ 室間(X10-11/Y2-3 通り)に記載がございますが、階段室 B 詳細図-1 では倉庫 1-1-消火ポンプ 室間(X10-11/Y3 通り)に記載があり相違します。階段室 B-消火ポンプ 室間(X10-11/Y2-3 通り)を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
272		A-029 A030 A-084 A-093	AW-108・109 において、建具表-7 の形式・立面図では突出窓となっておりますが、建具姿図-3 では外倒窓となっております。突出窓と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
273		A-030 A-085	ACW-202 において、立面図-2・南立面図・2F に 2 枚突出窓付で計 3 か所姿がございますが、建具姿図-4 では嵌殺窓のみとなっております。突出窓は不要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

274		A-030 A-085	ACW-201において、立面図-2・東立面図・2Fに2枚突出窓付で計5か所姿がございますが、建具姿図-4では4連突出窓付となっております。2枚突出窓付と考えて宜しいでしょうか。	建具姿図を正としてください。
275		A-087	SD-120において、形式は片開戸となっておりますが戸袋は不要と考えて宜しいでしょうか。	戸袋は必要とします。
276		A-085 A-096 A-098	ACW-201・202・309の自然通風用チャンバーにおいて、建具姿図-4では建具詳細図-2のAW-301、401と同形状と思われませんが、建具詳細図-4のACW-201と形状が相違しております。建具詳細図-4のACW-201の形状を正とし、ACW-202・309もそれに倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
277		A-105 他 A-117	自動ドア安全柵において、部分詳細図-6・D-118ではW=1100となっておりますが、建具詳細図-11等ではSSD毎にW寸法が異なっております。W寸法は建具詳細図に倣い、H寸法、仕様は部分詳細図に倣うと考えて宜しいでしょうか。 又、 上記が正の場合、部分詳細図-6・D-18のフレーム部がFB-3 20×40とFB-3×18で相違しております。FB-3×18を正と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	部分詳細図を正として全てW=1100で積算してください。なお、部分詳細図-6・D-18の各部寸法は下記を正としてください。 外周フレーム：SUSFB-12×50 押縁：SUSFB-3 20×40

278		A-091	<p>SW-201 において、扉見込の記載がございませんが、他の SW に倣い 40 と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、</p> <p>SW-307・308 において、扉見込が 40 となっておりますが、^パ 祢窓の為不要と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。</p>	よろしいです。
279		A-101 他	<p>建具詳細図-7・8 において、詳細図の記載寸法と実寸が相違している箇所が多数ございます。実寸を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、上記以外の建具詳細図で記載寸法の変更がございましたら御指示下さい。</p>	よろしいです。
280		A-082 他	<p>建具寸法において、建具表、建具姿図、で寸法の相違が多数ございます(SD-E01:建具表 TH=2500・建具姿図 TH=2600、ACW-202:建具表 W=6570・建具姿図 W=6600 等)。建具表と建具姿図のみの相違の場合は建具表の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、上記が誤の場合正しい建具寸法を御指示下さい。</p>	よろしいです。
281		A-068 他 A-087 他	<p>建具において、建具表と展開図で寸法、スリット窓の有無等の相違が多数ございます(SG-001:建具表 H=2550・展開図-1 執務室 1-B C 展開 H=2850、SW-111:建具表 H=2070・展開図-1 執務室 1-B D 展開 H=2500、SG-002:建具表 W2000×H600・展開図-2 総合案内 B 展開: W700×H1800 等)。建具表と展開図のみの相違の場合は建具表</p>	よろしいです。

			の寸法を正と考えて宜しいでしょうか。 又、上記が誤の場合寸法、形状を変更する建具を御指示下さい。	
282	A-019 A-087	SD-208 において、建具表-1 では H=3950 となっておりますが、SD-208 の取り付く指導室の天井高が H=3800 となっております納まらないと思われます。H=3800 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
283	A-082 A-088	SD-E01 において、建具表-2 では TH=2500 となっておりますが、建具姿図-1 では TH=2600 となっております相違します。TH=2500 を正とし、ガリ部分を H=400 と考えて宜しいでしょうか。	TH=2450、ガリ H350 を正としてください。	
284	A-033 A-091	SW-104 において、建具表-5 では H=645 となっておりますが、矩計図-1・執務室 1-B-廊下 1-2 間では H=345 となっております相違します。H=345 と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。	
285	A-080 A-089	LD-203 において、建具表-3 では W=1600 の両開フラッシュ戸となっておりますが、建具案内図-1 では W=900 の片開フラッシュ戸となっております相違します。W=900 の片開フラッシュ戸と考えて宜しいでしょうか。	建具表-3 を正としてください。 2 階平面図を正としてください。	
286	A-096 A-097	AW-301・401 の自然通風用チャンバーにおいて、建具詳細図-2・AW-301、401 I 断面詳細図では W=465 となっておりますが、建具詳細図-3・AW-301、401 L 断面詳細図では W=490 となっております相違します。	よろしいです。	

			W=490 と考えて宜しいでしょうか。	
287		A-034 A-093	AW-414・415 において、建具表-7 では H=1950 の片引窓となっておりますが、矩計図-2・4 階・廊下 4-6 では、H=2810 の上部突出窓付となっております。矩計図-2 を正と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
288		A-090 A-105	SSD-101 において、建具表-4 では H=2900 となっておりますが、建具詳細図-11 では H=2950 となっております。建具本体は H=2950、自動ドア部分は H=2500 と考えて宜しいでしょうか。 又、 SSD-102 も SSD-101 に倣い建具本体、自動ドア部分いずれも H=2500 と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	SSD-101 は TH=2950、自動ドア部分 H=2,400 を正としてください。 SSD-102 は建具表のとおり TH=2,400 を正としてください。
289		A-090 A-106	SSD-105～108 において、建具表-4 では H=2400 となっておりますが、建具詳細図-12 では H=2590 となっております。建具本体、自動ドア部分いずれも H=2590 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
290		A-068 A-090	SSD-111 において、建具表-4 では W2360×H2400 となっておりますが、展開図-1・売店・D 面では W1200×H2400 となっております。W1200×H2400 を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
291		A-036 A-092	ACW-202 において、建具表-6 では H=3210 となっておりますが、矩計図-4・問診室の ACW-202 は H=3250 となっております。矩計図-4 を正とし、全ての ACW-202 を H=3250、自然通風用チャンバーの	建具表を正としてください。

			窓は H=3070 と考えて宜しいでしょうか。 又、 同面に取り付く ACW-201 も同様に H=3250 と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	
292		A-053 A-086 A-092	GCW-401 において、建具表-6 では W=13700 となっておりますが、4 階平面詳細図-2、建具姿図-5 等では W=23700 となっております。W=23700 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
293		A-138 A-139	駐輪場サインにおいて、基礎概要ではサイン基礎の図示がございますが、サイン配置図では記載がございません。不要と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
294		A-137 A-140	施設名称サイン C(壁付大)、免震建物表示、連続送水管表示において、取付が F(自立)となっておりますが、壁付と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。A-137 図を正とします。
295		A-140	施設名称サイン C(壁付大)において、市の花～利用案内表示/塩ビシートフィルム張、表示/塩ビシートフィルム張は不要と考えると宜しいでしょうか。 又、必要の場合は設置箇所を御指示下さい。	よろしいです。
296		A-137 A-138	施設名称サイン D(壁付小)において、サインリストでは外構に 2 か所となっておりますが、サイン配置図-1 では 2F の外部に 2 か所記載があり、計 4 か所となり相違します。計 4 か所と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

297		A-140	誘導サイン C(自立小)において、上側の支柱が $\phi 80$ となっておりますが、誘導サイン A・B に倣い $\phi 30$ と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
298		A-140 S-16	免震建物表示において、サイン意匠図では台数が 3 か所となっておりますが、免震工事特記仕様書・2・8.8 では 6 か所となっております。3 か所を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
299		A-140	案内サイン A(総合案内)において、階数表示の H 寸法が不明です。H=400 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
300		A-138	誘導サイン E(床面 1/金属タイプ)において、サイン配置図・1・2F に 2 式とございますが、1 式と考えて宜しいでしょうか。 又、上記が誤の場合設置箇所を御指示下さい。	よろしいです。
301		S-2 L-001	外構、駐輪場、車寄せ屋根棟基礎のコンクリートにおいて、S-2 図は FC21 スランプ 15 と L-001 図は鉄筋コンクリート・24-12-25 と相違します。特記なきは S-2 図優先で FC21 スランプ 15 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
302		L-009	洗い出し透水性コンクリート舗装・B・A において、詳細で「TCP-B と同じ製品とする、同様の要領で…」とありますが、TCP-B の詳細がありません。要領、製品をご指示ください。	詳細図下部に記載の「透水性コンクリート仕様」に準じてください。製品は(株)佐藤渡辺、パーミアコン同等品としてください。

303		L-004	敷地南東コーナーの白線引き延長および配管後 AS 復旧間の白抜き範囲の舗装仕上は既存のままと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 ただし、工事範囲の一点鎖線内の既存 L 型側溝撤去 (L-003 図参照)、L 型側溝新設 (L-005 図) に伴い必要となる AS 舗装部分の断面は、密粒度 AS 厚 50、プライムコート、再生粒調碎石路盤 RN-40 厚 150、再生クラッシャーラン路盤 RC-40 厚 350 としてください。
304		L-015	集水柵 C において、コンクリート柵は在来、配筋は集水柵 D に倣いタテコ D10@200 シングルと考えて宜しいでしょうか。	無筋コンクリートの雨水柵としてください。
305		L-015	暗渠管において、土被り h2 は H300 程度と考えて宜しいでしょうか。	L-005 図排水平面図に記載の管底高 (EL)、柵仕上げ高 (FH) を参照し、各路線ごとの土被りとしてください。
306		A-009 A-145 A-146 S-83	A-009 図より駐輪場 1・2・5 及び車寄せ屋根 2、多目的駐車場 3 を本工事とし、駐輪場 3・4 は別途工事で宜しいでしょうか。	よろしいです。

307		L-017	既存ボックスカルバート改修範囲の新設ボックスカルバート上部の新設アスファルト舗装 H272 の断面、仕様をご指示ください。	密粒度アスファルト (20) t=50mm 路盤 RC-40 t=222mm としてください。
308		L-004	西南側敷地外に AS・B(配管後 AS 復旧)とあります。 本工事で見込むと考えて宜しいでしょうか。 その場合、AS 復旧断面詳細をご指示ください。	本工事としてください。AS 復旧断面は、密粒度 AS 厚 50、プライムコート、再生粒調碎石路盤 RN-40 厚 150、再生クラッシャーラン路盤 RC-40 厚 350 としてください。
309		L-004	凡例:白線引き・K:既存延長 W150、300 において、図示は横断歩道 W500 と相違します。図示を優先と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
310		L-004	凡例 TD:タイヤ止めが図示では身障者用駐車場のみです。図示通り、一般駐車には不要で宜しいでしょうか。	よろしいです。 CE-C コンクリート縁石・C にてタイヤ止めを兼ねる設計とします。
311		L-004 L-006	植栽、駐輪場範囲にごろた敷きがありますが、周囲に見切りは不要で宜しいでしょうか。 必要な場合、使用範囲と仕様および断面詳細をご指示ください。	よろしいです。
312		S-2 L-014 L-015	在来の側溝・柵のコンクリートにおいて、S-2 図より Fc21、スランプ 15 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

313		L-005	東側の TM-B : 中継槽-B で建築地下雨水流出用区政層排水接続となる柵の深さ、H 寸法が図示にありません。ご指示ください。	GL-850 で接続としてください。
314		L-005 L-014	L 型側溝の詳細図で低部がありますが、図示で範囲が不明です。範囲または長さをご指示ください。	L-005 図 「LS-A 斜ブロック」より北東側の範囲を低部としてください。
315		L-006	樹木リスト:記号エトヒとエドにおいて、図中エゴをエゴノキ、エトヒをエトヒガンザクラと読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
316		L-006	図中に樹木「しら B」とありますが、樹木リストがありません。シラカシ B : H7.0C0.5W3.0、支柱 C と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
317		A-137 A-139	外構サイン EX02・ES14・15・17・21 の RC 基礎において、H500、コンクリートFC21 スランプ 15、D10@200ダブル(HOOP:D10)程度、捨てコン t50+再生砕石 t100 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
318		A-139	外構サイン ES07・08・09・13 の基礎において、PC ロックと考えて宜しいでしょうか。 在来の場合、配筋をご指示ください。	径 D13@200 としてください。

319	L-012	階段-Bにおいて、雑詳細図-4 断面図で配筋がササラ D13@200のみです。段鼻に 1-D13、イブマ筋 D13@200、1 段目ベース筋 D13@200 シングル筋程度で見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
320	A-045 S-74	受水槽置場において、A-045 図で排水柵「詳細は L-024 図による」とありますが、L-024 図がありません。詳細、溝蓋の仕様、品番をご指示ください。	L-015 図 SM-C によるものとしてください。
321	A-045 S-74	受水槽置場の排水柵内部の仕上はコンクリート金鰈と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
322	A-024	給油ボックス基礎において、躯体 H800 のうち地中埋設 H150、ベタ基礎と考えて宜しいでしょうか。	躯体 H 9 5 0、地中埋設を H 1 5 0 とし、ベタ基礎でよろしいです。
323	A-145 A-146 S-83	駐輪場 1・2・5 基礎、多目的駐輪場屋根 3 基礎において、A-146 図と S-83 図とで相違します。S-83 図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
324	S-83	上記の場合、多目的駐輪場屋根 3 基礎 F33 のリストがありません。基礎 F33 は、W1500×D1500×H500、D13@200 ダブル筋と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

325	その他		外構解体工事範囲の設備埋設配管は別途先行撤去済と考えてよろしいですか。	K-001 図に記載のとおり、本工事に て VUφ300 (平均) L=200m (想 定)、外灯配線配管、未使用の水道管 の埋設配管撤去を見込んでくださ い。
326			別棟既存杭引抜杭伏せ図のご提示をお願いいたします。	S-104「既存杭位置図」を参照して ください。
327			矩計図：免震ピット断熱材は難燃材でしょうか、あるいは指定なし でしょうか。ご指示下さい。	難燃材としてください。
328			土対法に伴う解体工事は別途と考えてよろしいでしょうか（土壌 汚染がある場合）	よろしいです。
329	告示 (P1)		3 入札の日時等 入札参加を希望する者は、左に示す期間内に電子 入札システムにより競争参加資格確認書を提出すること。とありま すが、電子入札システムに添付が必要な資料等はないとの考えでよ ろしいでしょうか。	よろしいです。
330	告示 (P1)		3 入札の日時等 入札に際し、「入札金額見積内訳書」ファイルを 添付すること。とありますが、ファイル名「D1 (4/5)・・・」を 添付するとの考えでよろしいでしょうか。	よろしいです。

331	告示 (P6)		<p>6 入札参加資格の確認等 (1) 確認資料は、指示された日の翌日から起算して原則として2日以内に持参により提出すること。とありますが、確認資料の審査は、おおよそどれくらいの日数を予定していますでしょうか。</p>	<p>八潮市建設工事等事後審査型一般競争入札試行要綱において、参加資格の審査については、「確認資料の提出期限の翌日から起算して原則として3日（休日を除く。）以内に行わなければならない。ただし、参加資格審査に疑義が生じた場合は、この限りでない。」と規定しております。</p>
332	告示 (P10)		<p>14 その他 (12) ZEB 補助金事業に応募予定であるため、補助採択の決定にあつては補助事業スケジュールに合わせた施工管理スケジュールとすること。とありますが、具体的には今回の工事スケジュールにどのような影響や制約がありますでしょうか。</p>	<p>補助対象工事（建築工事においては断熱材とLow-E複層ガラスのみ対象）については、交付決定後に着手となります。また対象工事は各年度2月までに支払いまでに完了している必要があるため、補助対象部分に対しスケジュール調整が必要となります。</p>
333	告示 (P5)		<p>5 その他の入札参加資格等 配置技術者② オ国の機関又は地方公共団体が発注した建築一式工事の主任技術者又は監理技術者として1件以上の完了実績があること。とありますが、在任率等の制約はありますか。</p>	<p>契約期間全てで在任した実績とします。</p>

334	公告文 1 ページ		<p>1. 入札対象工事（4）工期について 「契約締結日から・・・」記載がございますが、契約締結予定日をお教えてください。</p>	<p>契約締結日までの手続きについては、開札後、入札参加資格の審査を経て、落札決定、仮契約の締結となり、その後開催予定の第3回市議会定例会に本議案を提出する予定です。 契約締結予定日は、公告文の「13 契約締結について」を確認してください。</p>
335		A-003	<p>1 章 一般事項 8 施工条件 施工時間 「原則として八潮市の休日を定める条例による休日以外」と記載がございますが、記載の内容がわかる資料をいただけないでしょうか。</p>	<p>市ホームページの例規集から、当該条例を参照してください。</p>
336		A-003	<p>2 章 仮設工事 4 工事用水 構内既存施設が利用できるとの記載がございますが、位置と、給水管の径をお教えてください。</p>	<p>使用手続きのうえ水道メーター25mmが利用できます。位置は別館庁舎解体範囲の敷地境界付近となります。</p>
337			<p>契約締結後に近隣説明会を実施しそのその後、工事着手（仮囲い等）というスケジュールで工程検討を行うことで宜しいでしょうか</p>	<p>よろしいです。ただし、仮囲い等の設置時期については監督員との協議によります。</p>

338			地鎮祭の予定はございますか。 地鎮祭の予定がある場合、解体工事と新庁舎建設工事期間の間に実施と考えてよろしいでしょうか。	地鎮祭の予定はありません。ただし、安全を祈願するための受注者主催による起工式はこの限りではありません。なお、費用は諸経費に含まれるものとします。
339			現在近隣との協定等はございますか。ある場合、その内容をお教えてください。	市と近隣住民との協定はありません。
340		A-203 ～ A205	参考仮設計画図は、参考と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
341		S-1	5章鉄筋工事 定着について 定着プレート等の使用は可能と考えてよろしいでしょうか。	適用範囲を確認し、監督員の承諾を受けた場合は、使用してよろしいです。
342		S-2	6章コンクリート工事 5節コンクリートの品質管理 躯体防水混和材、膨張材の使用範囲ですが、擁壁のみにすることは可能でしょうか	図面仕様に準じてください。
343		S-104	既存杭の引き抜きについて 新設杭と近接する既存杭を引抜いた際の埋戻し材に強度発現不足等が発生した場合、新設杭の孔曲りや孔壁が崩壊し、新設杭が高止ま	オーガーケーシング杭抜工法の後に流動化処理土での埋め戻しとしてください。

			りする等のリスクや見積金額の差異が生じます。既存杭撤去工法（ケーシング削孔等）と埋戻し工法（再生砂、流動化処理土等）について、具体的にご指示ください。ケーシング削孔後、杭引抜き、現場発生土による埋戻し、セメントミルクを注入しながらの攪拌による工法を検討しています。	ただし、品質・工期および施工安全上問題なく、監督員の承諾を受けた場合は、別工法でもよろしいです。
344		S-104	新設杭と近接する既存杭に関しては上記方法で施工し、それ以外の杭は現場発生土にて埋め戻しとして見積りするという事で宜しいでしょうか。	オーガーケーシング杭抜工法の後に流動化処理土での埋め戻しとしてください。 ただし、品質・工期および施工安全上問題なく、監督員の承諾を受けた場合は、別工法でもよろしいです。
345			根切・埋戻共に設計G Lを基準としてよろしいでしょうか、ご指示下さい。	現況図、K-001~010 図を基準としてください。
346		A-008	第 24 章 ⑰既存杭 「流動化処理土を充填する」と記載がございますが、地盤の安定が維持可能であることを証明可能であれば、別の工法・埋め戻し方法を選択可能と考えてよろしいでしょうか。	質問番号 344 の回答と同じです。
347		S-25,32	1 階伏図 Y5 通り X3-5 および X9-11 間にある壁は伏図では EW18 ですが軸組図では EW18A と異なります。伏図を正とし	EW18A としてください。

			EW18 と考えてよろしいでしょうか、ご指示下さい。	
348		S-56	デッキ複合スラブの仕様書で、耐火補強筋の鉄筋が不明です。D13 と考えてよろしいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
349		S-48	床スラブリストで、S1～S6 は型枠、DS1～DS5 はフラットデッキと考えるとよろしいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
350		S-48	床スラブリストで、特記外 3 フラットデッキ仕様に「デッキ高さ 75」とありますが、スラブ厚（コンクリート厚）は 150 と考えてよろしいでしょうか、ご指示ください。	よろしいです。
351		A-036	3 階バルコニーの床段差部および R 階外周部の下がり壁の詳細（コンクリート厚、配筋、デッキプレートとの取り合い等）をお知らせください。	S-73「スラブ段差鉄骨および配筋要領図」に準じてください。
352		S-83	南側外構工作物 部材リストの共通事項に「基礎・基礎梁下地業は捨コン厚 50、地盤改良とする」とありますが、各軸組図では基礎下のみ地盤改良の表現です。基礎梁下は砕石地業厚 150 と考えてよろしいでしょうか、ご指示下さい。	基礎梁下は捨てコン 50、砕石 60 としてください。
353		S-83	多目的駐車場屋根 3 の基礎 F33 が基礎リストにありません。F33 のリストをお知らせください。	H×B×D=500×1500×1500 としてください。

354		S-83	<p>多目的駐車場屋根 3 の基礎下は地盤改良とするのでしょうか。地盤改良をする場合は下端の寸法を、砕石地業とする場合は砕石地業厚さをご指示下さい。</p>	<p>地盤改良はありません。 砕石は 60 としてください。</p>
355		S-45,50	<p>下記の鉄骨大梁の継手リストがございません。継手リストを御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 階 SGX1H : SN490B BH-400x300x12x19 ・ 4 階 SGY3H : SM490B BH-750x300x19x32 ・ SCG1A : SN490B H-340x250x9x14 ・ SCG4 : SN490B H-400x300x11x18 	<p>3SGX1H 中央は BH-400x300x12x22 に変更とし、継手仕様は下記としてください。</p> <p>3SGX1H_ウェブ :M20-3x2,2PL-12x260x290 フランジ :M20-5x2,PL-16x300x650,2PL-16x110x650</p> <p>4SGY3H_ウェブ :M22-8x2,2PL-12x500x290 フランジ :M22-9x2,PL-25x300x890,2PL-25x110x890</p> <p>SCG1A_ウェブ :M22-3x2,2PL-12x200x290 フランジ :M22-4x2,PL-12x250x530,2PL-12x110x530</p> <p>SCG4_ウェブ :M22-5x1,2PL-9x320x170 フランジ :M22-5x2,PL-12x300x530,2PL-12x110x530</p>

				なお SCG4 は正しくは H-440x300x11x18 です。
356		S-49	二次部材リストに於いて、SP15 : H-150x150x7x70 とございますが、H-150x150x7x10 の間違いではないでしょうか、御指示下さい	H-150x150x7x10 としてください。
357		S-29,38	R 階床伏図の X8 通り/Y8~9 通り間の大梁は SGX2 とございますが、X8 通り軸組図では SGY2 で相違しています。SGY2 を正と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
358	参考数量 P36,54		軽量リップ 溝形鋼数量が本体鉄骨と付帯鉄骨(屋根下地)に計上されておりますが、それぞれの数量区分け範囲を御指示ください。	本体鉄骨では RFL 中央吹抜け周囲の軒部分、屋根下地では議場金属屋根(X1~3/Y5~9)の屋根下地としています。
359	参考数量 P39		本体鉄骨の亜鉛メッキ処理項目に於いて、HDZ55 と HDZ55 リン酸処理の 2 種類ございます。HDZ55 リン酸処理の該当範囲を御指示下さい。	接合部のボルト摩擦面としてください。
360	参考数量 P53	S-73 A-054 A-055	屋上設備用 鉄骨架台の H 形鋼ですが、下記のように相違していません。構造図を読み替えて L3600 以下 H-150×150×7×10、 L7200 以下 H-294×200×8×12 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。

			<ul style="list-style-type: none"> ・参考数量 P53 H-150×150×7×10 ・S-73 図 L\geq3600 H-150×150×7×10 L\geq7200 H-294×200×8×12 ・A-054,055 図 H-200×200 	
361	参考数量 P54,55	S-30,35 S-40	付帯鉄骨(建具下地)の施工場所ですが、Y1・X1・X11 通り軸組図に図示されている以外の場所が不明です。施工場所及び詳細図(下地鉄骨部材・納まり図など)を御指示下さい。	建具詳細図・雑詳細図などに記載しています。
362	参考数量 P59,60		付帯鉄骨(庇 1 下地)の構造図がございません。施工場所、構造図(伏図・構成部材など)を御指示下さい。	A-146 図に仕様を記載しています。
363		A-048	2 階平面詳細図に-1 の X1~X2/Y4~Y5 通り間に遮光ルーバーがございいますが、下地鉄骨が不明です。下地鉄骨を御指示下さい。	3500 ピッチで SP16 を設け、SP16 間の 2FL+500 および 3FL-1500 の位置に HB12 を設けてください。
364		S-31,32 S-33,44	X11 通りの鉄骨柱 SC3 と RF 梁 SGX3H の接合部は現場溶接として宜しいでしょうか、御指示下さい。	X11-1200 で継手部を設け、下記仕様としてください。 ウェブ:M22-3x2,2PL-12x260x290 フランジ:M22-5x2,PL-22x300x650,2PL-19x110x650

365	参考数量 P180	S-81,82	新東棟建築工事の型枠に於いて、デッキ流止め 106m の項目がございますが、大梁・小梁ともに RC なので不要と思われます。不要と考えて宜しいでしょうか、御指示ください。	よろしいです。
366		S-81 A-144	基礎伏図には人通孔の図示がございますが、ピット階平面図にはありません。ピット階平面図を正と考えて宜しいでしょうか、御指示ください。	質問番号 232 の回答を参照してください。
367		A-113-D-16	新東棟の地流し壁小口タイルのメーカー・品番の指定が有りましたら、御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
368		A-052	4 階非常用進入口バルコニーに付く避難ハッチのメーカー・品番の指定が有りましたら、御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
369		A-052	3 階バルコニーに付く救助袋のメーカー・品番の指定が有りましたら、御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
370		A-28	屋根 3 に構造スリットの記載がありますが、X11 通りの 2 か所は丸環と読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
371		A-018、 040、112- D-10	屋根 3 床防水が部分詳細図-1 では保護コンクリートの記載がありますが、外部仕上表に倣い露出防水と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。

372		A-034、 055、128	屋根 2 の檜樋が平面詳細図では 140φ×2 本の記載ですが、Y6.7.8 通り 140φ×1 本と読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	X3-Y6,7,8 通りに 140φが 2 本ずつ 必要となります。
373		A-112-D- 05	屋上排水溝のサド [®] が PC150×80×600 又は現場打コンクリートの記載ですが、今回は現場打コンクリートで積算して宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
374		A-035、 112-D-01	笠木 A の形状が矩計図と部分詳細図 1 とで相違しております。矩計図に倣って宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-112 図を正としてください。
375		A-114—D- 27	手摺 E の部材寸法が断面では笠木:FB-9×44、手摺子:FB-12×44、立面図では笠木:FB-9×45、手摺子:FB-12×50 と相違しております。立面図に倣って宜しいでしょうか、御指示下さい。	立面図では笠木:FB-9×65、手摺子:FB-12×50 を正としてください。
376	参考内 訳 P-71	A-028、033	サークル広場側庇で参考内訳 P-71 では谷樋の項目が有りますが、平面図では谷樋の記載が有りません。矩計図-1 より谷樋は、不要と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-28 図中央の笠木 A より吹き抜け側の屋根に 3 か所としてください。
377	参考内 訳 P-71	A-033	サークル広場側庇で参考内訳 P-71 では落し口(φ100、防塵網)の項目が有りますが、矩計図-1 より横型 RDφ100 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。

378	A-112-D-09	サークル広場側庇の詳細図に捨て鉄板 t0.8:W300 通しは、笠木側・外壁側施工と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
379	A-052、054	屋上庇の X9-Y1 のドレインが A-054 図ではφ65、A-052 ではφ75 と相違しております。X1 通りと同じくφ75 と読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
380	A-035、050、051	矩計図-3 の 3 階バルコニー(厚生室前)(執務室 3-A)のドレインがφ75 の記載ですが、平面詳細図ではφ125 と相違しております。取付位置・径は、全て平面詳細図に倣い、横引ドレインと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	平面詳細図を正としてください。
381	A-035、050、051	3 階バルコニーにドレイン位置(外壁側)に排水溝 W100 程度を見込んで宜しいでしょうか、御指示下さい。 (スラブ 欠き込み+防水モルタル(水勾配)+塗膜防水)	よろしいです。
382	A-114-D-31	非常用進入口バルコニーの鉄骨貫通部塞ぎプレート部はロックール充填と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	D-28 図に示すとおり、ロックール充填としてください。
383	A-114-D-28	部分詳細図-3 の手摺は、全て非常進入口バルコニーの詳細図(A-114-D-2)に倣い溶融亜鉛メッキで、下地鉄骨・受金物(記載部分)を DP(フッ素塗装)と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。 又、手摺に DP(フッ素塗装)を見込む場合、塗装の必要な手摺を御指	よろしいです。手摺には塗装を見込む必要はありません。

			示下さい。	
384	A-114-D-3	非常用出入口バルコニーの鉄骨貫通部塞ぎプレート:St-FBt9.0-90×50×138は、バルコニーの巾(≒4200)部を塞ぐものと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	鉄骨貫通部のみとしてください。	
385	A-052、053	3、4階市民活動スペース側メンテナンスデッキの手摺は、外壁側・テラス側は不要と考え前面のみと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。	
386	A-035、121	PC版面の浸透性保護塗装の範囲は、下記のように考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・サークル広場側 PC:幕板+下端(糸 650+170) ・PHFLバルコニー側 PC:幕板+天端+下端(周長) ・3Fバルコニー側 PC:幕板+天端+下端(糸 50+190+650+35+35) 	外部に露出する面の全てとしてください。	
387	A-018、035	3階バルコニーの塗膜防水が外部仕上表では超速硬化ウレタン塗膜防水、矩計図ではウレタン塗膜防水と相違しております。超速硬化ウレタン塗膜防水と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。	
388	A-033	外壁の誘発目地シリングは、下記程度に見込んで宜しいでしょうか、御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・1階 RC 壁部:柱サイト ・2F~PHF 下り壁、バラペット部:@3000 程度 	新庁舎はよろしいです。 新東棟については、A-144 図に示すとおりとしてください。	

389	参考内 訳 P-84	A-115-D- 33	柱型化粧 ^ハ 柵(アルカッタ ^ハ 柵)の表面処理が参考内訳 P-84 では BA-1、 部分詳細図-4 では FEB と相違しております。FEB と考えて宜し いでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
390		A-029、50	3 階バルコニー北側手摺が平面詳細図では Y10~X5-X8 には記載が有り ませんが、立面図では記載が有ります。必要と考えるて宜しいでしょ うか、御指示下さい。	A-029 図、A-051 図に記載のとおり としてください。 なお、A-030 図の東、南立面図の 3 階バルコニー手摺 C については、3 階平面詳細図に準じてください。
391		A-030、50	3 階バルコニー北側手摺が平面詳細図では X11~Y3-Y10 には記載が有 りますが、立面図では記載が有りません。必要と考えるて宜しいでしょ うか、御指示下さい。	質問番号 390 の回答と同じです。
392		A-048	2 階倉庫 2-2 前遮光ルーバーの下地鉄骨の詳細を御指示下さい。	上下 2 点での固定とし、支持方法は A-115 図 D-37 図を参照し、併せて 鉄骨工事として H-125×125×6.5× 9.0 を遮光ルーバーの範囲としてく ださい。
393		A-048、49	2 階市民活動スペース床のグリッド(サイン工事)の単線・二重線の詳細を御 指示下さい。	別添の回答説明資料①を参照してく ださい。

394	A-067	4階傍聴ロビーのGCW-401 上部アルミカットパネルとアルミルーバー取合部詳細を御指示下さい。	A-067に示す⑩アルミカットパネルは、ガラス面と上部外壁の折り返し(上裏)を示します。
395	A-066	3階軒天 X8～Y4-Y5 は、⑪ケイ酸カルシウム板+外装薄塗材 E と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
396	A-034、 065、114- D-31	3階軒天 X8～Y4-Y5 が天井伏図では⑪ケイ酸カルシウム板+外装薄塗材 E の記載ですが、矩計図、部分詳細図では C 塗装の上外装薄塗材 E と相違しております。C 塗装の上外装薄塗材 E と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	設計図書に示すとおりとしてください。
397	A-065、 016-5	3階メンテナンスデッキ軒天(Y4～X6-X7、X8～Y5-Y6)の⑬アルミ格子天井の仕様は、エレメント図-2 の 5:アルミ格子天井と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
398	A-048	2階倉庫 2-2 前のガスボンベ置場で建築で見込むものが有れば、御指示下さい。	全て機械設備工事となります。
399	A-101	GCW-201 の上枠部フラッシングパネル(SUSt0.8HL)の受枠材の仕様を御指示下さい。又、GCW-202.203.204.205.206.401 も上部は同じ納まりと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	GCW-201 及びコンクリート下がり壁にビス止め固定としてください。 GCW-201 上部のみとなります。

400		A-018,065	2階市民活動スペース軒天:杉小幅目透し張には、廻り縁は不要と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
401		A-066,067	軒天:酸カルシウム板+EPS断熱ボードの廻り縁は、アル製と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-016 図廻り縁 M-3 に示すとおりです。
402		A-034、 115-D-37	遮光ルーバーの取付金物が矩計図-2では溶融亜鉛メッキ、部分詳細図ではドブメッキと相違しております。ドブメッキと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	溶融亜鉛メッキとしてください。
403		A-045	免震 EXP.J 用の脱着式手摺の仕様を御指示下さい。	質問番号 73 の回答を参照してください。
404		A-131、L- 004,009	免震 EXP.J 床の F 部・E 部、C 部・D 部の端部は、浸透性コンクリート t80 仕上と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	コンクリートショットブラスト仕上としてください。 厚みは A-131 図を参照してください。
405	参考内 訳 P- 154	L-004,009	免震 EXP.J 床不透水コンクリートブロックの面積が参考内訳では 24.3m ² の記載ですが、CBHA-A の範囲では 137m ² 程度あると思われます。範囲は施設範囲図に倣って宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。

406		A-024、 046、047、 114-D- 32	1階犬走り床のごろた石敷、EXP.J 金物以外の白抜き(1階平面図)の南側床仕上は、部分詳細図-3(D-32)の手摺 F に倣って宜しいでしょうか。又床はコンクリートショットブラスト仕上と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。表面仕上はコンクリートショットブラスト仕上としてください。
407	参考内 訳 P-85	A-046、 115-D-34	1階化粧コンクリートブロック水受けパンが参考内訳では AW-108、009 の記載が有りませんが、必要と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	化粧コンクリートブロックに取り合うすべての AW,AG,SSD に見込んでください。
408		A-023	免震ピット内の雨水配管(横引)にも防露巻きを見込んで宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
409		A-019、046	1階保険センターポーチ、外部通路 1.2 他の防水立上りは、露出アスファルト防水(D-1 塗膜防水併用工法)+高反射率塗料塗布と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	FL+200mmまで立ち上げ、保護モルタル t30 としてください。
410		A-033、 036、048	2階 Y1 通りの CB 天端アルミ水切が 2階平面詳細図には記載がありますが、矩計図-4 には記載が有りませんが、矩計図-1 に倣い水切が必要と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
411		A-033、 036、048、 098	CB 天端アルミ水切の厚さが平面詳細図、矩計図 1 では t2.0、建具詳細図 4 では t2.5 と相違しております。t2.5 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	t 2.0 としてください。

412		A-050	<p>3階の下記位置は、アルミ^パネ^ル t2.0 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y3-X3 の AW-306 廻りの 3 方 ・ X11 通り Y2.3 のサ^ド 	よろしいです。
413		A-052、53	<p>4階の下記位置は、アルミ^パネ^ル t2.0 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Y3-X3 の AW-411 廻りの 3 方 ・ X4-Y2、X5-Y1 の柱型の 2 方 ・ X11 通り Y2.3 のサ^ド ・ Y10 通り X8.9 のサ^ド 	よろしいです。
414		A-029、030、046、047	<p>1階下記位置は立面図では③:アルミ^パネ^ルですが、平面詳細図では記載が有りません。立面図を優先と考え、建具と同じ納まりと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北面:X9 通り ・ 西面:Y2 通り ・ 東面:Y3.9 通り ・ 南面:X8 通り 	立面図を正とし、下地金物は ^パ ネ ^ル 左右に St-□50×50×2.3 溶融亜鉛メッキを通して流し、アルミ ^パ ネ ^ル をビス止めとしてください。
415		A-018、029	<p>アルミ^カット^パネ^ルの ALC が外部仕上表では t125、立面図凡例では t100 と相違しております。t125 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	よろしいです。

416		A-018、129	化粧ブロックの仕様が下記の様に相違しております。参考図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> 化粧コンクリートブロック参考図:600×150×150 太陽サーブ/DENX1560 外部仕上表:900×150×150 太陽エコブロック 	よろしいです。
417		A018、035	EXP.J かべと化粧ブロック取合 W120(受枠施工後コンクリート充填の上ごろた石敷)部に外部仕上表よりウレタン塗膜防水を見込んで宜しいでしょうか。又、化粧ブロック側には特に塗膜防水を立ち上げる必要ないものと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。 又以降の質問についてもよろしいです。
418		A-035、-116-D-105	免震層外周部側溝の立上りのウレタン塗膜防水の範囲は、擁壁側+天端をウレタン塗膜防水とし免震ピット側 H350 は打放しのままと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
419		A-018、19	外部仕上表で1階保険センターポーチの壁が FCC、内部仕上表で外部通路 1.2 壁が SCC ですが、外部仕上に合せ外部通路も FCC と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-019 図のとおりとしてください。
420	参考内訳 P-86	A-024	保健センター入り口に1階平面図に庇の様な記載が有ります。参考内訳 P-86 の南側出入口庇を見込んで宜しいでしょうか、御指示下さい。	庇を見込んでください。庇の詳細は A-146 図に準じてください。

421		A-021、144	新東棟のメンテナンス・室外機スペース床が内部仕上表では防水モルタル、平面図では室外機スペース床がウレタン塗膜防水の記載です。メンテナンス・室外機スペース床共ウレタン塗膜防水と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
422		A-144	新東棟 2 階廊下 E の前室は、下記の仕上と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・床:防水モルタル ・巾木無し、壁仕上 DP 仕上 ・天井:C 塗装の上 DP 仕上 	よろしいです。
423	参考内 訳-181	A-144	新東棟の参考内訳 P-181 で金物見切シリングが 137m 計上されていますが、施工場所が不明です。施工場所を御指示下さい。	不要としてください。
424		A-021	雨水貯留槽他のポリマーセメント系塗膜防水のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
425		A-021	汚水槽のポリウレタン樹脂ライニング工法のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
426		A-021	EVピットのケイ酸質系塗布防水のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。

427		A-018	アルミ製格子天井のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	A-018 図のとおりです。
428		A-016	アルミ製格子天井用廻り縁のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	アルミ格子天井のメーカー仕様に準じてください。
429		A-018	C 研磨仕上のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	A-018 図のとおりです。
430		A-133	4 階 議場バックボード壁:特殊左官仕上のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	A-133 図に示すとおりです。
431		A-018	機械室床の防塵塗床のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
432		A-021	PS、EPS 床の防塵塗床のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
433		A-017	二重床下の防塵塗床のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
434		A-021	新東棟公用車車庫他床の防滑性エポキシ樹脂塗装のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	A-018 図のとおりです。

435		A-018	乾式二重床のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。仕様はA-018図に記載のとおりです。
436		A-018	OAフロア-Aのメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。仕様はA-018図に記載のとおりです。
437		A-018	OAフロア-Bのメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。仕様はA-018図に記載のとおりです。
438		A-15	1階 ELVホール1-3の乾式浮き床のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	A-018図のとおりです。
439		A-118	ライング壁: マリン化粧合板のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
440		A-020	2階 厨房壁の化粧ケイカル板のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
441		A-118-D-124	モップ掛け(SUS既製品)L600のメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。

442		A-016,018	ビクチャーレールのメーカー名・品番の指定がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。仕様は A-018 図に記載のとおりです。
443		A-046~053	間仕切:L1,L2,S1 の LGS 下地はスラブ～スラブ 下まで施工と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	各階の平面詳細図の下部に記載のある図中表記凡例に準じてください。
444		A-017、032、046~053	平面詳細図で間仕切の LGS 幅が特記なき限り W100 とありますが、A-017：仕上特記仕様書より <ul style="list-style-type: none"> ・ 1F：W90 ・ 2F：W100 ・ 3,4F：W65 と読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	特記がある場合は、特記によります。
445		A-046~053	平面詳細図に記載のある壁点検口：450*450 は、参考内訳 P.100 よりアルミ製と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-018 図仕上材料名表示凡例（屋内）に記載のとおりです。
446		A-016	床見切り 2：木製上り框の材種は死で、仕上は UC 塗装と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
447		A-016	壁見切り-3：木製出隅の堅木練付材 12*40 で、仕上は UC 塗装と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。

448	A-018~21	<p>確認ですが、アスファルト防水が必要な部屋は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1F EV ホール 1-3 ・ 2F 厨房 <p>と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。また、外部通路 1,2 もアスファルト防水としてください。</p>
449	A-019	<p>1F 消火ポンプ室に、雨水ろ過機械室と同様に巾木：防塵塗床 H150 を見込んで宜しいでしょうか。</p>	<p>A-019 図のとおり不要としてください。</p>
450	A-019	<p>1F 雨水ろ過機械室の天井は直天で打放補修のみとなっておりますが、壁に合わせ GW ボードボタ止めに読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	<p>A-019 図のとおりとしてください。</p>
451	A-019、046	<p>1F EV ホール 1-2 床が仕上表でゴム床タイルとありますが、廊下 1-3 と繋がってる部屋で、平面詳細図で床目地の記載があるので C 研磨仕上に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	<p>A-019 図のとおりとしてください。</p>
452	A-019、046	<p>上記でゴム床タイルが優先でしたら施工範囲を御指示下さい。</p>	<p>A-019 図のとおりとしてください。</p>
453	A-018、019、046	<p>1F 自販機コーナー床が仕上表でビニル床タイル A とありますが廊下 1-4 と繋がってる部屋で、平面詳細図で床目地の記載があるので C 研磨仕上に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。天井も同様に廊下 1-4 と同じ石膏ボード EP としてください。</p>

454		A-018、 019、046	上記でビニル床タイルAが優先でしたら施工範囲を御指示下さい。	C 研磨仕上としてください。
455		A-047、068	1F 指定金融機関の窓口カウンターの詳細が不明です。マシンホースフォーム t40 ブラケット：PL-2.3 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	形状は A-068 図展開図に記載のとおりとし、カウンターや窓部、室内側引き出し、ガラス等の仕様は A-119 図 D-132 図に準じてください。
456		A-078	1F 相談室 1-3 前のベンチ上部に付く幕板:珪集成材 H250*t20 の木下地は、桧 45*45 で、通し材 2 本、堅材@450 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	下地については、A-135 図に従い製造メーカーの仕様としてください。
457		A-047、135	1F 執務室 1-A~1-C に付くカウンターパーションAが木製造作家具詳細図で 29 か所とありますが、平面詳細図より 30 か所に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-135 図を正としてください。
458		A-047、135	木製造作家具詳細図で 1F パーション直型とありますが施工場所が不明です。御指示下さい。	X8-X9 通り間、Y7-8 通り間の廊下 1-2 と待合 1-1 の境界付近となります。
459		A-119	梁集成材張りの珪集成材は OSCL 塗装仕上と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	UC としてください。

460		A-072	2F 栄養指導室に付く机ボード(埋込)W3000*H1100 の仕様・詳細 又は メーカー名・品番を御指示下さい。	質問番号 154 の回答を参照してください。
461		A-019,065	2F 倉庫 H2-1 の天井高が仕上表で CH=3000、天井伏図で CH=3950 と相違しております。CH=3000 を優先と考えて宜しい でしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
462		A-048	2F 厨房事務室の仕上が不明です。不明です。 ・床:C コテの上ビニル床シート ・巾木:PVC H60 ・壁:石膏ボード EP ・天井:岩綿吸音板 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-021 図に記載のとおりです。
463		A-049,135	2F 執務室 2-A に付くりフレッシュカウンターの W 寸法が、平面詳細図で W4900、家具詳細図のリストでは W5980 と相違しております。 W5980 を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-135 図を正としてください。
464		A-019,049	2F 廊下 2-1 の床が仕上表でゴム床タイルとありますが、平面詳細図で EV ホール 2-1 と同じ床目地の記載があるので、コンクリート平板仕上に読み 替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-019 図を正としてください。

465		A-019、049	2F キッズスペース床が仕上表でコルクタイル、平面詳細図ではタイルカーペット B+コム床タイルと相違しております。コルクタイルを優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
466		A-033	2F キッズスペースの天井内に設置する吊柱 H-100*100 は、@900 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	S-074 図を参照してください。
467		A-019、049	2F キッズスペースのホールプール内の床、立上りのコルクタイル下地は床はモルタルとし、立上りは合板 t12 の他に米母：45*45 横2列 縦@450 の立上り下地を見込むものと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
468		A-019、049	又、上り框が必要でしたら材種・部材寸法・仕上を御指示下さい。	上り框は不要です。
469		A-050、118	3F 厚生室2の流し台 W1500 を取り付ける壁が FL+2300 までなので、吊戸棚上部幕板は不要と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	幕板は不要ですが、吊戸棚は設けるものとします。
470		A-065、066、109	3F 大会議室の PT-301 上部受け鉄骨に関して、移動間仕切詳細図-1 で Y6 通りに移動間仕切受け鉄骨の記載がありますが、天井伏図では梁型 G なので移動間仕切受け鉄骨は不要とし、誘導・収納部のみ必要と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	移動間仕切壁受け鉄骨を見込んでください。
471		A-050、051、135	3F 執務室 3-A~3-C に付く各階窓口カウンターが、木製造作家具詳細図で	A-135 図を正としてください。

			<ul style="list-style-type: none"> ・ W1400 : 8 台 ・ W1600 : 41 台 ・ W1700 : 1 台 ・ W2600 : 1 台 ・ W2650 : 1 台 <p>とありますが、平面詳細図より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ W1400 : 11 台 ・ W1600 : 38 台 ・ W2000 : 1 台 ・ W2100 : 1 台 ・ W2400 : 1 台 <p>に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	
472		A-050、 051、135	<p>3F 執務室 3-A~3-C に付く各階リフレッシュカウンターが、木製造作家具詳細図で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ W2990 : 1 台 ・ W4790 : 1 台 ・ W5370 : 1 台 <p>とありますが、平面詳細図より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ W2990 : 1 台 ・ W4500 : 2 台 <p>に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。</p>	A-135 図を正としてください。

473		A-020、052	4F 電気室で仕上表に機械基礎とありますが、平面詳細図に記載がありません。寸法・数量を御指示下さい。	質問番号 194 の回答を参照してください。
474		A-038	階段室 A の自立手摺で、St パネル t2.3 は AEB 仕上とありますが、残りスチール部材は SOP 塗装と考えるて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-038 図に記載のとおりとします。見えがかり部において、塗装の指定がない場合は、SOP としてください。
475		A-040	階段室 B の 1 階は RC 階段なのでサウ巾木 : PVC H120 を見込んで宜しいでしょうか、御指示下さい。	巾木は不要です。
476		A-141	サイン IS11:誘導サイン E が 3 式とあるので他の 2 か所の施工範囲・平面プランを御指示下さい。	別添の回答説明資料①を参照してください。
477		A-141	サイン IS12:誘導サイン E が 4 式とあるので他の 3 か所の施工範囲・平面プランを御指示下さい。	1、2 階は別添の回答説明資料①を参照してください。 3、4 階は A-138、139 に記載の範囲とってください。
478		A-035	免震ピット階 1G RC 造梁 断熱材 t50 吹付と記載がございますが、現場発泡ウレタンと考えるてよろしいでしょうか。	吹付硬質ウレタンフォームとってください。

479	A-033~037	免振ビット天井の断熱材が t50 と t70 の記載がありますが、押出法ポリスチレンフォーム断熱材 厚さ 75mm 熱伝導率 0.036 W/(m・K)以下と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
480		参考内訳 P-78 の空調用塞ぎ床下地 17.4mの施工場所が不明です。御指示下さい。	A-047 図、執務室 1-B 内の X5,X6-7 間に示す点線、執務室 1-C の X9-10 間に示す点線 (F-21) が該当します。
481		参考内訳 P-99 の梁型脇照明ボックス 15.6m の施工場所が不明です。	執務室 1-C の X11 芯沿いの照明ボックスとします。
482	A-049	参考内訳 P-158 のアルパケーション 延 W4700*H2100 の施工場所は 2F 授乳室 2-1 と考えて宜しいでしょうか、メーカー名・品番の指定がありましたら合わせて御指示下さい。	よろしいです。 文化シャッタープレフリーEA-50 同等としてください。
483	A-144	新東棟 1 階 コミ置場に付く排水溝 W200 は、防水モルタル+防滑性エポキシ塗床 W200*H50 でと考えて宜しいでしょうか、蓋が必要でしたら仕様も合わせて御指示下さい。	質問番号 225 の回答を参照してください。
484	A-144、S-82	新東棟の 2F スラブ下の木毛セメント板が「打込」とありますが、構造図の床スラブリストで「2F 以上の S21、22 は Fデッキとする」とあるので打込出来ません。Fデッキが優先でしたら、木毛セメント板の納まりを御指	F デッキ適用不可の箇所は在来型枠としてください。

			示下さい。	
485	A-144		新東棟の配管ピットに入る事が出来ないので、マンホール+トラップを追加して宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
486	A-093、100		AW-101～109の額縁が建具表(スチール製、W70～290)と建具詳細図-6(天然木練付板 t5、W225)で相違しています。建具詳細図-6を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
487	A-090		WD-301の木建枠(珪集成材)の仕上が OSCL と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
488	A-016、095 他		膳板、額縁の仕上がエレメント図-2(AEB 仕上)と建具詳細図(SOP 塗装仕上)で相違しています。建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
489	A-035		天井デッキプレート現しの上 SOP と記載がございますが、デッキプレートすき間の処理や段差の処理はせず、表面の汚れを除去し SOP 仕上げと考えてよろしいでしょうか。	デッキプレート現しになるため、隙間や段差の処理を行い美観性に配慮してください。
490	A-081、089		LD-403の数量が建具表(6ヶ所)と建具キプラン(5ヶ所)で相違しています。建具キプランを優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	建具表、建具案内図ともに6ヶ所です。

491		A-081,089	LD-404 の数量が建具表(14ヶ所)と建具キープラン(15ヶ所)で相違しています。建具キープランを優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	建具表、建具案内図ともに 14 カ所です。
492		A-080,093	AW-E02 の数量が建具表(1ヶ所)と建具キープラン(2ヶ所)で相違しています。建具キープランを優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
493		A-083、 090、106	SSD-105、106、107、108 の H 寸法が建具表、建具姿図(H2400)と建具詳細図(H2590)で相違しています。建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
494		A-083、 090、104、 105	SSD-101 の W 寸法が建具表、建具詳細図-10(W5950)と建具姿図-2(W5780)で相違しています。建具表、建具詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
495		A-085,092	ACW-202 の W 寸法が建具表(W6570)と建具姿図(W6600)で相違しています。建具表を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
496		A-086,092	GCW-203 の W 寸法が建具表(W8660)と建具姿図(W8610.2)で相違しています。建具姿図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	建具表を正としてください。
497		A-086,092	GCW-204 の W 寸法が建具表(W6145)と建具姿図(W6105)で相違しています。建具姿図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	建具表を正としてください。

498	A-086、092、102	GCW-206 の W 寸法が建具表(W9235)と建具姿図(W9245)で相違しています。又、建具詳細図では PS(SD-202 脇)までガラス(W500 程度)の記入があります。建具詳細図を優先で W9735 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	建具表を正としてください。
499	A-086、092	GCW-401 の W 寸法が建具表(W13700)と建具姿図(W23700)で相違しています。建具姿図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
500	A-080、087	SD-009 の仕上で 2F 外廊下 2-1 部分は外部なので SOP では無く DP と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	質問番号 258 の回答を参照してください。
501	A-087、088、090、091、参考内訳 P73	外部に付く SD、SW、SS で建具枠廻りの詳細がありませんが建具枠廻りシリングは参考内訳の 15×10 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
502	A-019、087	SD-208 の H 寸法が建具表(H3950)と仕上表(2F 指導室天井高 CH3800)で相違しています。仕上表を優先と考え H3950→3800 に読み替えても宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
503	A-048、080、089	2F 計測室の扉(問診室取合、診察室 2-1 取合)2ヶ所が建具キープランで符号がありません。LD-202 と考え、数量 10ヶ所を 12ヶ所に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	質問番号 270 の回答を参照してください。

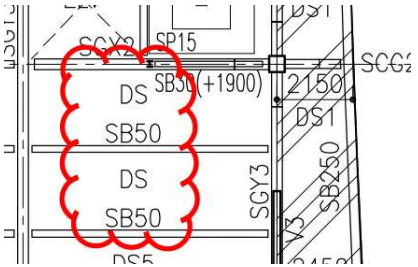
504		A-104、105	SSD-101のMPG金物はFIX窓1枚当たり4ヶ所で合計12ヶ所と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	A-104図より8カ所として下さい。
505		A-082	SW-305の姿図で両開戸脇のW300にSt PL-t1.6とP-6の記入がありますがSt PL-t1.6を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
506		A-094、 117-D-115	MSFの枠が建具表(スチール SOP)と部分詳細図-6(堅枠:アルミ、下地スチール、ステンレス、上枠:スチール、ステンレス)で相違しています。部分詳細図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
507		A-050、 075、081、 090	3F 仮眠室(女)の洗面所と議会事務局の給湯コーナーに開口枠が付いていますが建具キープランに記入がありません。SF-003と考え数量を7ヶ所から9ヶ所に読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
508		A-101	建具詳細図-7でスチール製マリオン寸法が上部詳細図S=1/3ではW1000(全体W1745)と上部・下部詳細図S=1/5だとW600(全体W1047)で相違しています。上部・下部詳細図S=1/5を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。(幅はW320・550で考える。)	マリオン寸法は全て見付32×見込100(全体174.5)、単位はmmを正として下さい。
509		A-086、 092、102	GCW-206で建具表に一部DPGと記入がありますが建具姿図-5と建具詳細図-8には記入がありません。範囲を御指示下さい。	エレベーター扉開口部分の周囲として下さい。

510		A-086、092	GCW-401の両開框戸で建具姿図にガラス指示がありませんがT8と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	質問番号245の回答を参照してください。
511		A-047、083、090	SSD-111のW寸法が建具表でW2360ですが戸袋部分までの寸法だと思われます。平面詳細図よりW1200と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
512		L-004	南側出入口で白線引き(HB-D)で一部(L4000×D500)太くなっていますが白線引きなのでしょうか、御指示下さい。 又違う場合は仕様・詳細を御指示下さい。	別途工事となる駐車場ゲート設置の想定位置を示します。
513		A-024、046	視覚障害者誘導ブロックの範囲は平面図と平面詳細図で相違しています。平面図を優先と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
514		参考内訳 P207、A-024	外構工事の構内舗装に視覚障害者誘導ブロックが線鋸43ヶ所、点鋸7ヶ所計上されていますが、平面図では途中で図面が切れていて範囲が不明です。参考内訳書の数量で考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
515		参考内訳 P207	外構工事の構内舗装にすきとり(H300程度、378m ³)と盛土(発生土、39.6m ³)が計上されていますが、範囲図が不明です。すきとりと盛土の範囲を御指示下さい。	範囲図はありません。現況図、解体図、外構図より算出してください。

516		A-045	受水槽置場の配筋を御指示下さい。	S-74「受水槽置場 RC 部材配置図」に準じてください。
517		A-139	サソ基礎(ES02、14、15、17、21)の配筋はサソ D13 @200 と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
518		A-139	サソ基礎の ES07、08、09、13 は無筋コンクリートと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	サソ D13 @200 の配筋としてください。
519		L-017、参考内訳 P221	車路出入口部水路で山留(ソトパ 他)の記入がありますが範囲が不明です、御指示下さい。	山留計画図(参考図)はありません。L-017 図より施工上および周辺地盤への影響が生じないように計画してください。
520		A-003 S-1	土工事に於ける埋戻し及び盛土の種別について、A-003 と S-1 で記述が異なります。A-003 の記述を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
521		S-2 S-04	コンクリート強度の適用箇所を確認ですが、 Fc36 庁舎：1 階立上り～2 階床スラブ Fc24 庁舎：3 階床以上各階床・立上り・機械基礎 と記載がありますが、2 階床からの立上りは Fc36 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

522		S-10	梁貫通補強数量について、 補強筋枚数の表の根拠となる “枚/組” および “貫通孔個所数” を御指示下さい。	S-010 図 より算出してください。
523		S-22	基礎伏図にて、 耐圧版下端レベルが[-4410]となっている範囲を[-4510]と読み替えて 宜しいでしょうか。 (図示の[-4410]では周囲の基礎梁と下端レベルが揃わない為。)	よろしいです。
524		S-022	ピット階の勾配増し打ちについて、 厚さ 70 以上の範囲は補強筋 D10@200 を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
525		S-64	免震装置基礎リスト-1 で、 上部架構の基礎天端レベルは、周囲の 1F 大梁の中で最も天端レベルが 低いものと同じ と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
526		S-29 S-38	X8 通り/Y8-9 間の大梁が R 階伏図 では SGX2 と有りますが、 軸組図では SGY2 となっております。 SGY2 を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

527		S-25 S-32	Y5 通り/X3-5 間の壁符号が、 1 階床伏図では EW18 ですが、 軸組図では EW18A と有ります。 EW18 を正と考えて宜しいでしょうか。	EW18A としてください。
528		S-25 S-32	Y5 通り/X9-11 間の壁符号が、 1 階床伏図では EW18 ですが、 軸組図では EW18A と有ります。 EW18 を正と考えて宜しいでしょうか。	EW18A としてください。
529		S-25 S-35	X1 通り/Y5-7 間の壁符号が、 1 階床伏図では EW30 ですが、 軸組図では EW30A と有ります。 EW30 を正と考えて宜しいでしょうか。	EW30A としてください。
530		S-25 S-40	X11 通り/Y5-Y7 間の壁符号が、 1 階床伏図では EW30 ですが、 軸組図では EW30A と有ります。 EW30 を正と考えて宜しいでしょうか。	EW30A としてください。

531		S-27	<p>3階床伏図 X10-11/Y1-2 (下図) の床版符号は、DS5 と考えて宜しいでしょうか。</p> 	よろしいです。
532		S-28 S-74	<p>4階伏図 Y1・X11・K1 通りに有る CS1 の型枠は、プレートと考えて宜しいでしょうか。 (S-74 スラブコンクリート流れ止め及び片持ち部定着要領図に倣う)</p>	よろしいです。
533		S-45 A-043	<p>SC5A 根巻き部分断面図が有りますが、屋外階段 A 下部デッドスペース内 H=1510 に有ると考えて宜しいでしょうか。 前記が違えば、施工場所・高さ等詳細を御指示下さい。</p>	よろしいです。
534		S-56	<p>デッキ複合スラブ設計・施工標準仕様書にひび割れ拡大防止(参考)が有りますが、補強は小梁上には不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
535		S-74	<p>R 階目隠しルーバー基礎の高さが 水平断面図では H780 と有りますが、</p>	よろしいです。

			<p>詳細図では H730 と有ります。 H780 を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	
536		S-27 A-026	<p>A-026 図 3 階平面図 X3-4/Y6-7 間にメンテナンスデッキが有りますが、S-27 図 3 階床伏図には見当たりません。 必要でしたら伏図を御指示下さい。</p>	<p>S-74 「メンテナンスデッキ・非常用 侵入口バルコニー鉄骨部材図」に準 じてください。 範囲は平面図を参照してください。</p>
537		S-73 S-74 S-75	<p>下記鉄骨には耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 階段受け鉄骨 2. 設備架台鉄骨 3. 目隠しルーバー鉄骨 4. メンテナンスデッキ・非常用進入口バルコニー鉄骨 5. 各種下地鉄骨 6. ルーバー受け鉄骨・化粧間柱 	<p>よろしいです。</p>
538		A-053 A-132	<p>4F X1/Y6・Y7 の柱の耐火被覆について、平面詳細図ではケイカル板とありますが、議場詳細図ではケイカル板の記載がなく(=RW 吹付)、相違しています。議場詳細図を正とし、RW 吹付と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。 ただし足元の AW 連窓部の露出する 部分は耐火塗料としてください。</p>
539		A-115 A-033～	<p>D-38 「アルミ製ルーバー詳細図」について、下地鉄骨(鉄骨工事)の耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>

		037		
540		S-29 A-055	<p>下記鉄骨梁の耐火被覆は耐火塗料と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. X1/Y9～Y10 SGY2 2. Y10/X1～X2 SGX2 Y10/X2～X3 SGX2 	<p>よろしいです。 耐火塗料屋外仕様としてください。</p>
541			<p>外壁との合成耐火被覆について、鉄骨梁～外壁間のクリアランスが300mm 以下の場合に合成耐火と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>
542		A-017	<p>ELV シャフト内及び耐火被覆が露出する部分はセメントスラリー吹きとするとありますが、吹付回数は1回と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>
543		S-3 A-035	<p>梁のケイカル板の施工範囲について、構造特記仕様では2階屋外市民活動スペース軒天梁とありますが、矩計図では軒天井がケイカル板、梁の被覆がRW吹付となっており相違しています。矩計図を正と考え、2階屋外市民活動スペース軒天梁はRW吹付と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>

544		S-26 A-018 A-064	風除室 1 天井に位置する鉄骨梁(2FL X7-X8/Y9-Y9A 間)について、風除室 1 天井仕上がトップライトであることを踏まえて、使用する耐火被覆は RW 吹付ではなく耐火塗料(内部見掛り)と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
545		S-3 A-017 A-033	免震装置の耐火被覆についての記載がありません。免震装置の耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
546			上記質疑が否の場合、免震装置の耐火被覆の詳細を御指示ください。	質問番号 545 の回答より、耐火被覆不要です。
547		A-128	金属屋根参考図に於いて、屋根 2:カラー G L 鋼板 t0.4 縦ハゼ葺き U-60S は新星商事同等と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
548		A-055 A-128	上記金属屋根谷樋落し口からの堅樋ですが、PH 階平面詳細図-2 では、アルミ製堅樋 140φ×2 が 3 か所とありますが、屋根参考図では合流されて 140φ が 1 本の 3 か所となり相違します。140φ が 1 本の 3 か所を正と考えてよろしいでしょうか。	質問番号 372 の回答を参照してください。
549		A-107	建具詳細図-13 に於いて、天窗の水切 AL2.0t、裏面グライト吹付 t3.0 は建具に共と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。 A-107 に図示している範囲としてください。

550		A-018 A-003	外部仕上表に於いて、屋根 3 の露出断熱アスファルト防水の高反射率塗料塗布は、床面にも適用と考えてよろしいでしょうか。	床面は不要としてください。
551		A-018 A-003	上記屋根 3 の露出断熱アスファルト防水に脱気装置を 75.0 m ² /1 か所見込むと考えてよろしいでしょうか。	A-003 図に記載のとおりとしてください。
552		A-112	部分詳細図-1(D-05)に於いて、屋上排水側溝の溶接金網に SUS304 φ26.4 @50 とありますが、φ2.64 に読み替えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
553		A-018	外部仕上表に於いて、(屋根・テラス・メンテナンスデッキ・バルコニー関連事項)に防水立上り部塗膜防水併用工法(D-1)とありますが、立上り(B-1)も塗膜防水併用工法(D-1)と考えてよろしいでしょうか。	A-113 図 D-17,D-18 図に記載のとおりとしてください。
554		A-112 A-005	部分詳細図-1 に於いて、ハト小屋外壁の防水型複層塗材 E はゆづ肌状と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
555		A-033	矩計図-1 に於いて、屋根 1 の目隠し壁の有孔溝型鋼板 t2.0、W250、@300 のメーカー名、品番を御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。

556		A-033 S-74	上記、有孔溝型鋼板の受材の部材寸法、ピッチを御指示下さい。	C 2. 3 t×100×50×20 @1000 としてください。
557		A-040	階段室 B 詳細図-2 に於いて、B-B 断面詳細図のアルミ製庇は BA-1 種と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
558		A-049	2 階平面詳細図-2 に於いて、X3 通り、Y8 通り交点の縦樋 150 φ×2 か所ですが、横引き 200 φ×1 本に合流と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
559		A-023	免震ピット階平面図に於いて、横引き樋 SGP に防露巻は不要と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
560		A-055 A-053	PH 階平面詳細図-2 に於いて、X3、Y9 交点、屋上底部に RD300 φとあり、下階の同じ交点にアルミ製縦樋 300 φとありますが、誤記とし、RD はフロアドレイン 75 φ、縦樋は SGP75 φで 4 階まで落とし、4 階以降は図示通り、SGP150 φと考えてよろしいでしょうか。	75 φは 65 φとし、他は記載のとおりでよろしいです。
561		A-054	PH 階平面詳細図-1 に於いて、X9、Y1 交点、屋上底部に RD65 φがありますが、他と同じく RD75 φに読み替えてよろしいでしょうか。	平面詳細図を正としてください。

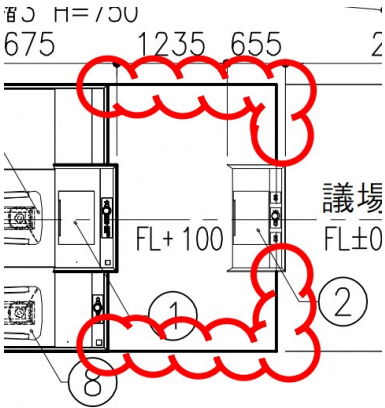
562		A-112 (D-09)	部分詳細図-1(D-09)に於いて、庇の鋼板防水:E Pフィルムラミネート鋼板 t0.4~硬質木毛セメント板 t20 までのメーカー名、程度がありましたら御指示下さい。	三晃金属 エクストン防水同等品としてください。
563		A-115 A-018	部分詳細図-4(D-38)に於いて、アルミルーバーが二次電解着色とありますが、外部仕上表は BA-1 種で相違します。二次電解着色を正と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
564		A-114 (D-30)	部分詳細図-3 に於いて、D-30 に外部に露出する SUS ワイヤー及び床以外の鋼材は溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装とありますが、手摺のみが塗装有りと考えてよろしいでしょうか。	図示のとおり、SUS ワイヤー及び床板以外の鋼材となります。
565		参考内訳書 P86	参考内訳書 P86 に於いて、4 階メンテナンスデッキ自立手摺がスチール溶融亜鉛メッキリン酸処理とありますが、上記のフッ素樹脂塗装がありますの、スチール溶融亜鉛メッキと考えてよろしいでしょうか。	図面を正としてください。
566		A-114 (D-28)	部分詳細図-3(D-28)に於いて、鉄骨貫通部塞ぎプレート:st-FBt9.0 90×50×138 とありますが、部分詳細図-2(D-12)の外壁鉄骨貫通部納まりと相違します。部分詳細図-2(D-12)を正と考えてよろしいでしょうか。	非常用進入口バルコニーの鉄骨貫通部塞ぎプレートは部分詳細図-3(D-28)のとおりです。非常用進入口バルコニー以外の箇所にて必要な鉄骨貫通部塞ぎプレートは、部分詳細図-2(D-12)のとおりです。

567		A-115 (D-37)	部分詳細図-4(D-37)の遮光ルーバーは既製品でなく製作品と考えるとよろしいでしょうか。	よろしいです。
568		A-018	外部仕上表に於いて、3階メンテナンスデッキのX3通り、Y6-7間デッキはグレーチング敷とありますが、部分詳細図-3(D-31)はRCスラブで相違します。部分詳細図-3(D-31)RCスラブを正と考えるとよろしいでしょうか。	よろしいです。
569		A-050	3階平面詳細図-1に於いて、バルコニーのX1、Y1交点に救助袋がありますが、H=9000、垂直式と考えるとよろしいでしょうか。メーカー名、品番と併せて御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
570		A-049	2階平面詳細図-2に於いて、市民活動スペース床に床グリッドパターン(サイン工事)とありますがサイン図では不明です。内容、詳細を御指示下さい。	質問番号393の回答を参照ください。
571		A-048	2階平面詳細図-1に於いて、X1、Y5交点及びX3、Y3交点の柱鉄骨は508φですが柱型化粧パネルは円柱でなく、四角と考えるとよろしいでしょうか。	よろしいです。
572		A-043	屋外階段A詳細図に於いて、手摺詳細図の笠木E及び天端見切は斜でなく段型と考えるとよろしいでしょうか。	よろしいです。

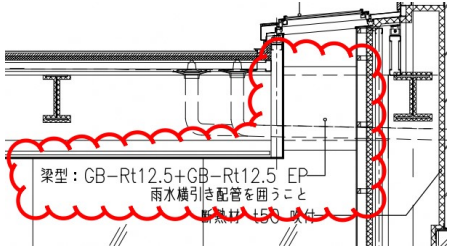
573		A-131	免震EXP・J参考図に於いて、上部仕上は全てコンクリート平板t33と考えてよろしいでしょうか。	A-131図に示すとおりとさせていただきます。
574		A-114 (D-32)	部分詳細図-3(D-32)に於いて、1階東出入口前通路・スロープの詳細がありますが、アス防の押えコン仕上はコンクリート直押えのままと考えてよろしいでしょうか。	A-114図に示すとおり、金ゴテ押えとさせていただきます。
575		A-046、 047、 A- 023	1階平面詳細図-1、2に於いて、東、南側SUSグレーチングW150の側溝はW100×H100、モルタルとし、排水目皿50φ各1か所、SGP50φで免震ピット外周排水溝に落とすと考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
576		A-023	免震ピット階平面図に於いて、下図の経路が上部のどのRDからの豎樋か不明です。上記質疑と併せて御指示下さい。 	L-005図に示す外構の雨水集水桝からの経路を示します。
577		A-045 A- 131	屋外階段C詳細図に於いて、1階平面詳細図に着脱式手摺(免震EXP・J参考図参照)とありますが、免震EXP・J参考図にありません。御指示下さい。	質問番号73の回答を参照してください。

578		A-030	立面図-1 に於いて、凡例⑱の犬走り側面:C化粧の上 FCC の打放型 枠は A 種と考えてよろしいでしょうか。	A-017 図のとおり、B 種としてくだ さい。
579		A-033	矩計図-1 に於いて、免震擁壁の C 塗装の上 FCC の型枠は B 種と 考えてよろしいでしょうか。	A-017 図のとおり、A 種としてくだ さい。
580		A-018 A- 029	外部仕上表に於いて、アルミカットパネルが BA-1 種(アルマイト シルバーマット)とありますが、立面図では FEB で相違します。 BA-1 種(アルマイトシルバーマット)を正と考えてよろしいでしょ うか。	立面図凡例⑦の ALC 下地のアルミ カットパネルは BA-1 種(アルマイト シルバーマット)とし、立面図凡例⑧ の柱型に設置するアルミカットパネ ルは FEB としてください。
581		A-115 (D-33)	部分詳細図-4(D-33)に於いて、柱型化粧パネルのアルミカットパネ ルが FEB とありますが、上記より、BA-1 種(アルマイトシルバー マット)を正と考えてよろしいでしょうか。	A-115 図のとおり、FEB としてくだ さい。
582		A-067 A-034	天井伏図-4 に於いて、展望テラスに⑩:アルミカットパネルとあり ますが、GCW-401 の上部ですが矩計図-2 では外壁 ALC とアルミ カットパネル間 W100 はオープンとなっています。必要な場合は形 状と併せて御指示下さい。	A-067 図の⑩は、ガラス面と上部外 壁の折り返し(上裏)を示します。
583		A-065	天井伏図-2 に於いて、市民活動スペース軒天、杉小幅目透し張り の取付詳細がありませんが、参考内訳書より下記と考えてよろしい でしょうか。	A-016 図を参照してください。

			<p>① 木製下地組パネル:30×40 赤松 タテヨコ@450</p> <p>②木製下地組パネル:角ハ イ 40×40 @450 吊材共</p>	
584		A-018 A-129	化粧ブロックのサイズですが、外部仕上表:L900、化粧ブロック参考図:L600 で相違します。L600 を正と考えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
585		参考内訳書	<p>参考内訳書に於いて、下記の該当か所が不明です。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防水 P72 : 化粧コンクリートブロック開口部シーリング ・金属 P 86 : 南側出入口庇 1 	<p>化粧コンクリートブロック開口部シーリングについては、A-129 図 1 階化粧コンクリートブロック-AW 取り合い詳細図を参照し、化粧コンクリートブロックと取り合う外部建具の全てとしてください。</p> <p>南側出入口庇 1 は A-146 図を参照してください。</p>
586		L-004	施設平面図に於いて、SE-A-A:スチールエッジがありますが、免震EXP・J部です。不要と考えてよろしいでしょうか。	TCP-B-A と CB-A-A、接する 2 つの舗装を見切るためにスチールエッジが必要です。
587		A-021	4F 議場の仕上表に於いて、議場の床下地が F12 となっていますが、乾式二重床のため F11 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

588		A-132 A-133(18)	<p>4F 議場の下図赤雲範囲の框について、A-133(18)床段差より框:25×100H ナラ程度と考えて宜しいでしょうか。</p> 	タモ集成材 UC t25×H100 としてください。
589		A-018 A-134	<p>4F 議場の壁仕上、天然木練付のメーカー品番について、下記のようになっています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表:ホクサン 化粧合板タモ柾目 UC 同等(正) ・議場詳細図-3(仕上 A、B):内外テクノス同等 	材料はホクサン、施工は内外テクノス同等としています。
590		A-015 A-134	<p>4F 議場の壁仕上、人工木ルーバーのサイズについて、下記のようになっています。議場詳細図-3 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレメント図(W14) 	全て A-134 図を正としてください。

			<p>50×24 @120 80×24 通し @600 ・議場詳細図-3(仕上 A、B) (正) 80×24 @120 40×24 通し @600</p>	
591		<p>A-134 B 断面図 C 断面図</p>	<p>議場天井の下地補強について、下記のようになっています。St-100×100×2.3 を正と考えて宜しいでしょうか。 ・断面図:St-100×100×2.3 (正) ・断面図(A部拡大):St-100×100×3.2</p>	よろしいです。
592		<p>A-021 A-134</p>	<p>4F 親子傍聴席、腰壁の仕上について下記のようになっています。 A 断面図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表 : EP-G ・議場詳細図(A断面図) : EP (正)</p>	A-021 図を正としてください。
593		<p>A-021 A-132</p>	<p>4F 傍聴ロビーの天井 GW 敷込について、下記のようになっています。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表 : 記載なし ・天井伏図 : t25 32kg/m³ (正)</p>	よろしいです。
594		<p>A-034 A-065</p>	<p>矩形図-2 に於いて、議場トップライト部梁廻りに下記の図示がありますが、下地は天井伏図の梁型 F に倣い角スタッド 40×45</p>	よろしいです。

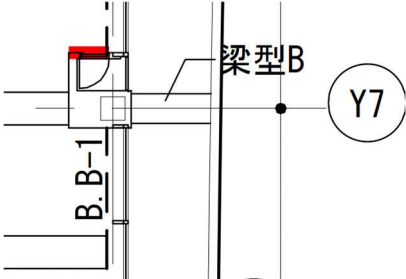
			<p>@364 と考えて宜しいでしょうか。</p> 	
595	A-016 A-020	仕上表に於いて、2F 厨房の天井下地が C-13(GW 敷き込み)となっていますが、C-7(突付け張工法)と置き換えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
596	A-015 A-020	仕上表、2F 厨房の腰壁 SUS(H=1000)について、下地が W-18 となっていますが、C-15 の腰部 SUS パネル張りに倣うと考えて宜しいでしょうか。	壁下地は A-18 です。腰部は W-15 を参照してください。	
597	A-015	前記に続き、腰壁ステンレспанネルと化粧ケイカル板の取合シーリングについて、変成シリコン系 10×10 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
598	A-038	階段 A 自立手摺の仕上げについて、特記無き限り SOP 塗装と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	

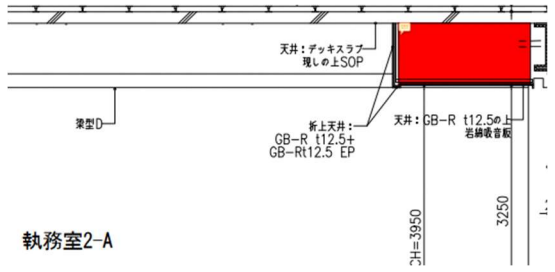
599	A-015 S-73	<p>かさ上げコンクリート、防水押えコンクリート内補強要領について、意匠図と構造図で食い違いがあります。下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ $t < 70$ 構造図：補強筋なし ・ $70 \leq t < 200$ 構造図：鉄筋格子 D6 @200×200 意匠図(エレメント図)：φ6-100×100 (正) ・ $200 \leq t$ 構造図：D10 @200×200 	<p>よろしいです。なお、$t < 70$であっても意匠図に突起がある場合は、補強を行ってください。</p>
600	A-021 A-040 A-041	<p>階段 B、C の手摺詳細 鉄骨部に於いて、踏面の仕上がフローリング A とありますが、仕上表に倣いゴム床タイルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
601	A-021 A-042	<p>階段 D の踏面仕上について、下記のようになっています。フローリング B を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上表：フローリング B (正) ・ 階段部分詳細図：フローリング A 	<p>よろしいです。</p>
602	A-015 A-017 A-018	<p>仕上特記仕様書 16.特記事項【塗装工事】にフリーアクセスフロアー(OA、乾式二重床を含む)下のコンクリート床面には防塵塗装を行うとありますが、エレメント図や仕上表には防塵塗装の記載を</p>	<p>よろしいです。</p>

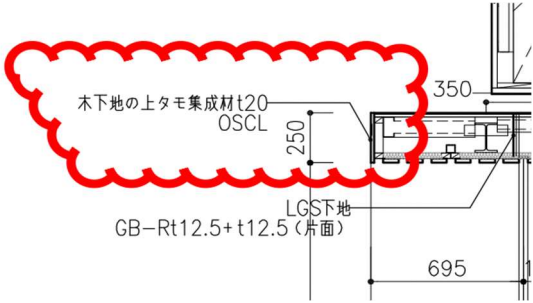
			見受けられません。 防塵塗装 2液形ウレタン樹脂床用エナメルを行うと考えると宜しい でしょうか。	
603		A-047	1階 指定金融機関の窓口カウンターについて、木製造作家具詳細 図に図示がありません。 カウンターのサイズ、仕様・詳細を御指示下さい。	形状は A-068 図展開図に記載のとおりとし、カウンターや窓部、室内側 引き出し、ガラス等の仕様は A-119 図 D-132 図に準じてください。
604		A-047 A-061	1階授乳室 1-1 について、授乳室 H2-1 に倣い下記項目を見込むと 考えて宜しいでしょうか。 1.流し台 W900 1 か所 2.おむつ交換台 1 か所	よろしいです。
605		A-049 A-061	2階授乳室 2-1 について、授乳室 H2-1 に倣い下記項目を見込むと 考えて宜しいでしょうか。 1.流し台 W1200 1 か所 2.おむつ交換台 2 か所 3.隔て板 H2100 ブース同材の片引き扉 2 か所	よろしいです。
606		A-005	建築工事特記仕様書(意匠)-3 16 建具工事 ⑫鍵に於いて、鍵箱が適 用となっておりますが、下記項目について御指示下さい。 1. 設置場所	1.設置場所：執務室内 2.箇所数：1 か所 3.仕様：監督員と協議のうえ選定し

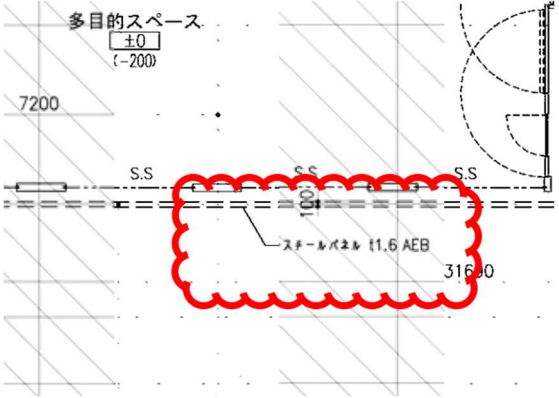
			<p>2. か所数</p> <p>3. 仕様</p> <p>4. メーカー・品番</p>	<p>てください。</p> <p>4.メーカー・品番：監督員と協議のうえ選定してください。</p>
607		<p>A-021</p> <p>A-056</p> <p>A-059</p>	<p>LGBT WC に於いて、仕上表-4 備考欄に「洗面カウンター」とありますが、便所詳細図では洗面器のみ図示されており、カウンターは記載されておりません。</p> <p>便所詳細図を正とし、LGBT WC に洗面カウンターは不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
608		<p>A-057 他</p>	<p>便所詳細図 機器及び下地補強リストに於いて、「各器具につき亜鉛鉄板 t0.8 を見込む事」とありますが、RC 壁及びトイレブースに取りつく場合、亜鉛鉄板は不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>トイレブースの場合は図示のとおり補強を設けてください。また、RC 壁の場合は不要としてください。</p>
609		<p>A-056 他</p>	<p>手摺A(L型手摺) 取付下地補強のサイズについて、便所詳細図 機器及び下地補強リストに「600×450」とありますが、手摺のサイズと合致しないように思われます。サイズに変更があれば御指示下さい。</p>	<p>図面に示すとおりとしてください。</p>
610		<p>A-056 他</p>	<p>手摺B(小便器手摺) 取付下地補強のサイズについて、便所詳細図 機器及び下地補強リストに「450×1200」とありますが、小便器の下地補強と重複しているように思われます。サイズに変更があれば御指示下さい。</p>	<p>それぞれに図示の寸法の補強としてください。</p>

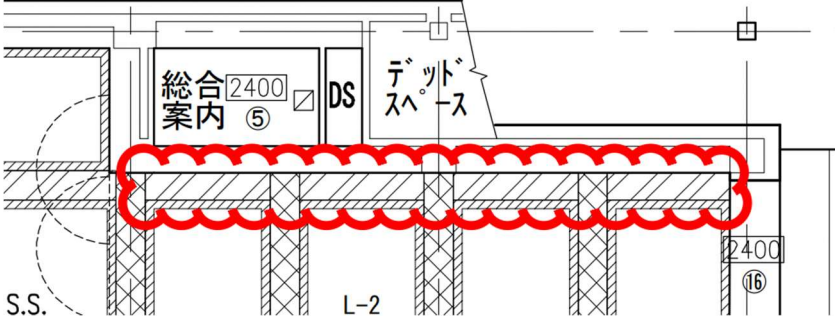
611		A-002 A-056 他	<p>便所詳細図 機器及び下地補強リストに於いて、ハンドドライヤー取付下地の記載がありますが、共通特記仕様書-2 では、エアタオルの×印がついております。</p> <p>ハンドドライヤーは実装無しとし、取付下地補強も不要と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>19)便所・洗面 06 エアタオル本体及び取付の工事区分を機械設備工事とします。</p> <p>本工事にてハンドドライヤーの実装は無しとしますが、取付下地補強 20カ所を見込んでください。</p> <p>下地補強設置箇所は監督員との協議により確定するものとします。</p>
612		A-056 他	<p>HCWC に於いて、便所詳細図上点線表記となっているものについてはトイレパック（設備工事）と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>
613		A-018 A-069 A-078	<p>相談室 1-1~1-5 に於いて、壁仕上の一部が下記の様になっております。内部仕上表及び 1 階部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。宜しいでしょうか。</p> <p>・内部仕上表、1 階部分詳細図: 有孔ケイカル板 t6.0+EP（正）</p> <p>・展開図:内装用 OSB</p>	<p>よろしいです。</p>
614			<p>軽鉄壁下地に於いて、片面張りかつ 2.7m 以下の場合、50 型を使用すると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>原則 60 型以上を使用してください。ただし、納まりにより監督員との協議とします。</p>

615		A-023,024	<p>免震ピットに於いて、床点検口が見受けられますがタラップが必要と思われます。仕様を御指示下さい。</p>	<p>タラップは不要としてください。</p>
616			<p>額縁について、AW108 及び AW109 の額縁の仕様が見受けられません。建具表より下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・W290×D25 t1.6 スチール製 SOP 塗装 	<p>よろしいです。</p>
617		<p>A-018 A-032 A-033 A-064</p>	<p>1F 執務室について、天井高が下記のようになっております。内部仕上表等を正とし 3250 と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部仕上表、矩計図、天井伏図:CH3250 (正) ・断面図:CH3600 	<p>よろしいです。</p>
618		<p>A-065 A-098</p>	<p>2F 執務室 2-A について、天井伏図では下図赤線範囲にブラインドボックスの記載がありませんが、建具詳細図では見受けられます。建具詳細図を正と考え赤線範囲にブラインドボックスを見込むと考えると宜しいでしょうか。</p> 	<p>不要としてください。</p>

619		A-078	<p>1F 倉庫 1-5 天井について、天井下地は 1F 相談室同様に木下地パネルと考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>ぶどう棚および上部ふさは 1F 相談室と同仕様とし、天井下地は LGS 下地としてください。</p>
620		A-033	<p>2F 執務室窓廻りに於いて、腰壁スチールパネルの下地は下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石膏ボード t12.5+12.5 ・軽鉄壁下地 	<p>A-118 図 D-127 を参照してください。</p>
621		<p>A-033 A-065~067</p>	<p>天井伏図に於いて、折上天井内部に梁型の仕上が必要となるような図示となっておりますが、下図赤範囲のような納まりとなるため天井内には梁型の仕上は不要と考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>天井仕上げ面と梁型面に段差があり、見上げでは梁型が見えるようになるため、天井伏図では実線にて梁型を記載しています。天井懐に隠蔽される部分については仕上げを見込む必要はありません。</p>
622		<p>A-016 A-095~099</p>	<p>額縁・膳板に於いて、塗装の仕様が下記の様になっております。建具詳細図を正と考え全て SOP として宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレメント図:AEB ・建具詳細図:SOP (正) 	<p>額縁・膳板については、エレメント図を正とし、AEB としてください。</p>

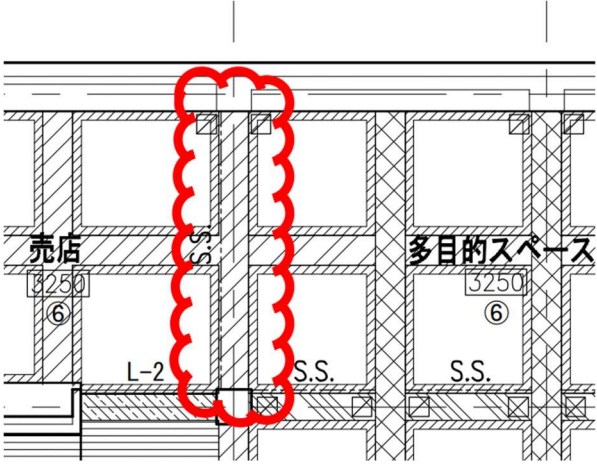
623		A-095	ACW-309 に於いて、膳板、柱周りスチールパネルの納まりは ACW-301 4F 部分の納まりと同様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
624		A-129	1F 風除室等壁仕上について、化粧コンクリートブロック積の仕様及び取付要領は外壁と同様として下記のように考えて宜しいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・L600×W150×H150 ・太陽サーブ: DENX1560 同等 	よろしいです。
625		A-016(C-11-1) A-018	1F 総合案内等天井の杉小幅目透し張及び下地組(C11-1)は、軽量鉄骨天井下地を用いてスラブより吊下げられていると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
626		A-078	1F 相談室 1-3、4 倉庫 1-5 に於いて、下図赤雲範囲の木下地の仕様が不明です。御指示下さい。 	30×40 赤松、上下通し、縦胴縁@450 としてください。

627		A-064	<p>1F 待合 1-1 に於いて、天井高が 2600 及び 2400 となる範囲がございますが下り天井部分の仕上は EP 塗装と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>A-064 図に示す仕上げのとおりとしてください。</p>
628		A-047	<p>1F 待合 1-1 に於いて、下図赤雲範囲のスチールパネル t1.6 の納まりを御指示下さい。</p> 	<p>スチールパネル t1.6 はシャッターレール受けパネルを示しています。支柱：St□100×100×2.3 を左右に床スラブ～梁型まで通し、横胴縁は St□100×100×2.3@900 としてください。</p>
629		A-016 A-116(D-110)	<p>下がり天井に於いて、エレメント図折上天井・2,4,5 以外の下り天井見切縁は塩ビ製と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。116(D-110)は下地 LGS のおさまりを示すものとし、原則エレメント図を正としてください。</p>

630		A-064 S-26	<p>1F 待合 1-1 に於いて、下図赤雲範囲の天井は構造図にて RC フカシとなっていないため、梁型は不要と考えて宜しいでしょうか。</p> 	RC フカシありで梁型 A-4(A-064 より)としてください。
631		A-018 A-047	<p>1F 総合案内壁仕上に於いて、仕上表では C 塗装の上 SCC のみとなっておりますが、下地が石膏ボードとなる範囲が見受けられます。該当範囲は EP 塗装と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
632		A-018 A-104	<p>1F 風除室 1 に於いて、内部仕上表備考欄に「トップライト鉄部 DP」とありますが、トップライト下地鉄骨部分に DP 塗装を見込むと考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
633		A-047	<p>1F 待合 1-3 に於いて、床仕上は C 研磨のみとなっておりますが、下図赤線範囲に床見切が図示されております。取り合う床仕上を御指示下さい。</p>	乾式二重床 H=250 上タイルカーペット A となります。

634	A-019 A-049	2F キッズスペースに於いて、ボールプール部分の床下地も乾式二重床と考えて宜しいでしょうか。	モルタル下地としてください。	
635	A-019 A-049	2F キッズスペースに於いて、ボールプール立上部に下地が必要な場合納まりを御指示下さい。	米母：45×45 上下通し、縦胴縁は @450 としてください。	
636	A-033 A-049	2F キッズスペースに於いて、平面詳細図では浮床内断熱の指示が見受けられますが矩計図では図示がありません。平面詳細図を正と	よろしいです。	

			し見込むと考えて宜しいでしょうか。	
637		A-006 018,020	仮眠室に於いて、床仕上が畳敷きとなっておりますが畳寄せの仕様は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・25×15 スプルス程度	A-016 図巾木-4 に記載のとおりです。
638		A-046	1F 仮眠スペースに於いて、床仕上が畳敷きではない範囲の床仕上は守衛室・中央監視室同様タイルカーペット A と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
639		参考内訳書 P99	梁型脇 照明ボックスについて、該当場所が不明です。範囲を御指示下さい	A-064 図の L-2 を示す範囲の全て（梁集成材張り及び壁際）となります。
640		A-065 A-093 A-103	2F キッズスペースに於いて、建具上部の納まりが下記の様になっております。天井伏図を正としブラインドボックスを見込むと考えて宜しいでしょうか。 ・天井伏図:ブラインドボックス (正) ・建具表:額縁なし ・建具詳細図:額縁あり	よろしいです。
641		A-019	2F キッズスペースに於いて、2種類の壁仕上が用いられておりますが、異種取合に見切が必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

642			前記質疑が正の場合、仕様を御指示下さい。	目透かし目地としてください。
643		A-016 A-095~103	ブラインドボックスについて、エレメント図と建具詳細図にそれぞれ図示がございますが、建具詳細図にて図示のある建具のブラインドボックスは建具詳細図の納まりを正と考えて宜しいでしょうか。	ブラインドボックスの W,H 寸法はエレメント図のとおりとしてください。
644		A-064 A-119(D-139)	<p>1F 売店に於いて、下図赤雲範囲の梁型にはシャッターが取り付くため梁型 A-6 と考えて宜しいでしょうか。</p> 	よろしいです。
645		A-017 A-021	<p>雨水貯留槽他の壁防水下地について、以下のように記載されております。 仕上特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表：</p>	A-021 図のとおりとしてください。

			<p>「C化粧の上」ポリマーセメント系塗膜防水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上特記仕様書： <p>「C打放の上」ポリマーセメント系塗膜防水（正）</p>	
646		A-021 A-022	<p>ピット階平面図において、雑用水槽の仕上表がありません。非常用汚水槽に倣い、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床、壁、天井：ポリウレア樹脂ライニング工法 	A-116 図 D-103 を参照してください。
647		A-022 A-023	<p>ピット平面図 Y4/X8 通りのマンホールについて、以下のようになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免震ピット平面図：マンホールの記載なし ・ピット階平面図：タラップの記載あり <p>ピット階にタラップの記載があるため、マンホールが必要と考えて宜しいでしょうか。</p>	A-023 図、凡例及び図中のプロットを参照してください。
648		A-033 A-116	<p>部分詳細図 5、D-102 の連結管について、下記のようになっています。</p> <p>矩計図を正とし、通気管と連通管が同数であると考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部分詳細図：通気管 100 φ 連通管 125 φ 半割 2 ヶ所 ・矩計図：通気管 100 φ 連通管 125 φ 半割（正） 	よろしいです。

649	A-006 A-017 A-036	3階以上(屋外に面するスラブ)の室内断熱について下記のようになっています。特記仕様書・仕上特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 ・特記仕様書・仕上特記仕様書：吹付 t70 (正) ・矩計図：吹付 t50・t70	矩計図を正としてください。
650	A-033 ~A-037	断熱について、外壁面が下記壁種の場合、室内側に断熱は不要と考えて宜しいでしょうか。 ・ALC+EPS 断熱ボード	よろしいです。
651	A-021 A-022	ピット階平面図において、配管ピットとありますが、仕上表が見受けられません。 新東棟配管ピットに倣い、下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・床：コンクリート金鏝押え ・壁・天井：コンクリート素地	よろしいです。
652	A-019 A-065	2階の物置の天井高について、仕上表と天井伏図で下記のようになっております。天井伏図を正として宜しいでしょうか。 仕上表；CH=2500 天井伏図；CH=3000 (正)	仕上表を正としてください。
653	A-019 A-065	2階の倉庫 H2-1 の天井高について、仕上表と天井伏図で下記のようになっております。天井伏図を正として宜しいでしょうか。	仕上表を正としてください。

			仕上表 ; CH =3000 天井伏図 ; CH=3950 (正)	
654		A-020 A-066	3 階の倉庫 3-3,3-4 について、仕上表と天井伏図で下記のように なっております。天井伏図を正として宜しいでしょうか。 仕上表 ; CH =2600 天井伏図 ; CH=2750 (正)	よろしいです。
655		A-019 A-036 A-048	2 階の指導室倉庫の天井高について、仕上表と天井伏図と矩計図で 下記のようになっております。仕上表と天井伏図を正と考えて宜し いでしょうか。 仕上表・天井伏図 ; CH=3950 (正) 矩計図 ; CH=3000	矩計図を正としてください。
656		A-035 A-066	3 階の市民相談室のブラインドボックスについて、天井伏図と矩計 図で下記のようになっております。天井伏図を正と考えて宜しいで しょうか。 天井伏図 ; B,B-1 (正) 矩計図 ; 図示なし	よろしいです。
657		A-051 A-052	下記部屋の柱仕上について、平面詳細図に「+W : 天然木練付板」の 凡例が記載されておきませんが、壁仕上に倣い見込んで宜しいで しょうか。	よろしいです。

			<p>[3F]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長室 ・副市長室 ・庁議室 <p>[4F]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員控室 1 	
658		A-051 A-052	<p>前記質疑が正の場合、出隅について、3F 廊下 3-6・ラウンジに倣い「壁見切-3」を見込んで宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
659		A-020 A-052 A-053	<p>下記部屋の壁仕上について、仕上表で「天然木練付板」と記載されておりますが、平面詳細図で「+W」の凡例が記載されておられません。仕上表を正とし、天然木練付板を見込んで宜しいでしょうか。</p> <p>[4F]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長室 ・相談室 4-4 ・議員控室 5-6 	よろしいです。
660		A-135 A-049 A-052	<p>2Fキッズスペースと 4F 廊下 4-3 のベンチシートについて、家具詳細図に「W4760/1 台、W7560/1 台」と記載されています。</p> <p>平面詳細図より、キッズスペースにW4760、廊下 4-3 にW7560 を設置すると考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。

661	A-135 A-049 A-053	2F 執務室 2-A、4F 執務室 4-A のリフレッシュカウンターのW寸法について、下記のようにしております。家具詳細図：2F/W5980、4F/W4790 を正と考えて宜しいでしょうか。 ・平面詳細図計測：2F/W4500、4F/W4500 ・家具詳細図：2F/W5980、4F/W4790（正）	よろしいです。
662	A-135 A-051	家具詳細図、3F のリフレッシュカウンターW 寸法について、下記のようにしております。家具詳細図：W4790/ 5370/各 1 台を正と考えて宜しいでしょうか。 ・平面詳細図計測：W4500/2 台 ・家具詳細図：W4790/5370/各 1 台（正）	よろしいです。
663	A-136 A-118 A-048	家具キープラン「F-5」について、家具詳細図内に家具詳細図に記載がありません。 2F 栄養指導室、準備室に設置する洗面カウンター（部分詳細図-7（D-130））と考えて宜しいでしょうか。	質問番号 153 の回答を参照してください。
664	A-135	家具詳細図にある下記「壁面収納」について、下地補強が必要な場合は、仕様、詳細（厚み、材質）を御指示下さい。 ・3F 市長室：壁面収納 ・3F 副市長室/4F 教育長室・正副議長室：壁面収納 ・3F 応接室：壁面収納	下地補強は不要としてください。

665		A-135 A-141	カウンターパーティションAにサインの図示がありますが、I S-15 アドレス表示B（パーティションA）と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
666		A-135 A-141	上記質疑に続き、I S-15 アドレス表示B（パーティションA）はサイン数量表に31か所とありますが、カウンターパーティションAは、家具詳細図では29台となっております。 1Fパーティション直型/L字型各1台にも必要と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
667		A-135	1Fパーティション直型/L字型各1台について、平面詳細図にて設置場所が判断できません。 各設置場所を図示にて御指示下さい。	X8-X9 通り間、Y7-8 通り間の廊下1-2 と待合 1-1 の境界付近となります。
668		A-137～ 140	E S-21 防火水槽表示の数量について、サイン配置図、サイン数量表では、一式となっておりますが、サイン詳細図及び防火水槽の設置場所より1か所と考えて宜しいでしょうか。	A-140 図に示すとおり、数量は1基です。
669		A-137	サイン数量表に、下記のサインがモックアップの対象とありますが、必要数量をそれぞれ御指示下さい。 ・E S-03 施設名称サインC ・E S-07 誘導サインA ・E S-14 車両用サイン大	各1基としてください。

			<ul style="list-style-type: none"> ・ I S-01 施設名称・利用案内表示 ・ I S-02 案内サインA ・ I S-09 誘導サインC ・ I S-11 誘導サインE ・ I S-12 誘導サインF ・ I S-15 アドレス表示B ・ I S-16 アドレス表示C <p>前項に続き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I S-17 アドレス表示D ・ I S-18 施設名称表示 ・ I S-31 ピクトグラム表示A ・ I S-35 市民活動スペースグラフィックス ・ I S-41 手摺点字表示 	
670		A-137～ 139	<p>下記のサインの数量について、サイン数量表に一式とありますが、必要か所数を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ E S-20 連結送水管表示 ・ I S-11 誘導サインE ・ I S-12 誘導サインF 	<ul style="list-style-type: none"> ・ E S-20 連結送水管表示：1 基 ・ I S-11 誘導サインE：質問番号476の回答を参照してください。 ・ I S-12 誘導サインF：質問番号477の回答を参照してください。
671		A-137 A-138	<p>E S-04 施設名称サインDの数量について、下記のようにしております。サイン配置図を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>

		A-140	<ul style="list-style-type: none"> ・数量表/詳細図：2か所 ・サイン配置図： E X/2 か所、2 F/2 か所、計 4 か所数（正） 	
672		A-133	<p>議場詳細図⑰議長バックボードに、市章・名称サイン（サイン工事）とありますが、サイン図に記載がありません。 仕様、詳細（サイズ、メーカー・品番他）を御指示下さい。</p>	SUS t 3.0 バイブレーション切り文字、記載文字は上段に H200：八潮市議会議場、下段に H100:YASHIO City Council Assembly Hall としてください。
673		A-080 A-081 A-137 A-138 A-139	<p>I S-3 8 セーフティマークの数量について、下記のようになっております。サイン数量表を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当建具寸法：1 F/36m、2 F/19m、3 F/39m、4 F/66m、計 160 m ・サイン数量表：1 F/38m、2 F/18m、3 F/43m、4 F/70m、計 169 m（正） 	よろしいです。
674		S-16	<p>免震建物表示看板について、6 か所とありますが、設置する場所を御指示下さい。</p>	A-138 図を参照してください。また数量は 3 か所としてください。
675		A-046	<p>1 F 機械室 1-2 の下記図（赤枠）の機械基礎の高さについて、記載がありません。 H150 と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。

676	A-020 A-052	<p>仕上表備考欄より 4F 電気室の機械基礎について、平面詳細図に記載がありません。</p> <p>機械基礎のサイズ・高さ・か所数を御指示下さい。</p>	<p>質問番号 194 の回答を参照してください。</p>	
677	A-021 A-052	<p>仕上表備考欄より 4F 機械室 4-2 の機械基礎について、平面詳細図に記載がありません。</p> <p>機械基礎のサイズ・高さ・か所数を御指示下さい。</p>	<p>下記のべた基礎を見込んでください。仕様は A112、S-73 の機械基礎に準じてください。</p> <p>W1700xL4500xH150x1 W1500xL900xH300x1</p>	
678	A-112	<p>部分詳細図-1 (D-06) 屋上ハト小屋の壁、天井に打放補修とありますが、型枠はC種と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>	

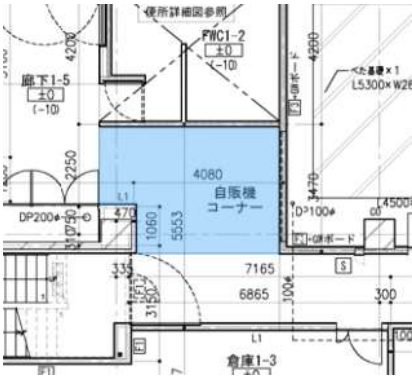
679		A-016	エレメント図、床見切り-2の木製上がり框について、材質、仕上を御指示下さい。	タモ集成材程度としてください。
680		A-006 A-018	防塵塗床について、特記仕様書と仕上表で下記のようになっております。 仕上表を正とし、ウレタン樹脂用エナメルが使用されると考えて宜しいでしょうか。 特記仕様書：アクリル樹脂塗床 仕上表：2液形ウレタン樹脂エナメル（正）	よろしいです。
681		A-021 A-056 A-064	便所の天井仕上について、各図で下記のようになっております。 仕上表と天井伏図を正とし、石膏ボードの上EPと考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表、天井伏図：石膏ボードの上EP（正） ・便所詳細図：岩綿吸音板	よろしいです。
682		A-015	エレメント図-1（W7）耐水石膏ボードに於いて、耐火間仕切の壁は耐水石膏ボードを1層増し張りとするがありますが、厚みは12.5mmと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
683		A-005 A-017	軽量鉄骨壁下地の幅について、各図で下記のようになっております。	よろしいです。また、原則LGSは60以上としてください。

		A-046 A-056	<p>建築工事特記仕様書と仕上特記仕様書を正とし、全階層とも標準仕様書の区分によると考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事特記仕様書、仕上特記仕様書： 標準仕様書の区分による ・ 平面詳細図記号凡例： 特記外 LGS 幅は W100 とする ・ 便所詳細図： 特記なき限り、1、2 階は W100、3、4 階は W65 	
684		A-046	<p>前記の質疑が『否』となり、平面詳細図記号凡例が正となる場合は『特記外、LGS 幅は W100 とする』について、具体的な LGS 幅 W100 の範囲を御指示下さい。</p>	質問番号 683 の回答のとおりです。
685		A-005 A-015 A-018	<p>建築工事特記仕様書 左官工事 3 番に於いて、乾式厚床以外のゴム床タイルにはセルフレベルリング材を見込むとありますが、仕上表ではエレメント図 床 4（増打コン直押え）が下地とされています。</p> <p>特記仕様書を正とし、乾式厚床以外のゴム床タイルにはセルフレベルリングを見込むと考えると宜しいでしょうか。</p>	ゴム床タイル仕上げにのみ見込んでください。

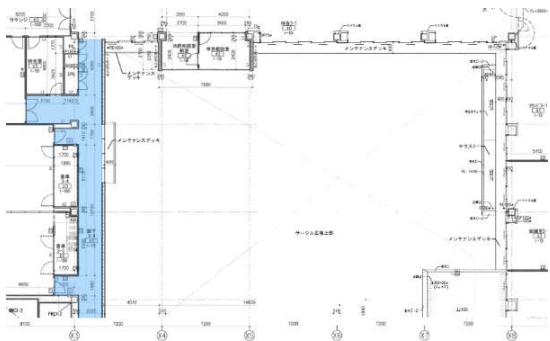
686		A-021 A-046 A-058	<p>SK 室の壁下地について、各図で下記のようになっております。 平面詳細図と便所詳細図を正とし、耐水石膏ボード t12.5+石膏ボード t12.5 と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表： 石膏ボード t12.5+12.5 ・平面詳細図、便所詳細図： 耐水石膏ボード t12.5+石膏ボード t12.5 (正) 	よろしいです。
687		A-021 A-061 A-064	<p>SK 室の天井仕上について、各図で下記のようになっております。 仕上表と天井伏図を正とし、化粧石膏ボードと考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表・天井伏図：化粧石膏ボード (正) ・便所詳細図：岩綿吸音板 	よろしいです。
688		A-021 A-027	<p>4 階 議事会事務局内の給湯コーナーについて、部屋仕上は下記のように給湯室に倣うと考えて宜しいでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.床：ビニル床シート 2.巾木：PVC H=60 3.壁：耐水石こうボードの上、EP-G 4.天井：石こうボードの上、EP 5.廻り縁：PVC 	よろしいです。

689	A-061 A-065	<p>2階授乳室 H2-1 の天井高について、各図で下記のようになっております。</p> <p>便所詳細図を正とし、CH=2600 と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 便所詳細図：2600（正） ・ 天井伏図：3000 	よろしいです。
690	A-047	<p>1階平面詳細図-2 X9-10/Y9-10 通りの階段室 A と便所間の間仕切壁について、下記を御指示下さい。</p> <p>1：壁凡例が F1+S となっていますが、グラスウール充填の図示があるため F3+S と読み替えて宜しいでしょうか。</p> <p>2：図中表記凡例より、天井内壁とされていますが、スラブ-スラブ間に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	A-047 図のとおりとしてください。 また、図中表記凡例のとおり、床面からスラブまでとしてください。
691	A-033 A-046 A-056 A-078	<p>一般間仕切への GWt50 32kg/m³ 充填について、平面詳細図の図中表記凡例では判別がつかず、該当範囲が読み取れません。</p> <p>上記について、矩計図、便所詳細図、1階部分詳細図などを基に範囲を別紙の様に考えて宜しいでしょうか。</p> <p>（別紙：一般遮音間仕切範囲図をご参照ください）。</p>	各階平面詳細図に記載のとおりです。
692	A-003	<p>ALC 間仕切について、下記項目の仕様詳細（鋼材寸法・形状）を御指示下さい。</p> <p>1：開口補強金物</p> <p>2：頂部金物</p>	メーカー標準仕様としてください。

			3：足元金物	
693		A-046 A-116	部分詳細図-5 (D-106) に於いて、隣り合う部屋の天井高が同じ場合に軽鉄壁下地は天井止めとされていますが、平面詳細図の図中表記凡例よりボード範囲がスラブ to スラブとなる間仕切については、隣り合う部屋の天井高が同じでも軽鉄をスラブ下まで伸ばすと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
694		A-019 A-048	2F 厨房事務所 (X1~2 間/Y4~5 間) の部屋仕上について、仕上表に記載がありません。 2F 相談室 2-1 の仕上に倣うと考えると宜しいでしょうか。	A-021 図を参照してください。
695		A-018 A-064 A-119(D-139)	1 階執務室他 梁型の仕上について、内部仕上表及び部分詳細図-8[1 階梁集成材張り]、天井伏図-1 にタモ集成材と記載されていますが、天井と同様に EP 塗装を見込むと考えると宜しいでしょうか。宜しいでしょうか。	UC としてください。
696		A-119(D-139)	部分詳細図-8[1 階梁集成材張り]の C 部分詳細図に記載されている目地棒について、仕様を御指示下さい。	タモ材としてください。
697		A-046	1 階 自販機コーナーの施工範囲について、下記の範囲が該当すると考えると宜しいでしょうか。	機械室 1-2 側については壁芯から 2000mm の範囲としてください。廊下 1-4 側についてはよろしいです。

				
698		A-018 A-056 A-064	1階 廊下 1-1 の天井高について、仕上表及び天井伏図、便所詳細図-1 で下記のようになっております。「仕上表、天井伏図」を正と考えて宜しいでしょうか。 【仕上表、天井伏図】(正) CH=2600 【便所詳細図-1】 CH=2700	よろしいです。
699		A-016 A-092 A-093	建具詳細図に記載されていない外壁廻りの額縁について、建具表に見込幅が記載されていますが、見付幅が記載されておりません。見付幅は、エレメント図-2[サッシュ取合 膳板]に倣い D25 で見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

700		A-066 A-085	<p>2階 廊下 2-2 の外壁廻りの納まりについて、部屋の天井高と建具姿図[ACW-201]で下記のようになっております。建具姿図を正とする場合、外壁廻りの納まりを御指示下さい。</p> <p>天井高：CH=3000</p> <p>建具姿図[ACW-201]：FL+700 の位置から H3210</p>	<p>ACW-201 の手前に折上 E を廊下幅としてください。</p> <p>また、ブラインドボックスは不要です。</p>
701		A-066 A-067 A-085	<p>下記部屋で使用される ACW は H2850 ですが、内部の天井高さは CH2600 となっております。建具のサイズが正しい場合は、サッシ廻りの詳細（層間部・額縁・下がり壁）を御指示下さい。</p> <p>【該当部屋】</p> <p>3階 廊下 3-2</p> <p>4階 廊下 4-2</p> <p>天井高：CH=2600</p> <p>建具姿図[ACW-304、ACW402]：H=2850</p>	<p>各廊下幅にて折上 E としてください。また、ブラインドボックスは不要です。</p>
702		A-051	<p>3階 廊下 3-4 及び待合 3-1 の取合について、廊下 3-4 の施工範囲は、下図青ハッチ内が該当すると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>よろしいです。</p>

				
703		A-020 A-034 A-066	<p>3階廊下 3-4 の天井高について、内部仕上表及び天井伏図、矩計図-2 で下記のようになっております。「天井伏図、矩計図-2」を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【内部仕上表】 CH=2750</p> <p>【天井伏図、矩計図-2】 (正) CH=2850</p>	よろしいです。
704		A-020 A-066	<p>3階 廊下 3-5 天井高について、仕上表及び天井伏図で下記のようになっております。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表 : CH=2750 ・天井伏図 : CH=2850 (正) 	よろしいです。

705		A-021 A-036 A-067	4階 廊下 4-3 の天井高について、仕上表及び矩計図-4、天井伏図-4 で下記のようになっております。天井伏図-4 を正と考えて宜しいでしょうか。 ・仕上表・矩計図-4：CH=2700 ・天井伏図-4：CH=2850（正）	CH=2700 を正としてください。
706		A-016 A-035 A-066 A-081 A-099	3階 下記部屋のブラインドボックスについて、天井伏図に B.B-1 と記載されていますが、建具詳細図-5 及び矩計図-3 ではブラインドボックスの図示がございません。「建具詳細図-5、矩計図-3」を正とし B.B-1 は不要と考えて宜しいでしょうか。 ・市民相談室 ・市民相談室前室	B.B-1 を見込んでください。
707		A-050 A-096	3階 会議室 3-1 他の柱について、平面詳細図にケイ酸カルシウム板耐火被覆材とありますが、スチールパネルで囲まれていない部分はケイカル板面に EP 塗装を見込むと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
708		A-067	4階 傍聴ロビー～廊下 4-7 取合部の天井凡例 17「天然木練付板（タモ柂目突板不燃処理）」について、納まりを御指示下さい。	A-132 図を参照し、下がり下端にはボーダーパネル（天然木練付板 t 9.0）を見込み、上裏及び廊下 4-7 の壁は L2+E としてください。
709		A-034	4階 廊下 4-6 のブラインドボックスについて、矩計図及び天井伏	よろしいです。

		A-067	<p>図-4 で下記のようになっております。天井伏図-4 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 矩計図-2： 図示あり ・ 天井伏図-4： 図示なし (正) 	
710		A-034 A-066	<p>3階 廊下 3-4 のブラインドボックスについて、矩計図及び天井伏図-4 で下記のようになっております。天井伏図-4 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 矩計図-2： 図示あり ・ 天井伏図-4： 図示なし (正) 	よろしいです。
711		A-020 A-066	<p>3階 ELV ホール 3-1 の天井について、仕上表-3 及び天井伏図-3 で下記のようになっております。天井伏図-3 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【仕上表-3】 仕上：デッキスラブ表しの上 SOP 天井高：CH=3640</p> <p>【天井伏図-3】 (正) 仕上：石膏ボード EP + 一部デッキスラブの上 SOP 天井高：CH=3240 + 一部 CH=3640</p>	天井伏図を正としてください。
712		A-020 A-037	<p>3階 ラウンジ 3-2 の CH=2850 の範囲の天井仕上について、仕上表-3 及び矩計図-5、天井伏図-3、折上天井詳細図(折上天井 A)で下</p>	石膏ボード EP を正とし、折上天井詳細図、折上天井 A の天井仕上げに

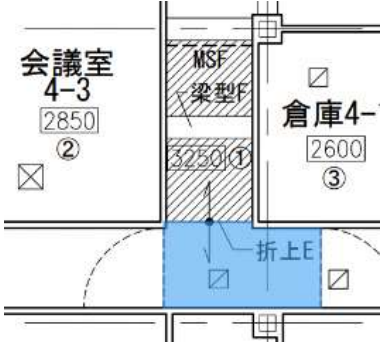
		A-066	<p>記のようになっております。「矩計図-5、折上天井詳細図」を正と 考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【仕上表-3、天井伏図-3】 石膏ボード EP</p> <p>【矩計図-5、折上天井詳細図】 (正) GB-R t12.5 の上岩綿吸音板</p>	<p>については、天井伏図の仕上げに準じ てください。</p>
713		A-020 A-033 A-066	<p>3階 会議室 3-1 の天井高について、仕上げ表-3 及び矩計図-1、天 井伏図-3、展開図-6 で下記のようにとなっております。仕上表-3 及 び天井伏図-3、展開図-6、を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【仕上表-3、天井伏図-3、展開図-6】 (正) CH=2850</p> <p>【矩計図-1】 CH=2800</p>	<p>よろしいです。</p>
714		A-092 A-099	<p>3階 会議室 3-4 の額縁・膳板のサイズについて、建具表-6 及び建具詳 細図-5 で下記のようにとなっております。建具詳細図-5 を正と考えて 宜しいでしょうか。</p> <p>【建具表-6】 額縁・膳板 : W=140</p> <p>【建具詳細図-5】 (正) 額縁 : W=323 膳板 : W=138</p>	<p>よろしいです。</p>

715		A-020 A-032 A-036 A-066	<p>3階 会議室 3-4 の天井高について、仕上表及び断面図、矩計図-4、天井伏図-3 で下記のようにしております。「仕上表、矩計図-4 天井伏図-3」を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【CH=2850】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断面図 <p>【CH=2750】(正)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表 ・矩計図 ・天井伏図 	よろしいです。
716		A-034 A-035 A-066 A-067	<p>折上天井 D の下図雲印内の仕上について、矩計図-3 及び折上天井詳細図、天井伏図の CH=2850 の範囲の仕上で下記のようにしております。「矩計図-3、折上天井詳細図」を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【該当部屋】</p> <p><3階></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会議室 ・庁議室 <p>前項に続き</p> <p><4階></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会室 1、2 ・正副議員室 	折上天井詳細図、折上天井 D は天井と下がり天井の段差部にスリットを設けることを示しています。下段の天井仕上げが岩綿吸音板の場合は、折上天井 B に示す W100 の段差処理見切りを設け、天井の岩綿吸音板と鉛直面の石膏ボード仕上げを見切ってください。

			<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会事務局 ・ 会議室 4-1 <p>【矩計図-3、折上天井詳細図】 (正)</p> <p>GB-R t12.5+12.5 +EP</p> <p>【天井伏図】</p> <p>岩綿吸音板</p> <div data-bbox="680 592 1162 895" style="text-align: center;"> </div>	
717		<p>A-021 A-040 A-067</p>	<p>PH 階 ELV ホールの天井仕上について、仕上表-4 及び階段室 B 詳細図-2、天井伏図-4 で下記のようになっております。「仕上表-4、天井伏図-4」を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【仕上表、天井伏図】 (正)</p> <p>化粧石膏ボード</p> <p>【階段室 B 詳細図-2】</p> <p>石膏ボードの上 EP</p>	<p>よろしいです。</p>

718		A-040	PH 階 ELV ホール内の階段について、B-B 断面詳細図に「段鼻：ノンスリップ」と記載されていますが、仕様を御指示下さい。	階段室 B に準ずるものとして下さい。
719		A-019 A-021 A-046	1 階 ELV ホール 1-2 に於いて、階段室 B との取合部分に床見切と記載されていますが、階段室 B と ELV ホール 1-2 の床仕上が同仕上な為床見切は不要と考えて宜しいでしょうか。 ・ ELV ホール 1-2：ゴム床タイル ・ 階段室 A~D：ゴム床タイル	A-046 図に示すとおりとして下さい。
720		A-020 A-035 A-066	3 階 待合 3-1 折上天井 A の下図雲印内の仕上について、仕上表-3 及び矩計図-3、折上天井詳細図、天井伏図の CH=2850 の範囲の仕上で下記のようになっております。「仕上表-3、矩計図-3、天井伏図」を正と考えて宜しいでしょうか。 【仕上表、矩計図、天井伏図】 (正) 石膏ボード EP 【折上天井詳細図】 GB-R t12.5 + 岩綿吸音板	質問番号 712 の回答のとおりです。

721		<p>A-020 A-035 A-066</p>	<p>3階 待合 3-2～ラウンジ 3-1 折上天井 A の下図雲印内の仕上について、仕上表-3 及び折上天井詳細図、天井伏図の CH=2850 の範囲の仕上で下記のようになっております。「仕上表-3、天井伏図」を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【仕上表、天井伏図】 (正) 石膏ボード EP</p> <p>【折上天井詳細図】 GB-R t12.5 + 岩綿吸音板</p>	<p>質問番号 712 の回答のとおりです。</p>

722		A-020 A-033 A-067	<p>4階 待合 4-1 の天井高について、仕上表-3 及び矩計図-1、天井伏図-4 で下記のようになっております。天井伏図-4 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>【仕上表】 CH=3650</p> <p>【矩計図】 CH=3640～3890</p> <p>【天井伏図 (正) CH=3650 + 一部 CH=2850、3250 (正)</p>	よろしいです。
723			<p>4階 待合 4-1 下図青ハッチ内の下記項目を御指示下さい。</p> <p>① 天井高 ② 天井仕上</p> 	図示のとおり、①3250mm、②石膏ボード EP としてください。

724	A-095	3F 市長室・レクチャー室 ACW-306 の窓廻りの納まりについて、建具詳細図-1 ACW-301・303 A 断面詳細図に倣って宜しいでしょうか。	ACW-301 の 3 階部建具断面に準じてください。また、笠木との取り合いは A-113 図 D-21 の笠木 D-1 となります。
725	A-066 A-095	前記質疑を正とした場合、天井伏図-3 では、ブラインドボックス形状が「B.B-2」ですが、建具詳細図-1 ACW-301・303 A 断面詳細図では「B.B-3」となります。 「B.B-3」を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
726	A-080 A-092	1F 建具案内図に於いて、X9-10/Y1 通間に引出し線を見受けられませんが、建具記号がありません。建具表取付場所より「AG-106」と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
727	A-082 A-091	SW-305 のガラスについて、建具表は「P-6、扉部 T-5」ですが、建具姿図では「P-6、P-8、扉部 T-5」の図示となっています。建具姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
728	A-083 A-090 A-106	SSD-103・SSD-104 の形式について、建具表形式欄は「引分け自動扉」とありますが、建具姿図及び建具詳細図では「2 枚引き」の図示となっています。建具姿図・建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

729	A-030 A-080	2F 建具案内図に於いて、南面 X5-8 通部分に ACW-202 とありますが、立面図の姿図は ACW-201 となっています。建具案内図の ACW-202 を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
730	A-085 A-095 A-098	建具詳細図-1 に於いて、ACW-301・303 の C 断面詳細図に「AL パネル t2.0(金属工事)」とありますが、建具詳細図-4 では金属工事の指示が見られません。建具姿図に自然通風用チャンバーの図示があるので、自然通風用チャンバー部分は建具工事と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
731	A-085 A-092	建具表-6 に於いて、ACW-306 の W 寸法は W15540 となっていますが、姿図より $W7440+7440=W14880$ と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
732	A-051 A-053 A-081	建具案内図-2 に於いて、3F・4F の X5-6、Y8 通の建具記号はそれぞれ AW-301・401 となっていますが、平面詳細図では隣の AW とは納まり寸法が違うと思われます。それぞれ AW-302・402 と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
733	A-086 A-092	建具表-6 に於いて、GCW-201 の W 寸法は W14400 となっていますが、姿図より $2633+6600+3967=W13200$ と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 なお、姿図のとおり金属工事のパネル込みで W14400 となります。

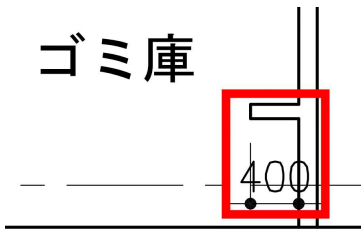
734		A-086 A-092	<p>下記ガラスカーテンウォールの W 寸法について、建具表と建具姿図で相違が見られます。 建具図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><建具表> <姿図>(正)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GCW-202 W14400 W14350 ・ GCW-203 W8660 W4005+4005 ・ GCW-204 W6145 W6105 ・ GCW-206 W9235 W9245 ・ GCW-401 W13700 W23700 	<p>GCW-202、203、204、206 は建具表を正としてください。 GCW-401 は姿図を正としてください。</p>
735		A-083 A-090 A-104	<p>SSD-101 の W 寸法について、建具表・建具姿図・建具詳細図で以下のようになっています。建具表及び建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建具表 W5950<正> ・ 建具姿図 W5780(1990+900+900+1990) ・ 建具詳細図 W5950<正> 	よろしいです。
736		A-083 A-090 A-104	<p>また、SSD-101 の H 寸法及びドア H 寸法について、建具表・建具姿図・建具詳細図で以下のようになっています。建具詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建具表 H2900 ・ 建具姿図 ドア H2300 ・ 建具詳細図 H2948 ドア H2500<正> 	よろしいです。

737		A-090	SSD-111 の W 寸法について、建具表は「W2360」ですが、片引きのレール全長と思われます。引込み部分は壁となっているので、扉部分は「W1180」程度と考えて宜しいでしょうか。	W1200 としてください。
738		A-083 A-091	SW-207 の H 寸法について、建具表は「H2250」ですが、建具姿図は「H2100」となっています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
739		A-018	建具表-2 に於いて、鋼製建具の仕上に木練付の指示が見られますが、仕様が不明です。壁に倣いタモ板目 UC と考えて宜しいでしょうか。	ホクサン 天然木練付化粧合板 t6 杣付バチ板目 着色 UC 同等品として ください。
740			また、枠の仕上は SOP と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
741			参考内訳書 P80 に於いて、「天然木練付板 鋼製建具面木部 化粧合板/ケイカル板 t6.0 ホワイトバーチ板目」が計上されておりますが、図面にホワイトバーチの記載が見られません。不要と考えて宜しいでしょうか。考えて宜しいでしょうか。	SD306、SD406、WD301 の仕上、 天然木練付板 t6 が該当しますので必 要としてください。
742		A-084 A-093	建具姿図-3 に於いて、AW-301~303・401~403 の自然通風用チャンバーの H 寸法は 160+2670=2830 となっていますが、建具表の H 寸法は H2815 です。建具表の寸法を正とし、ガラス部分の H 寸法	よろしいです。

			は H2510 と読み替えて宜しいでしょうか。	
743		A-085 A-098	建具姿図-4 に於いて、ACW-201・202 の自然通風用チャンバーの W 寸法は 45+270+710+465+710 となっていますが、建具詳細図では 45+270 部分の図示が見られません。建具詳細図を正とし 45+270 部分は不要と考えて宜しいでしょうか。	質問番号 276 の回答を参照してください。
744		A-090	建具表-4 に於いて、WD-301 の枠仕様が不明です。堅木 OSCL と考えて宜しいでしょうか。	タモ、OSCL としてください。
745		A-021 A-089	建具表-3 に於いて、PT-405・406 の H 寸法は H2850 とありますが、取付場所の議員控室 5・6 の天井高は CH2700 なので、PT の H 寸法も H2700 と読み替えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
746		A-144 S-82	A-144 図 EX1 通り側に土間は、S-82 図の外構土間スラブ配筋詳細図に倣うと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
747		S-81	設備梁貫通補強が有りましたら、径・個所数を御指示下さい。	S-10 図に記載の数量が庁舎棟との合計数量です。
748		A-018	外部仕上表に於いて、屋根 E の露出防水が D-3 とありますが、D-1 に読み替えてよろしいでしょうか。	よろしいです。

749		A-113	部分詳細図-2 に於いて、地流しの小口タイルのメーカー名、程度がありましたら御指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
750		A-114	手摺詳細図に支柱:St-FB-22×6 とありますが、他手摺と同じく 22×65 に読み替えてよろしいでしょうか。	よろしいです。
751		A-021 A-056 A-144	新東棟 2F MWC-E/FWC-E 下記項目について、本体便所詳細図に準じて宜しいでしょうか。 ① 大便器取付下地補強 ② 紙巻器取付下地補強 ③ 手摺 (L型手摺)	よろしいです。
752		A-021	新東棟 2F MWC-E/FWC-E に於いて、内部仕上表 備考欄に「鏡：既製品 t16 360×1100」と記載されておりますが、鏡周囲の枠をアルミ製と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
753		A-021 A-118	前記質疑に続き、化粧鏡の取付下地補強について、本体便所詳細図に倣い「耐水合板 t9+胴縁 ㊦ 30×40 @㊦ヨコ」と見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
754		A-144	新東棟 B-B 断面図に於いて、1F 公用車車庫出入口シャッター部に「天井点検口 450X450」とありますが、シャッター1か所につき点検口 1か所と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

755		A-021 A-023	<p>新東棟防火水槽について、釜場の仕上を下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 釜場：モルタルの上塗膜防水 ポリマーセメント系 	よろしいです。
756		A-021 A-023 A-024 A-144	<p>新東棟防火水槽のマンホールについて、下記のように図示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上表：記載なし 免震ピット階平面図：タラップ3か所 1階平面図：マンホール2ヶ所 新東棟平面図：マンホール3か所 タラップ3か所（正） <p>新東棟平面図を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。
757		A-021 A-144	<p>新東棟配管ピットについて、下記のようになっています。</p> <p>仕上表を正と考え、マンホール、タラップ、釜場を1か所ずつ見込んで宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕上表：マンホール、タラップ 釜場の記載あり（正） 東棟平面図：図示なし 	よろしいです。
758		A-144 S-81	<p>新東棟の人通孔について、下記のようになっております。</p> <p>意匠図を正とし、人通孔は不要と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造図：図示あり 	質問番号 232 の回答を参照してください。

			<p>※「詳細は意匠図による」</p> <p>・意匠図：図示なし（正）</p>	
759		A-144	<p>1F ゴミ庫、土嚢収納庫に排水溝W200 とありますが、仕上、高さ、蓋の有無と詳細を御指示下さい。</p>	<p>質問番号 225 の回答を参照してください。</p>
760		A-144	<p>1F ゴミ庫の下記図（赤枠）RC 棚について、仕上はコンクリート金鍍押え、及び打放補修(型枠 B 種)と考えて宜しいでしょうか。</p> 	<p>金鍍押え及び打放補修の上 S C C としてください。</p>
761		A-021 A-144	<p>2 階洗濯・乾燥室の壁下地について、各図で以下のようになっています。</p> <p>仕上表を正とし、耐水石膏ボード t12.5+石膏ボード t12.5 と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表： 耐水石膏ボード t12.5+石膏ボード t12.5（正） ・新東棟 平、立、断面図： 石膏ボード t12.5+12.5 	<p>よろしいです。</p>

762		A-016 A-144	新東棟の天井 木毛セメント板の厚みが、エレメント図では t 25、新東棟平面図では t 50 となっています。 t 50 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
763		A-080 A-093	AW-E02 の取付箇所数について、建具表は「1 か所」ですが、建具案内図では「2 か所」となっています。建具案内図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
764		S-73 L-009	構造図 雑詳細図-1 に外構土間スラブの断面の記載がありますが、外構 詳細図-1 CP-A コンクリート舗装-A の断面と相違があります。外構 コンクリート舗装は、外構 詳細図-1 CP-A コンクリート舗装-A によると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
765		L-009	詳細図-1・コンクリートブロック舗装において、コンクリートブロックのメーカー名・品番が 2 社となっています。どちらか 1 社によると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
766		L-009 L-001	詳細図-1・CP-A コンクリート舗装-A において、土間コンクリートは外構工事 特記仕様書の鉄筋コンクリート 24-12-25 によると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
767		L-010 L-004	コンクリート縁石-A~C の断面寸法が下記のように相違しています。いずれも詳細図-2 によると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

			<ul style="list-style-type: none"> ・詳細図-2 - W150×H120 ・施設平面図 - 150 角 	
768		L-004	<p>施設平面図において、AS-B（配管後 AS 復旧）の下記の項目を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存 AS 舗装の断面 ・復旧 AS 舗装の断面 ・シールコートの有無 	<p>既存、復旧ともに下記の断面構成として下さい。</p> <p>密粒度 AS 厚 50、プライムコート、再生粒調碎石路盤 RN-40 厚 150、再生クラッシャーラン路盤 RC-40 厚 350</p>
769		L-010	<p>詳細図-2・スチールエッジにおいて、下記を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカー名、品番 	<p>メーカーは第一機材同等とし、制作ものとして下さい。</p>
770		L-011	<p>詳細図-3において、擁壁の敷地側見掛け寸法は、特記なき限り H=100 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
771		L-004 L-012	<p>施設平面図において、BD-A ボラード A が埋没式となっておりますが、詳細図-4 では脱着式とおもわれます。脱着式と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
772		L-012	<p>詳細図-4・ボラード A、B において、下記を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカー名、品番 	<p>メーカー：ユニオン ボラード A：LP-570ADC-MBK ボラード B：LP-570AD-MBK</p>

				以上、同等品としてください。
773		L-012	<p>詳細図-4・階段・Bにおいて、下記の項目を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手摺の仕様、詳細 ・メーカー名、品番 	<p>仕様詳細は別添の回答説明資料②を参照してください。</p> <p>メーカーは㈱サンテック（横浜市金沢区）制作もの同等としてください。</p>
774		L-013	<p>詳細図-5・手摺-Aにおいて、下記の項目を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支柱の部材、寸法 ・メーカー名、品番 	<p>支柱の部材、寸法：FBt6x38、ダブル</p> <p>仕上げは他の部材に準じてください。</p> <p>メーカーは㈱サンテック（横浜市金沢区）制作もの同等としてください。</p>
775		L-005	<p>排水計画図において、FHは天端レベル、ELは管底レベルと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
776		L-005	<p>排水計画図において、南側道路際のSS-A-Mに深さの記載がありません。管底高さGL-300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
777		L-005	<p>雨水排水計画図において、新庁舎東側TM-B中継樹Bに管底深さ</p>	質問番号313の回答を参照してくだ

			の記載がありません。GL-750 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	さい。
778		L-005	雨水排水計画図において、東側境界 OS-A-M 横断側溝柵 A に管底高さの記載のなき柵があります。GL-450 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
779		L-014	詳細図-6・L型側溝-A柵において、グレーチング蓋の耐荷重が不明です。T-25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
780		L-014、 015	詳細図 6、7 において、下記の項目を御指示下さい。 ・各種 柵蓋のメーカー名、品番 ・各種 側溝蓋のメーカー名、品番	第一機材、同等としてください。 図面に記載の仕様を確認してください。
781		A-113	部分詳細図-2・D-19 ピット式埋設オイルタンクにおいて、下記の項目を御指示下さい。 ・マンホール蓋のメーカー名、品番	メーカー・品番の指定はありません。
782		L-006	植栽計画図において、リスト記号と図示の記号があわない樹木があります。下記のように読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・エゴノキ - 配置図記号 エゴ ・エドヒガンザクラ - 配置図記号 エドヒ	よろしいです。

783	L-006	<p>植栽計画図において、配置図にしら B の記載がありますが、リストにありません。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラカシー B H7.0×C0.5×W3.0 支柱 B 	<p>質問番号建 316 の回答のとおりです。</p>
784	A-113	<p>部分詳細図-2・D-19 ピット式埋設オイルタンクにおいて、下記の項目を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホール蓋のメーカー名、品番 	<p>メーカー・品番の指定はありません。</p>
785	A-045	<p>屋外階段 C 詳細図・受水槽置場において、下記の項目を御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水溝の深さ ・機械基礎の配筋 ・機械基礎天端、立上の表面仕上 	<p>排水溝の深さ：H50 機械基礎の配筋：受水槽置場は S-74、機械基礎は S-73 の配筋に準じてください。 機械基礎天端、立上の表面仕上：C 金鍍抑え、C のまま</p>
786	A-145	<p>外構屋根詳細図-1 において、駐輪場屋根 1、2、5 のタテ樋の設置数量が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場屋根 1 - 2 か所 ・駐輪場屋根 2 - 2 か所 ・駐輪場屋根 5 - 1 か所 	<p>下記のとおりとしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場屋根 1 - 3 か所 ・駐輪場屋根 2 - 2 か所 ・駐輪場屋根 5 - 0 か所

787		A-146 、147	外構屋根詳細図-2において、車寄せ屋根 2 は支柱も含めた一体製品と思われます。下記の項目を御指示下さい。 ・メーカー名、品番	ヒガノ(株)、プロフィットシェード同等としてください。
788		A-146	外構屋根詳細図-2において、多目的駐車場 3 屋根の下記の項目を御指示下さい。 ・ハニカムパネルのメーカー名、品番	ヒガノ(株)同等、制作ものとしてください。
789		A-139	サイン配置図-2・基礎概要において、サイン基礎の配筋を下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・D13-@200 カゴ状配筋	よろしいです。
790		A-024	1 階平面図・資材置場詳細図において、下記の項目を御指示下さい。 ・床面仕上 ・床版の配筋 ・地業の厚み ・捨コンクリートの厚み	下記のとおりとしてください。 ・仕上：コンクリート金鋸押え ・配筋：立ち上がりに倣う ・地業：碎石 t 6 0 ・捨コンクリート：t 5 0
791		A-024	1 階平面図・採水口・給水口基礎において、立上部分の表面仕上が不明です。打放補修仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

792	L-007	仮設ロータリー平面図において、歩道切下げ 切下げ縁石が、LS-B L型側溝-B (L-025 図参照) となっていますが、参照図面がありません。L-014 図 LS-A L型側溝-A 底部によると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別添の回答説明資料②を参照してください。
793	K-007	外構撤去施設詳細図-2・B13 石碑-1 において、移設先に基礎を要すると思われます。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・撤去基礎と同寸法 ・均しコンクリート t50 ・再生クラッシュラン t100 	質問番号 8 の回答のとおり、敷地内仮置きとするため本工事では基礎は不要です。
794	K-008	外構撤去施設詳細図-3・B17 看板-13、15 において、基礎下地業を下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・均しコンクリート t50 ・再生クラッシュラン t100 	よろしいです。
795	S-83	多目的駐車場 3 に F33 の基礎がありますが、リストがありません。 配筋は基礎リスト 1 寸法は H=500 D1=1500 B=1500 と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。

796		K-001	撤去施設平面図-1 数量表に於いて、排水柵(グレーチング蓋)の数量が4基となっていますが、平面図上では3基しか見当たりません。3基を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
797		K-001	撤去施設平面図-1 数量表に於いて、排水柵(塩ビ蓋)の記号が「○塩」となっていますが、平面図上で「○ﾌﾟﾗ」となっているものが該当すると宜しいでしょうか。	よろしいです。
798		K-004	撤去施設平面図-4 数量表に於いて、B24:コンクリートブロック-2の規格がB=120とありますが、平面図上ではB=150となっています。B=120を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
799		K-004 参考内訳書	参考内訳書に於いて、「RC擁壁撤去(玄関前) B230~600 H400」が65.2m計上されていますが、撤去施設平面図-4では34.9mの図示となっています。図面数量を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
800		K-004 参考内訳書	前記質疑に続き、参考内訳書に於いて、「RC擁壁撤去(玄関前) B230 H1300~1500」が34.9m計上されていますが、撤去施設平面図-4では65.2mの図示となっています。図面数量を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
801		K-010	外構撤去施設詳細図に於いて、駐輪場-2にコンクリート基礎が示されていますが、W寸法が不明です。W28000×D2500×t400の	よろしいです。

			基礎が1か所と考えて宜しいでしょうか。	
802		K-006 参考内訳書	参考内訳書に於いて、車止め-2のH寸法がH=900とありますが、図面ではH=700となっています。H=700を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
803		K-004 K-006	車止め-6について、撤去施設平面図-4に図示のあるRC擁壁の上に設置されていると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
804		K-009	外構撤去施設詳細図-4 B18:門扉について、コンクリート基礎が示されていますが、奥行き寸法を御指示下さい。	D=1100mmとしてください。
805		K-003 参考内訳書	撤去施設平面図-3に於いて、B20:街路灯移設が図示されていますが、詳細図がありません。参考内訳書に倣い、支柱径はφ140と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
806		K-010	外構撤去施設詳細図-4 B30:植樹ますについて、側面壁の表面仕上を御指示下さい。	間知ブロック積擁壁としてください。
807		S-1	地業について 構造特記仕様書には再生クッションの適用記載がありませんが、参考数量書P24にならい使用可能と考えてよろしいですか。	よろしいです。

808		S-02	高性能 AE 減水剤について S-02 図特記仕様書で、「a~d の数値を満たす場合は AE 減水剤のみ」と記載が有りますが、 見積上は全て高性能 AE 減水剤入りと 考えてよろしいですか。	よろしいです。
809		S-02	マスコンクリートのセメントの種類について S-02 図特記仕様書で、普通ポルトランド・中庸熱ポルトランド・低熱ポルトランドに適用の印が有りますが、見積上は中庸熱ポルトランド適用と考えてよろしいですか。	中庸熱ポルトランドセメントを採用することはよろしいです。温度応力解析にてひび割れ等の検証を行った場合のみ普通ポルトランドセメント採用可とします。
810		A-017	化粧打放型枠について A-017 図構造体コンクリートの仕上の項で、表面加工品に適用の印が有りますが、詳細が不明です。メーカー・品番等の詳細をご指示ください。	打ち放し型枠についてメーカー指定はありません。
811		S-10	RC 梁設備用梁貫通補強について 1)S-10 図梁貫通補強要領図に、径別の補強筋枚数の記載が有りますが、1 か所当たりの枚数が不明です。径毎に 1 か所当たりの補強筋枚数をご指示下さい。	S-010 図 より算出してください。
812		S-10	RC 梁設備用梁貫通補強について 記載の指示数量は新東棟も含まれているか否か不明です。新東棟の径別か所数をご指示下さい。	新東棟も含まれるものとし、S-010 図 より算出してください。

813		S-02	流動化コンクリートについて S-02 図特記仕様書で、流動化コンクリートの適用か所に部位の記載が有りません。免震下部基礎に適用と考えてよろしいですか。	適用箇所はありません。
814		S-16	けがき板、下振りについて 免震工事特記仕様書に於いて、けがき板 1 箇所、下振り 3 箇所と有りますが、図面の通りけがき板は 1 箇所、下振りは 3 箇所と考えてよろしいですか。	よろしいです。
815		S-09 S-57	PC 梁取合部壁について S-57 図プレストレストコンクリート工事特記仕様書 壁の取り扱いの項で、壁周囲スリットと壁後打ちコンクリートの記載が有りますが、適用位置が不明です。適用位置をご指示下さい。又、壁周囲スリットと壁後打ちコンクリートの使い分けが不明です。見積上は壁周囲スリットと考えてよろしいですか。壁周囲スリット採用の場合、壁周囲スリットの詳細は、S-09 図の構造スリットに倣うと考えてよろしいですか。	プレストレストコンクリート梁に RC 壁が取り付く箇所全てに適用してください。 壁周囲スリットとしていただき、要領は S-09 に準じてください。
816		S-1	柱帯筋について 確認になりますが、構造特記仕様書、鉄筋工事帯筋に於いて、柱帯筋は H 型と有りますが、1F 柱帯筋は H 型でよろしいですか。	よろしいです。
817		S-22	耐圧板バルについて 基礎伏図右斜め斜線部のバルが耐圧板下端 1FL-4410 とありますが、地中梁寸法より、1FL-4510 と考えてよろしいですか。	よろしいです。

818		S-56	GDS1の配筋について デッキ複合スラブ設計・施工標準仕様書に於いて、配筋は異形鉄筋 D10-200 と有りますが、参考数量書細目内訳書 P27 溶接金網Φ 6x100x100 3791m ² と有ります。配筋は異形鉄筋 D10@200 シングルと考えるとよろしいですか。	D10@200 でよろしいです。 なお数量中の溶接金網は押さえコンクリート等に使用するものとして計上しています。
819		S-53	鉄骨梁座屈補強筋について 鉄骨梁横座屈補剛工法片側スラブ 梁端部補強要領図に於いて、補強筋の形状が U 字形、V 字形、180° フック付きと有りますが、見積上は U 字形と考えるとよろしいですか。	よろしいです。
820		A-022	ピット水勾配増し打ちについて ピット平面図に於いて、水勾配が有りますが躯体の増打部にひび割れの配筋は必要でしょうか。必要場合配筋をご指示下さい。	厚さに応じて S-73 に準じて、配筋してください。
821		A-034 S-27	3階はね出しスラブについて 矩計図-2、X3+2500~3360 に RC はね出しスラブが有りますが、構造図に記載ありません。CS1 と考えるとよろしいですか。	跳ね出しスラブは不要としてください。
822		A-035 S-29	R階はね出しスラブについて 矩計図-3、K-1000 に RC はね出しスラブが有りますが、構造図に記載ありません。CS1 と考えるとよろしいですか。	よろしいです。

823	-	人通孔の梁貫通補強要領について 人通孔の梁貫通補強要領が不明です。補強要領をご指示下さい。	S-10 に記載の要領に準じてください。
824	-	鉄骨亜鉛メッキ リン酸処理について 参考数量書 P39 本体鉄骨と P62 ルーバー受け鉄骨にリン酸処理の記載が有りますが、図面上記載が有りません。リン酸処理は不要と考えてよろしいですか。	高力ボルト接合部の摩擦面にリン酸処理としてください。
825	S-82	Fデッキの表面処理の仕様について 床スラブリストの Fデッキに於いて、表面処理の仕様の記載がありません。溶融亜鉛メッキ Z12 と考えてよろしいですか。	よろしいです。
826	A-144	1F 階段室 E の腰壁 W170、H1000 について 断面リストが不明です。壁厚 t170、桁・コ D10 @200 ダブル、端部 2-D13 と考えてよろしいですか。	S-81 EX2 のとおり軸組図記載の W15 としてください。
827	A-144	階段室 E 上部のパラペットについて R 階平面図及び A-A 断面図より他のパラペットと形状が異なります。改めて、階段室 E 上部のパラペットの断面リストをご指示下さい。	一般部と同様の形状としてください。
828	A-144	ピットの水勾配について コンクリート増打によるものと考えてよろしいですか。その場合、t70 を超える範囲に補強筋 D10 @200 単筋が必要と考えてよろしいですか。	よろしいです。

829		A-144	屋根の水勾配について 1/50 勾配は構造図よりスラブ勾配とし 1/100 勾配はコンクリート増打によるものと考えてよろしいですか。	よろしいです。
830		A-144	屋根 E EX2 通りの三角形状増打について B-B 断面に於いて、屋根 E EX2 通りに三角形状の増打がありますが、補強筋は D10 @200 毎アシングルと考えてよろしいですか。	よろしいです。
831		A-144 S-81	防火水槽部の人通孔について A-144 図ピット階平面図では無しですが、S-81 図基礎伏図では有りとくい違いが有ります。人通孔は不要と考えてよろしいですか。	質問番号 232 の回答を参照ください。
832		A-065 S-3	梁の耐火被覆範囲について 構造特記仕様書、耐火板張りに於いて、耐火板張り天井伏図による(2階屋外市民活動スペース軒天梁と有りますが、天井伏図では鉄骨梁ロックワールの上、アルミカットパネルです。意匠図を正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
833		A-053	議場廻り柱耐火被覆について 4階平面詳細図、X1/Y6・Y7 通り柱にケイカルと図示有りますが、X1・X3/Y8~Y5 の SC2・SC3・SC4・SC7 にケイカルの指示がありません。ケイカルの指示なき柱はロックワールでよろしいですか。	質問番号 538 の回答を参照ください。

834		S-83	駐輪場及び駐車場屋根基礎の地盤改良について S-83 図コンクリート部材共通事項で、基礎梁下も地盤改良の記載が有りますが、軸組図では独立基礎下のみに地盤改良の記載です。基礎梁下は地盤改良無しで捨コン t50・砕石 t60 程度と考えてよろしいですか。	よろしいです。
835		S-83	多目的駐車場基礎 F33 について 独立基礎 F33 の断面リストの記載が有りません。F34 に読み替えてよろしいですか。	H×B×D=500×1500×1500 としてください。
836		A-146 S-83	車寄せ屋根基礎について A-146 図に車寄せ屋根の記載が有りますが、S-83 図に車寄せ屋根の記載が有りません。車寄せ屋根の構造図をご指示下さい。	車寄せ屋根は既成品のため、構造図はありません。 A-146 の仕様に準じてください。
837		A-146 S-83	多目的駐車場屋根の基礎について A-146 図に記載の基礎と S-83 図に記載の基礎で断面等がくい違います。構造図が正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
838		A-003	モックアップ 製作の有無について 特記仕様書に指示がありませんので、不要と考えてよろしいですか。必要な場合は図面より該当する範囲をご指示下さい。	よろしいです。
839		A-003 A-004	防水水張試験・散水試験の有無について 必要な場合は、試験内容・試験時間等の詳細をご指示下さい。	時間：24 時間、48 時間 箇所：全面、ルーフトレイン廻り より選択してください。

840		A-025 A-028	<p>曲面型枠を使用する範囲について 参考数量書 P32 で 65.5m² の曲面型枠がありますが、範囲は下記の通りと考えてよろしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋根 1 サークル広場側^ハラ^ハット立上り ・ 屋外階段 B 廻り 	よろしいです。
841		A-018 A-113	<p>各屋根防水保護^ハネ^ハの仕様について 仕上表では田島ルフィング^ハハリキャップ^ハ 同等ですが、部分詳細図-2/D-18 では PLS-2・BC と仕様が食い違っています。仕上表より田島ルフィング^ハハリキャップ^ハ 同等を正と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
842		A-017	<p>外壁亀裂誘発目地の数量について 仕上特記仕様書に「※外壁の化粧目地・伸縮調整目地割付は、立面図による」とありますが 立面図の図示では 1・2F の大半が化粧コンクリートブロック積・3F 以上が乾式外壁のため、参考数量書 P72 の亀裂誘発目地^ハリング^ハ 945m が確認出来ませんでした。化粧コンクリートブロック裏面の RC 壁にも誘発目地が必要なのでしょうか。改めて亀裂誘発目地の位置・割付をご指示下さい。</p>	化粧コンクリートブロックの裏面の RC 壁には必要ありません。
843		A-018 A-113	<p>各屋根立上り高反射率塗料塗布の仕様について 仕上表では田島ルフィング^ハSP^ハ ファインカラー A-122 同等ですが、部分詳細図-2/D-18 では SP^ハ ファインコート PLV-2T と仕様が食い違っています。仕上表</p>	よろしいです。

			より田島ルーフィング:SP ファインカー A-122 同等を正と考えてよろしいですか。	
844	A-018 A-112	屋根 3 防水の仕様について 仕上表では露出断熱防水(DI-1)ですが、部分詳細図-1/D10 では防水押えコンクリートの図示となります。仕上表より露出断熱防水(DI-1)とし、断熱材の厚みは t 75 と考えてよろしいですか。	よろしいです。	
845	A-054	屋根 3 縦樋の仕様について PH 階平面詳細図-1 より DP65φとありますが、∠凡例より VP 管と考えるとよろしいですか。	よろしいです。	
846	A-028	屋根 3 丸環の有無について PH 階・R 階平面図で屋根 3 平面図記載の▽は構造スリットの凡例ですが、屋根 1 と同様に丸環(▽に○)の誤記と考えるとよろしいですか。	よろしいです。	
847	A-033	屋根 1 目隠し壁の仕様について 矩計図-1 より有孔溝型鋼板 t2.0 W250@300 とありますが、ファイブア MN 型 W250xH60 同等と考えるとよろしいですか。	よろしいです。	
848	A-033 A-114	屋根 1 パラペットの納まりについて 矩計図-1 ではアルミ笠木の図示が無しですが、部分詳細図-3/D-27 ではアルミ笠木ありと食い違っています。矩計図-1 よりアルミ笠木の図示が無	よろしいです。	

			しを正と考えてよろしいですか。	
849		A-052 A-054	屋根1ルーフトレインの仕様について PH階平面詳細図-1よりX9/Y1通りがRD65φとありますが、4階平面詳細図-1では樋がφ75になります。RDはφ75に読替てよろしいですか。	よろしいです。
850		A-053 A-055	4F展望テラス柱型頂部の納まりについて 塞ぎ材等の仕様・詳細を図示にてご指示下さい。	S-13に準じ塞ぎプレート(=通しダイアフラム)を設けてください。
851		A-053	テラス4-1について 4階平面詳細図-2よりルーフトレインが1系統ですが、オーバーフロー管が必要な場合は、仕様・納まり詳細を図示にてご指示下さい。	テラス4-1はオーバーフロー管不要です。
852		A-048 A-050 A-052	テラス4-4 雨水経路について 2階平面詳細図-1より図示が確認出来ません。配管経路を図示にてご指示下さい。	X4-Y2の樋に接続するものとしてください。
853		A-033 A-120	4Fアルミバルコニー軒天鼻先PC面の仕上について 浸透性保護塗装は四周全てに施しますか。	屋外に面する全ての面としてください。
854		A-033	3Fバルコニー防水立上りについて 建物側はH150程度立上げるものと考えてよろしいですか。	よろしいです。

855		A-033 A-050 A-051	3Fバルコニーフロアトレインの仕様について 矩計図-1より横引型RD75φとありますが、3階平面詳細図-1・2ではRD100・125φと食い違っています。3階平面詳細図-1・2よりRD100・125φを正と考えてよろしいですか。	3階外周のバルコニーに設置するRDは横引き型とし、径は平面詳細図を正としてください。
856		A-048	2F市民活動スペースについて 2階平面詳細図-1よりX4/Y2～3通りにCB FL+600までと指示がありますが、ALC板との取合い納まり詳細を図示にてご指示下さい。	A-112図のD-02「PH階議場部防水立上り」の断面を参照いただき、この断面の顎が無くコンクリート面の外側に化粧コンクリートブロックを積むものとしてください。また、コンクリート立ち上がり壁には室内側に断熱材t50mmを吹付とします。
857		A-018 A-115	2F市民活動スペース柱型化粧パネルの仕様について 仕上表ではアルミカットパネルはBA-1種(アルミシルバーマット)ですが、部分詳細図-4/D-33ではFEBと仕様が食い違っています。部分詳細図-4/D-33よりFEBを正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
858		A-115	2F市民活動スペース柱型化粧パネル廻り防水の仕様について 部分詳細図-4/D-33より塗膜防水(D-1)とありますが、アスファルト防水と読替えて考えてよろしいですか。	市民活動スペースの他の部位と同様に立上りをウレタン塗膜防水とした防水立上り部塗膜防水併用工法(D-1)としてください。

859		A-049 A-102	2F ELV4について 2階平面詳細図-2より壁記号がALCとありますが、建具詳細図-8では全面がラスと思われます。ALCは不要と考えてよろしいですか。	平面詳細図下部の図中表記凡例をご確認ください。天井懐の仕様を示しています。
860		A-048	2F ガスボンベ置場について 基礎が必要な場合はサイズ・納まり詳細を図示にてご指示下さい。	全て機械設備工事としてください。
861		A-043 A-047	1F 北出入口ポーチ 視覚障害者用床材について 1階平面詳細図-1と屋外階段A詳細図で割付が食い違います。1階平面詳細図-1を正と考えてよろしいですか。	屋外階段A詳細図を正としてください。
862		A-044 A-047	屋外階段B 視覚障害者用床材について 1階平面詳細図-1と屋外階段B詳細図で割付が食い違います。1階平面詳細図-1を正と考えてよろしいですか。	屋外階段B詳細図を正としてください。
863		A-045	屋外階段C 排水溝の仕上について 床同様防水モルタル金鍍仕上と考えてよろしいですか。	段床端部の側溝についてはよろしいです。
864		A-045	屋外階段Cについて 屋外階段C詳細図よりチェーンの指示がありますが、仕様をご指示下さい。	質問番号53の回答を参照ください。

865		A-019 A-064	外部通路1・2軒天井の仕上について 仕上表-2では内装薄塗材Eですが、天井伏図-1では凡例⑩外装薄塗材Eと仕様が食い違っています。天井伏図-1より凡例⑩外装薄塗材Eを正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
866		A-018	1F保健センター・東出入口ポーチ防水立上りについて 仕上表より立上りの指示がありませんが、防水保護材の仕様をご指示下さい。	FL+200mmまで立ち上げ、保護モルタル t30 としてください。
867		A-046	1F保健センターポーチについて 1階平面詳細図-1よりエキスパンションジョイント金物面に排水溝の指示がありますが、納まり詳細を図示にてご指示下さい。	W100×H100、モルタルとし、排水目皿 50φ各1か所、SGP50φで免震ピット外周排水溝に排水としてください。
868		A-018	1F保健センター出入口について 仕上表より屋根:アルミハカムパネルの指示がありますが、範囲・納まり詳細を図示にてご指示下さい。	A-146図に準じてください。
869		A-131	免震エキスパンションジョイント金物について 免震エキスパンションジョイント参考図よりB・D部詳細で705x1265部がD部詳細ではコンクリートショットブラスト仕上とありますが、下地構成・納まり詳細を図示にてご指示下さい。	特別な骨材等は不要のため、A-131図に記載のとおりです。

870		A-129	外壁化粧コンクリートブロック積の納まりについて 化粧コンクリートブロック参考図より 2FL より上部は RC 壁ではないようですが、下地構成をご指示下さい。	A-129 図に記載のとおりです。また、間柱位置は 2 階平面詳細図-1, 2 に準じてください。
871		A-033 A-098	外壁化粧コンクリートブロック積頂部水切笠木の厚みについて 矩計図-1 では t2.0 ですが、建具詳細図-4 では t2.5 と食い違いますが。矩計図-1 より t2.0 を正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
872		A-036 A-129	2F サッシ上部天井ふところ内区画壁の仕様について 矩計図-4 ではアルミパネ t2.0 ですが、化粧コンクリートブロック参考図では溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 とあります。2F 天井ふところ内の塞ぎ材は矩計図-4 よりアルミパネ t2.0 に統一して考えてよろしいですか。	図示のとおり、AW 上部はアルミパネル t2.0 とし、化粧コンクリートブロック上部は溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 としてください。
873		A-101	サッシ上部軒天井廻りについて 建具詳細図-7 よりフラッシングパネ SUS t0.8HL の指示がありますが、施工範囲を図示にてご指示下さい。	GCW201 上部としてください。また、平面詳細図にある天井懐の GCW201 上部の ALC については、不要です。
874		A-065	アルミ格子天井部 天井点検口について 天井伏図-2 より指示がありますが、仕様をご指示下さい。	メーカー仕様のとおり、着脱式としてください。
875		A-015	床 F18 ショットブラスト仕上について エレメント図-1 より指示がありますが、防水押えコンクリート面に施すもので	F18 と記載のある範囲及び、文言にてショットブラスト仕上げと特記の

			しょうか。	ある範囲としてください。
876		A-114	手摺 D の納まりについて 部分詳細図-3/D-26 より手摺とスラブの取合いに水切カバーの様な図示があり且つシーリングの上超速硬化ウレタン塗膜防水と指示がありますが、カバーの仕様をご指示下さい。 又、同図 D-31 も同様にご指示下さい。	カバーではなく、コンクリート躯体となります。フロアドレイン部も同様にカバーはなく、コンクリート躯体にてスラブ先端の St-FB t 12×195 の見切りに取り合うよう立ち上げを設けてください。
877		A-114	手摺 D 部の納まり詳細について 部分詳細図-3/D-26 より堅樋：SGP50A L140 とありますが、垂れ流しでしょうか。異なる場合は配管経路を図示にてご指示下さい。 (同図 D-31 含む)	垂れ流しと考えています。
878		A-046 A-114	手摺 F の納まりについて 部分詳細図-3/D-32 より手摺側に排水ピット蓋の図示がありますが、1 階平面詳細図-1 では範囲が判断しかねます。手摺 F の範囲全てと考えてよろしいですか。	よろしいです。
879		-	スチールの亜鉛メッキリン酸処理の有無について 参考数量書 P86 などでリン酸処理の記載がありますが、図面では見当たりません。必要な範囲がありましたら、施工範囲をご指示下さい。	該当箇所はありません。

880		A-033	<p>ALC 外壁貫通ダケ外について 矩計図-1 より詳細がありますが、貫通か所を図示にてご指示下さい。</p>	<p>貫通箇所を図示した図面はありません。 箇所数は 120 か所としてください。</p>
881		A-112	<p>ALC～スラブ 取合 層間塞ぎについて 部分詳細図-1/D-10 より後打コンクリートとありますが、ロックウール充填に読替えて考えてよろしいですか。</p>	<p>後打ちコンクリートとしてください。</p>
882		-	<p>参考内訳書について 下記の項目ですが、範囲が確認出来ません。必要な場合は施工範囲を図示にてご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 防水工事:サ-クル広場側谷樋(6.0m)+落口 ② 屋根工事:アルミ縦樋 φ 125 ③ 金属工事:ALC-杉小幅取合止水パネ(2.9m) ④ 金属工事:化粧 CB-ALC 取合水切(12.5m) ⑤ 金属工事:タラップ 	<p>範囲は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①-28 図中央の笠木 A より吹き抜け側の屋根に 3 か所 ②2 階 X3 通り Y10 通り柱際のアルミ製縦樋 125 φ ③A-041 図断面図に記載の、X2 通りから 3000mmの位置の 2 階天井懐にある ALC と天井間の止水パネル ④2 階 X4-5 間、Y1-2 間ALC + ALC カットパネルと化粧CB取合い部 ⑤PH階・R階平面詳細図- 1 X 1 1 / Y 2 付近のタラップ

883		A-018	<p>下記材料について メーカー指定無しと考えてよろしいですか。品番の指定がありましたら、ご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 外壁:ALC 板 ② サークル広場側庇:シート防水 ③ 屋根 2: 金属屋根 ④ 遮光ルーバー張 ⑤ コンクリート平板 ⑥ 免震エキスパンションジョイント金物 ⑦ 3Fバルコニー:救助袋 ⑧ 視覚障がい者誘導ブロック ⑨ 防潮板 	<p>設計図書に記載のあるとおり、同等品としてください。また、設計図書に記載のないものは、メーカー・品番の指定はありません。</p>
884		A-113	<p>地流しライニング下地について 部分詳細図-2/D-16 よりコンクリートブロックと思われますが、A種 t100程度と考えてよろしいですか。</p>	<p>C種 t=100程度としてください。</p>
885		A-144	<p>下記材料について メーカー指定無しと考えてよろしいですか。品番の指定がありましたら、ご指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地流し壁:108x60 角タイル張 ② 外壁: DP 塗 ③ 消火器ボックス 壁掛型 	<ul style="list-style-type: none"> ① メーカー・品番の指定はありません。 ② メーカー・品番の指定はありません。 ③ A-018 図に準じてください。

886		A-001 A-017	天井 LGS の仕様について 仕上特記仕様書 天井仕様の分類で耐震天井が該当無しの記載とな っていますが、水平震度 Kh1.0、垂直震度 Kv0.5 にて補強を見込ん でよろしいですか。	設計図書の記載のとおりとしてくだ さい。
887		A-016	壁見切-3 の塗装について 堅木練付材面に UC 塗装を見込むと考えるとよろしいですか。	よろしいです。
888		A-005 A-015	セルフベリングについて 特記仕様書-3 左官工事③にセメント系セルフベリングの記載がありま すが、エレメント図ではセルフベリングの記載はありません。施工精度が確保 できればエレメント図の床コンクリート直均しを正と考えるとよろしいですか。 否の場合はセルフベリングの範囲をご指示下さい。	セルフベリングとしてください。 範囲は、ゴム床タイル敷に適用する ものとします。
889		A-015 A-017	二重床下地の防塵塗装について 仕上特記仕様書の特記事項にリアクセスフロア下の床面には防塵塗装を見 込むと記載がありますが、エレメント図には記載がありません。OA フロ ア・乾式二重床・木床組下には防塵塗装(ABC 商会:OA クリアコート)を見 込むと考えるとよろしいですか。	よろしいです。また、メーカー・品 番の指定はありません。
890		A-015	壁 人工木材目透かし張の仕様について エレメント図 1 と議場詳細図-3(仕上 A)で仕様がくい違います。議場詳 細図-3 を正と考えるとよろしいですか。	よろしいです。

891		A-119	<p>1F 梁集成材張の目地棒について C 部詳細図に目地棒の記載がありますが、下記についてご指示下さい。</p> <p>1) 目地棒の仕様をご指示下さい。 2) RC 柱取合部の他に他のタイプの梁との取合部にも目地棒が必要と考えてよろしいですか。 3)</p>	<p>1) タモ材としてください。 A-119 図、D-139 図の梁型見上げ断面詳細図に示すとおり、2 辺としてください。</p>
892		A-119	<p>1F 梁集成材張の塗装について 部分詳細図に珪材の塗装の記載がありません。OSCL を見込むと考えてよろしいですか。</p>	<p>UC としてください。</p>
893		A-015	<p>防水押え・嵩上コンクリート内のワイヤメッシュについて エレメント図 F8・15 に φ6.2-100x100 の記載がありますが、規格品ではない為 φ6.0-100x100 に読み替えてよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
894		A-015	<p>床 F14 と F15 の取合部について 待合 1-1 と 1-3 間などで F14(床輻射冷暖房パネル)と F15(嵩上げコンクリートの上 C 研磨仕上)が取合いますが、取合部に F20 の RC 立上りと見切り材を見込むと考えてよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
895		A-018 A-043	<p>総合案内の RC 壁面 SCC について 仕上表では SCC 塗装ですが、屋外階段 A 詳細図では ACC 塗装とくい違います。ACC 塗装は誤記とし、SCC 塗装を正と考えてよろ</p>	<p>メーカー・品番の指定はありません。 また、ACC は SCC に読み替えてく</p>

			<p>しいですか。</p> <p>否の場合は ACC 塗装のメーカー・品番・仕様をご指示下さい。</p> <p>又、図面上 ACC 塗装と記載があるものは全て SCC 塗装と読み替えてよろしいですか。</p>	<p>ださい。</p>
896		A-018	<p>風除室 沓拭マットについて</p> <p>メーカー・品番をご指示下さい。</p>	<p>メーカー・品番の指定はありません。</p>
897		A-018 A-019	<p>1F 自販機コーナーの床・天井仕上について</p> <p>自販機コーナーと廊下 1-4・5 は連続した空間ですが、床・天井仕上が仕上表で異なります。廊下 1-4・5 と同じ仕上に読み替えてよろしいですか。</p> <p>否の場合は床(ビニル床タイル A)と天井(化粧石膏ボード)の範囲をご指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
898		A-019 A-042 A-064	<p>待合 H1-1 の天井高について</p> <p>仕上表・天井伏図では CH2600 ですが、階段 D 詳細図では CH2900 とくい違います。CH2600 を正と考えてよろしいですか。</p>	<p>CH2600 を正としてください。</p>
899		A-019	<p>ELV ホール 1-2 の床仕上について</p> <p>仕上表ではゴム床タイルですが、連続している空間の廊下 1-3 に倣い C 研磨仕上に読み替えてよろしいですか。</p>	<p>ELV ホール 1-2 の範囲はゴム床タイルとしてください。仕上げの境界は X10 通りから 450mm の位置として</p>

			否の場合、ゴム床タイプの範囲が読み取れません。範囲をご指示下さい。	ください。
900		A-064	風除室 1・待合 1-1 間の天井仕上について 風除室 1 側(CH2900)と待合 1-1 側(CH3250)との取合折上げ部の仕様が不明です。又、下部の建具を含めて収まり詳細をご指示下さい。	A-105 図の風除室 1 側観図に準じてください。
901		A-044 A-064	待合 1-1 X3 通り梁廻りの仕上について 屋外階段 B 詳細図で X3 通りの梁型 A-3 と杉小巾板目透かし梁部の取合に図示がありますが、詳細が不明です。梁型の収まりと梁下の下り壁の仕様をご指示下さい。	梁型納まりは天井伏図を参照ください。 下がり壁は GB-Rt12.5+12.5 EP としてください。
902		A-049	執務室 2-A の H2300 壁の天端仕上について X10~11/Y8~9 通り間の FL+2300 までの壁の天端仕上、又は笠木が必要な場合は仕様をご指示下さい。	壁仕上と同仕様としてください。
903		A-049 A-070	執務室 2-A の鉄骨柱仕上について 展開図-3 D 面 Y8 通りに耐火塗装の上塗装と記載がありますが、平面詳細図では耐火塗装のみとくい違います。耐火塗装表しを正と考えてよろしいですか。更に塗装を見込む場合は塗装の仕様をご指示下さい。	よろしいです。

904		A-048	廊下 H2-1 の H3000 壁の天端仕上について X4~6/Y3~4 通り間の指導室倉庫廻りの FL+3000 までの壁天端仕上、又は笠木が必要な場合は仕様をご指示下さい。	A-036 図のとおり、上階スラブまで壁を立ててください。
905		A-020 A-066	廊下 3-4・3-5 の天井高について 仕上表では CH2750 ですが、天井伏図では CH2850 とくい違います。CH2850 を正と考えてよろしいですか。	質問番号 167 の回答を参照ください。
906		A-066	市民相談室前室のアル格子天井範囲について アル格子範囲天井と待合 3-1 の EP 天井の境界が読み取れません。範囲をご指示下さい。 又、EP 天井と同レベルで取合いますが見切り材が必要な場合は仕様をご指示下さい。	市民相談室前室天井は①石膏ボード EP としてください。
907		A-066	執務室 3-A~C、待合 3-1 の梁型 D について EP 天井部(CH2850)及び岩綿吸音板(CH2750)範囲の梁型 D 収まりが読み取れません。天井と輻射冷暖房パネルとの取合、天井内の梁型に直天井部と同等にスチールパネルと下地鉄骨が必要か等、収まり詳細を具体的にご指示下さい。	質問番号 621 の回答を参照ください。
908		A-073	執務室 3-A 防煙垂壁設置部の梁型 D について 展開図-6 C 面 X4 通りに異形の梁型の図示がありますが、詳細が不明です。防煙垂壁設置部の梁型 D 収まり詳細をご指示下さい。	A-073 図に示す形状に St-PLt1.6 SOP 仕上としてください。

909		A-132	廊下 4-6 の梁型仕上について A-132 図展開図 D で X3 通りの梁型仕上は内装薄塗材 E(下地 PBt12.5+12.5)と考えてよろしいですか。	よろしいです。
910		A-021 A-036 A-067	廊下 4-3 の天井高について 仕上表・矩計図 4 では CH2700 ですが、天井伏図では CH2850 と くい違います。CH2700 を正と考えてよろしいですか。	質問番号 169 の回答を参照ください。
911		A-016 A-067	廊下 4-7・傍聴ホール間の天井仕上について 天井伏図で⑰天然木練付板(タモ目突板不燃処理)と記載がありますが、 詳細がエレメント図にありません。下記についてご指示下さい。 1) 厚み・及び天井下地の仕様をご指示下さい。 2) ⑰部の CH をご指示下さい。 3) 取合う傍聴ホール・廊下 4-7・廊下 4-6 の CH が全て異なりますが、 ⑰部との収まりが読み取れません。収まり詳細をご指示下さい。	1) GB-Rt12.5+天然木練付板 t9 と してください。 2) CH2,950 としてください。 3) 各室壁面と同仕上の下がり壁と してください。
912		A-067	ラウンジ 4-1 の X8 通り天井仕上について 天井伏図で①石膏ボード EP の記載がありますが、下記についてご 指示下さい。 1) X8 通り①部の CH をご指示下さい。 2) 直天井部(CH3650)との収まりが不明です。収まり詳細をご指 示下さい。	下記のとおりとしてください。 1) 2850 としてください 2) 梁型 E に準じてください 3) 同面となります

			3) 折上部(CH2850)との収まりが不明です。収まり詳細をご指示下さい。	
913		A-053	ラウンジ 4-1 の柱ケイカル板について 平面詳細図にケイカル板と記載がありますが、耐火被覆のケイカル板を指すものとし、ケイカル面に EP 塗装を見込むと考えてよろしいですか。 又、各階に柱型ケイカル板の記載がある場合も同様の考え方でよろしいですか。	よろしいです。
914		A-020 S-28	執務室 4-A の床レベルについて 仕上表の床レベルに(-140)と記載がありますが、範囲が不明です。 又、構造伏図にも-140レベルの図示はありません。床レベル-140の範囲と意図を具体的にご指示下さい。	FL-100 が正となります。
915		A-053	待合 4-1 の H2300 壁の天端仕上について X9~10/Y8~9 通り間の FL+2300 までの壁の天端仕上、又は笠木が必要な場合は仕様をご指示下さい。	壁仕上と同仕様としてください。
916		A-067	執務室 4-A の梁型 D について X11 通りの岩綿吸音板(CH2850)部と梁型 D の収まりが読み取れません。天井と輻射冷暖房パネルとの取合、天井内の梁型に直天井部と同等にスチールパネルと下地鉄骨が必要か等、収まり詳細を具体的にご指示下さい。	質問番号 621 の回答を参照ください。

917		A-132 A-134	<p>傍聴席の壁仕上について</p> <p>平面詳細図で Y8 通りの親子傍聴席対面側から先が内装薄塗材 E となっていますが、A-134 図部分詳細図 C 断面図の通り CH2950 の範囲は天然木練付不燃板 t6.0 と考えてよろしいですか。</p> <p>又、天然木練付の仕様は劇場廻り壁仕上 B に倣うと考えてよろしいですか。</p>	CH2950 の範囲は天然木練付不燃板 t9.0 とし、仕様は劇場廻り壁仕上 B に準じてください。
918		A-134	<p>傍聴席の立上り見切材について</p> <p>A-134 図 C 断面図で W30 の見切りの記載がありますが仕様が不明です。珪材 UC 塗装と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
919		A-105 A-134	<p>親子傍聴席の木床組について</p> <p>木材種の記載がありません。畳下の木床組に倣い杉材と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
920		A-134	<p>親子傍聴室の階段側板について</p> <p>階段側板についても踏面・蹴込と同様に構造用合板 t12 の上、カーペット敷きと考えてよろしいですか。</p> <p>その他に下地等が必要な場合は仕様をご指示下さい。</p>	檜集成材 t25UC としてください。
921		A-134	<p>親子傍聴席の腰壁見切について</p> <p>塩化ビニル製の腰壁見切を見込むと考えてよろしいですか。又、メーカー・品番・仕様の指定があればご指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p> <p>また、メーカー・品番の指定はありません。</p>

922		A-134	親子傍聴席の壁 GW 充填について 仕様が不明です。天井と同じ t25 32kg/m ³ と考えてよろしいですか。	よろしいです。
923		A-134	親子傍聴席の梁型仕上について A-134 図 D 断面図 Y8 通りの梁型仕上が不明です。上部壁に倣い有孔ケイカル板 t6.0 EP/サランネットの上、GW 充填と考えてよろしいですか。	よろしいです。
924		A-133	議場スロープの見切縁について 見切縁の有無が不明です。見切縁が必要な場合は仕様をご指示下さい。	床見切は不要です。
925		A-134	議場底の仕様について A-134 図 D 断面図の A 部断面に底の図示がありますが、親子傍聴席内の底下面の仕様が不明です。詳細をご指示下さい。	A-016 図 C9 に倣い岩綿吸音板仕上としてください。
926		A-018 A-134	天然木練付板について A-018 図材料凡例ではホクサンですが、A-134 図仕上 A・B 詳細図では内外テラスとくい違います。ホクサンを正とし品番はハンジヤット同等と考えてよろしいですか。	よろしいです。
927		A-017	外壁内側のひび割れ誘発目地について A-017 図では内部側にも誘発目地の記載がありますが、A-113 図	内部側も必要となります。 ただし内部側はシーリング不要で

			<p>/D-11 では図示が無く、くい違います。内部側には誘発目地は不要と考えてよろしいですか。</p> <p>否の場合は範囲とピッチをご指示下さい。</p>	<p>す。</p> <p>ピッチは質問番号 388 の回答を参照してください。</p>
928		A-069 A078	<p>相談室 1-1～1-5 レクニャンバー面の壁仕上について</p> <p>1F 部分詳細図では有孔けい酸カルシウム板 t 6.0+EP とありますが、展開図では壁:内装用 OSB とあり食い違います。1F 部分詳細図を正と考え、有孔けい酸カルシウム板 t 6.0+EP としてよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
929		A-019 A-049	<p>2F キッズスペースの床仕上について</p> <p>仕上表ではコルクタイルとありますが、平面詳細図ではタイルカーペット B とゴム床タイルとあり食い違います。仕上表を正と考え、全面コルクタイルと考えてよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
930		A-020 A-067	<p>相談室 4-2 の天井仕上について</p> <p>仕上表では岩綿吸音板一部デッキ表しの上 SOP とありますが、天井伏図では全面岩綿吸音板とあり食い違います。天井伏図を正と考えて、全面岩綿吸音板としてよろしいですか。否の場合は、デッキ表しの上 SOP の範囲をご指示ください。</p>	<p>よろしいです。</p>
931		A-020 A-052	<p>4F 電気室の機械基礎について</p> <p>仕上表の備考欄に機械基礎とありますが、平面詳細図に記載がありません。必要な場合は大きさをご指示下さい。</p>	<p>質問番号 194 の回答を参照してください。</p>

932	A-036 A-021	4F 議員控室 5 の天井仕上について 矩計図の天井ふところ内に天井:デッキスラブ 表しの上 SOP とありますが、天井仕上が岩綿吸音板ですので誤記と考えてよろしいですか。	よろしいです。
933	A-033 A-34	アルミ格子天井内デッキ面の塗装について 矩計図では、デッキスラブ 表しの上 SOP と指示がある場合と無い場合がありますが、デッキ面は全て SOP を見込むと考えてよろしいですか。	よろしいです。
934	A-033	上記質疑に関連しまして、デッキ面にグラスウールボードの指示がある場合は、SOP は無しと考えてよろしいですか。	よろしいです。
935	A-048	前室 H2-1 の床見切りについて 平面詳細図に床見切とありますが、床仕上げは一面ゴム床タイルとあり、仕上の取合は無いと考えます。誤記と考えてよろしいですか。	A-048 図のとおり、床見切りを設けてください。
936	A-015	畳敷きの下地防腐剤について エレメント図に湿気の多い場合は下地及び合板裏側に防腐剤を塗布するとありますが、今回は適用無しと考えてよろしいですか。	よろしいです。
937	A-019~ A-20 A-065~	天井高について 天井伏図と仕上表で以下の様に食い違っています。 仕上表を正と考えてよろしいですか。	天井伏せ図を正としてください。

		A-066	部屋名 仕上表 天井伏図 2F 物置 H2500 H3000 2F 倉庫 H3000 H3950 2F キッチンスペース H2800 H3200 3F 倉庫 3-3・4 H2600 H2750	
938		-	下記の部材についてメーカー指定は無しと考えてよろしいですか。必要であれば品番をご指示下さい。 1) 風除室床 塗膜防水 Y-2 2) 防塵塗装(2液形ウレタン樹脂床用エナメル) 3) OA フロー A 4) OA フロー B 5) 乾式遮音二重床 6) フレキシブルボード 7) 化粧けい酸カルシウム板 8) 有孔けい酸カルシウム板 9) サラネット 10) マリン化粧合板 11) 木毛セメント板 12) 岩綿吸音板 13) グラスウールボード	メーカー・品番の指定はありません。

939	A-021 A-038	階段室 A の床仕上について 仕上表ではゴム床タイルですが、階段室 A 詳細図の 1F 平面詳細図では床仕上が C 研磨仕上とくい違います。C 研磨仕上を正と考えてよろしいですか。	A-038 図に記載のとおり 1 階 FL 床面は C 研磨仕上を正としてください。
940	A-038 A-047	階段室 A の 1F Y9 通り側の壁について 階段室 A 詳細図の断面詳細図で、1F Y9 通り側の耐火間仕切壁面にカギ壁のような図示があります。1F のみ、天井までの LGS+石膏ボード t12.5+12.5 のカギ壁が必要と考えてよろしいですか。	よろしいです。
941	A-039 A-040 A-046	階段室 B の 1F Y3 通り側の壁下地について 1F 平面詳細図及び階段室 B 詳細図の 1F 平面詳細図では、Y3 通り側の壁は RC 面にカギ壁で L1 となっていますが、階段室 B 詳細図の断面詳細図では RC 壁のみとくい違います。平面詳細図を正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
942	A-021 A-040	階段室 B の 1F RC 壁面(壁種:C0)の壁仕上について 階段室 B 詳細図の断面詳細図で、1F に「壁:RC の上 EP-G」とありますが、階段室 B の壁仕上は EP とくい違います。EP を正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
943	A-021 A-040	階段 B の鉄骨部踏面の仕上について 仕上表及び階段室 B 詳細図の鉄骨部段部詳細図では踏面の仕上が	よろしいです。

			ゴム床タイルですが、鉄骨部壁付手摺詳細図ではフローリング A とくい違います。ゴム床タイルが正と考えてよろしいですか。	
944		A-021 A-041	階段室 C の 1F 床仕上について 仕上表ではゴム床タイルですが、階段室 C 詳細図では 1F 床仕上が C 研磨仕上とくい違います。階段詳細図を正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
945		A-021 A-041	階段室 C の壁仕上について 仕上表では EP のみですが、階段室 C 詳細図の断面詳細図では EP・ACC・化粧コンクリートブロックの記載があり、くい違います。断面詳細図を正とし、各仕上範囲を下記のように考えてよろしいですか。 又、見切が必要な場合は詳細をご指示下さい。 ・C 塗装の上 ACC・・・1FL～2FL までの Y4 通り側 RC 壁面(壁種:C0) ・化粧コンクリートブロック・・・2FL～3FL までの Y4 通り側(壁種:CB) ・RC の上 EP・・・X2・3 通り側の RC 梁側面 ・石膏ボードの上 EP・・・上記以外の範囲	よろしいです。 ACC は SCC と読み替えてください。
946		A-017 A-019 A-041	上記質疑に関連し 階段室 C 詳細図で、1F Y4 通り側の壁に「C 塗装の上 ACC」とありますが、ACC の詳細が不明です。隣接する廊下 1-5 に倣い SCC と読み替えてよろしいですか。否の場合は、詳細をご指示下さい。	よろしいです。

947		A-041	<p>階段室 C の 2F 壁下地について 階段室 C 詳細図の断面詳細図に「横胴縁 St □-100x100x2.3 通し・縦胴縁 St □-100x100x2.3@600」の図示がありますが、X2 通り側 (H740)・X3 通り側(H850 程度)のみとし、Y3 通り側には不要と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
948		A-041 S-28	<p>階段室 C の 4F デッキスラブ ~ 踏面の取合位置について 階段室 C 詳細図の断面詳細図では、4F ランジ 側のデッキスラブ 範囲が X3 通りの梁上までですが、構造図では X3-1000 程度までデッキがあり、くい違います。構造図のデッキスラブ 範囲を正と考えてよろしいですか。</p>	構造図を正としてください。
949		A-021 A-041	<p>階段 C の踏面の仕上について 仕上表及び階段室 C 詳細図の鉄骨部段部詳細図ではゴム床タイルですが、鉄骨部壁付手摺詳細図ではフローリング A とくい違います。ゴム床タイルが正と考えてよろしいですか。 又、段部詳細図で RC 部の図示がありますが、階段 C に RC 部の該当は無しと考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
950		A-019 A-021 A-042	<p>階段 D 踊場・踏面の仕上について 仕上表ではフローリング B ですが、階段 D 詳細図の階段部分詳細図ではフローリング A とくい違います。隣接する待合 H1-1 及び廊下 H2-3 に倣い、フローリング A を正と考えてよろしいですか。</p>	フローリング B を正としてください。

951	A-007 A-038 A-040 ~042	階段 ノスリップ [°] について ステンレス製ノスリップ [°] 金物 W35 既製品(ビ [°] コルタイ入)とありますが、メーカー・品番の指定があればご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。
952	A-022	雨水流出抑制槽の人通口・連通管・通気管について X6・X7 通りの基礎梁に人通口・連通管・通気管の記載がありませんが、マンホール・トラップ [°] が 1 か所ですので、X6・X7 通りにも人通口・連通管・通気管が必要と考えてよろしいですか。その場合、人通口+4 か所、連通管・通気管+28 か所と考えてよろしいですか。	マンホール+トラップを 2 か所追加してください。 X6・X7 通りに連通管・通気管+28 か所としてください。
953	A-116	ピ [°] ット内 連通管について 部分詳細図で 125φ 半割 2 か所とありますが、通気管 1 か所当り連通管を 2 か所見込むという事でしょうか。	通気管 1 か所当り連通管 1 か所を正とします。
954	A-021 A-022	汚水槽・非常用排水槽について 仕上表の汚水槽・非常用排水槽はピ [°] ット階平面図の雑用水槽・非常用汚水槽の事と考えてよろしいですか。	よろしいです。
955	A-093 A-100	AW-101~107 の額縁仕様について 建具表ではスチール製ですが、建具詳細図では天然木練付板です。天然木練付板を正と考えてよろしいですか。 又、AW-108・109 も同仕様と考えてよろしいですか。	よろしいです。

956		A-100	上記質疑の天然木練付板について 図示の練付板 5mm のみではサッシュへの取り付けが不可能です。何らかの下地材が必要と思われませんが、仕様をご指示下さい。	タモ 20×40 程度としてください。
957		A-016 A-095	窓廻りの膳板・額縁について エレメント図では、スチール t1.6 AEB ですが、建具詳細図ではスチール t1.6 SOP です。エレメント図を正と考えてよろしいですか。	建具詳細図を正としてください。
958		A-017	吹付断熱材の仕様について 仕上特記仕様書 特記事項で不燃・ノンフロンに記載がありますが、吹付断熱材は全て不燃断熱材と考えてよろしいですか。	よろしいです。
959		A-112	デッキスラブ SOP 塗装範囲の断熱材吹付について 4F 執務室等の天井で、屋上設備基礎下の断熱材吹付がありますが、上記同様に不燃断熱材と考えてよろしいですか。	デッキスラブ SOP 塗装範囲は吹付断熱材不要としてください。
960		A-015 A-021	スラブ上の増打コンクリートについて エレメント図(F3)で t10 の増打がありますが、仕上表よりピット内の床にも t10 の増打が必要と考えてよろしいですか。	よろしいです。
961		A-018	ゴム床タイル張の仕様について 仕上表でニチマンラバーテック ソフトブレン同等品(OAフロア部はチップス同等品)とありますが、乾式二重床部は OA フロア部と同様と考えてよろしいで	乾式二重床部はソフトブレンとしてください。

			すか。	
962		A-015 A-046	天然木練付板の厚みについて エレメント図(W9)では t9.0 とありますが、平面詳細図の壁種凡例では t6.0 とあり食い違います。 エレメント図を正と考えて t9.0 としてよろしいですか。	よろしいです。
963		A-035 A-037	3F 市民相談室のデッキ面について デッキ面に断熱材 t50 吹付とありますが、他部屋(栄養指導室等)に習い、断熱材面にグラスウールボード t50 32kg/m ³ を追加で見込むと考えてよろしいですか。	よろしいです。
964		A-049 A-059	間仕切符号の相違について WC2-1 階段室側間仕切は、平面詳細図では F1 ですが、便所詳細図では F3 とくい違います。平面詳細図が正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
965		A-018	ビクチャールについて 仕上表でアルマイシムバー 天井付 許容荷重 30kg/m と記載がありますが、メーカー名・品番が不明です。ご指示下さい。又、設置されるフックの数量もご指示下さい。	メーカー・品番の指定はありません。 フックは 6 カ所/m としてください。
966		A-064 ~067	カーテンレールについて 展開図で天井直付タイプと天井吊りタイプがある様に見え受けられます	保健センター範囲のみ天井吊タイプとしてください。

		A-070 A-073	が、天井伏図では使い分けはされていません。全て、天井直付タイプと 考えてよろしいですか。又、天井吊りタイプが必要な場合、その施工場 所・仕様をご指示下さい。	
967		A-049	2F 授乳室 2-1 の隔て板について 平面詳細図で隔て板 H2100(片引き戸:2 か所付)が記載されていま すが、メーカー名・品番・詳細が不明です。ご指示下さい。	文化シャッタープレフリーEA-50 同等としてください。
968		A-002 A-056 MP-002	HCWC の器具類について 共通特記仕様書の工事区分で一般便所のみ記載になっていま すが、便所詳細図・給排水衛生設備器具表より HCWC の鏡・手摺はトル パックに含むと考えるとよろしいですか。	よろしいです。
969		A-049 A-050 A-051 A-135	リフレッシュカウンターについて 木製造作家具詳細図で 2 階 W5980 1 台、3 階 W5370 1 台と記載が ありますが、平面詳細図では異なる寸法に思われます。木製造作家具 詳細図の寸法が正と考えるとよろしいですか。否の場合、改めて寸法を ご指示下さい。	よろしいです。
970		A-135	ウエスタン扉について 木製造作家具詳細図で 2 階 W1250 1 台と記載がありますが、平面 詳細図では設置場所が不明です。改めて、設置場所をご指示下さい。	X7-Y3 となります。A-026 図に準 じてください。

971	A-047 A-135	1F カウンターパーテーション A について 木製造作家具詳細図で設置個数が 29 台と記載がありますが、平面詳細図では 30 か所あります。平面詳細図が正と考えてよろしいですか。	A-135 図を正としてください。
972	A-071	2F 多目的室(軽体操室)の鏡について 展開図で鏡:t5 H2500 と記載がありますが、枠等は不要と考えてよろしいですか。又、必要な場合、仕様をご指示下さい。	薄型の SUS 製枠としてください。
973	A-118	3F 仮眠室(男・女)の洗面カウンターについて 部分詳細図で洗面カウンターの詳細が記載されていますが、正面図では甲板の仕様がメラミンポ スフォームと記載されていますが、断面図では人工大理石になっています。断面図が正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
974	A-138 A-143	サイン:IS40 掲示スペースについて サインリストで 1F に 1 か所と記載がありますが、サイン配置図では記載がありません。サインリストが正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
975	A-021 A-0.47	1F 授乳室 1-1 のおむつ交換台について 平面詳細図でおむつ交換台の記載がありませんが、1 か所必要と考えてよろしいですか。	よろしいです。

976		A-018	1F 洗濯室の物干しについて 仕上表で杉田エース室内用サンキング 400 同等品と記載がありますが、設置個数は2か所と考えてよろしいですか。	よろしいです。
977		A-072	2F 栄養指導室の机ボード(埋め込み)について 展開図で机ボード(埋め込み)W3000xH1100 と記載がありますが、仕様が不明です。ご指示下さい。	質問番号 154 の回答を参照してください。
978		A-005	鍵箱について 特記仕様書の建具工事に鍵箱と記載がありますが、仕様が不明です。ご指示下さい。	質問番号 88 の回答を参照してください。
979		A-021 MP-002	LGBT WC について 仕上表で備考に洗面カウンターと記載がありますが、給排水衛生設備器具表より設備工事と考えてよろしいですか。	よろしいです。
980		A-021 A-118	SK の棚について 仕上表でパイプ棚と記載がありますが、部分詳細図では棚板:シ合板フラッシュとなっています。部分詳細図が正と考えてよろしいですか。	よろしいです。
981		A-117	可動式防煙垂壁(MSF)について 部分詳細図で枠の仕様が St 1.6t と SUS304 1.5tHL の 2 種類記載されていますが、両方とも必要と考えてよろしいですか。その場合、	SUS304 1.5tHL としてください。

			枠の納まりを改めてご指示下さい。	
982		A-111	移動間仕切下の仕切材について 移動間仕切下の床下地が OA フォアの場合、OA フォア内に仕切材は不要と考えてよろしいですか。又、必要な場合、仕切材の仕様をご指示下さい。	必要です。A-015 図 F21 の仕様としてください。
983		A-137 A-143	消火器・消火栓表示の数量について サイン意匠図で 42 か所と記載がありますが、サイン特記仕様では、消火器・消火栓設備数量に準ずるとあります。サイン特記仕様が正と考えてよろしいですか。	42 か所としてください。
984		A-003	室内化学物質の濃度測定方法について 特記仕様書(意匠)-1 には吸引方式(アクティブ法)または拡散方式(パッシブ法)とありますが、コストの面よりパッシブ法で考えてよろしいですか。	どちらも可としますが、監督員と協議の上選定してください。
985		A-144	新東棟 配管ピットについて ピット平面図にマンホール・トラップ・釜場の記載がありませんが、各々1 か所必要と考えてよろしいですか。	よろしいです。
986		A-144 S-82	新東棟 スラブについて 構造図のスラブリストで「2F 以上の S21・22 は F デッキとする」とありますが、意匠図で 2F スラブ 下に木毛セメント板 t50 打込の記載があります。意匠図を正と考え、2F スラブ は在来型枠と考えてよろしいですか。	よろしいです。

987	A-144	新東棟 2F 各部屋の柱型 RC 面仕上について SCC 塗装と考えてよろしいですか。	よろしいです。
988	A-144	新東棟 ゴミ庫・土嚢収納庫の排水溝について W200xH100 防水珪藻土金罫 グレーチング 蓋無しと考えてよろしいですか。	質問番号 225 の回答を参照してください。
989	A-021	2F MWC-E・FWC-E の鏡について 仕上表の備考に鏡:既製品 t16 360x1100 と記載がありますが、枠等の仕様が不明です。ご指示下さい。	新庁舎のWC鏡と同仕様としてください。
990	A-018 A-021	2F 洗濯・乾燥室の物干しについて 仕上表で杉田エス:室内用フック 400 同等品と記載がありますが、設置個数は 1 か所と考えてよろしいですか。	質問番号 230 の回答を参照してください。
991	A-005	鍵箱について 特記仕様書に鍵箱の記載がありますが、新東棟には鍵箱不要と考えてよろしいですか。必要な場合、仕様をご指示下さい。	質問番号 88 の回答を参照してください。
992	A-003	化学物質濃度測定の有無について 特記仕様書の室名に新東棟の該当がありません。 化学物質の濃度測定は不要と考えてよろしいですか。	よろしいです。 最終的な測定か所については監督員との協議によります。

993	A-005	<p>アル建具の性能について</p> <p>アル建具の性能が不明です。水密性 W-5、気密性 A-4、遮音性 T-2 と考えてもよろしいですか。</p>	よろしいです。
994	A-034 A-081 A-084	<p>廊下 3-4・4-6 欄間突出窓付 FIX 窓について</p> <p>矩計図-2 ではそれぞれ欄間突出窓付 FIX 窓とありますが、建具案内図-2・建具姿図-3 では廊下 3-4 は AW-307 片引窓付 FIX 窓、廊下 4-6 は AW-415 片引窓付 FIX 窓とありくい違います。建具案内図-2・建具姿図-3 を正と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
995	A-080 A-081 A-092	<p>AG-106 について</p> <p>建具表-6 では 2 か所とありますが、建具案内図-1・2 では確認できません。該当なしと考えてよろしいですか。</p>	質問番号 269 の回答を参照し、建具表を正としてください。
996	A-029 A-092	<p>倉庫 H1-1・1-3 AG-104 の H 寸法について</p> <p>建具表-6 では H2200 とありますが、立面図-1 では H1600 程度とくい違います。建具表を正とし H2200 と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
997	A-085 A-092	<p>建具形状について</p> <p>建具姿図と建具表で下記のようにくい違います。それぞれ建具表を正と考えてよろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">建具姿図 建具表</p> <p>ACW-201 欄間突出窓付 FIX 窓 欄間突出 FIX 窓片開框戸</p>	<p>建具姿図を正としてください。</p> <p>なお、ACW-201、202、309 は自然通風用チャンバー部も含まれます。</p>

			ACW-202 FIX 窓 FIX 窓片開框戸 ACW-302 片引窓付 FIX 窓 片引窓 ACW-402 片引窓付 FIX 窓 FIX 窓 ACW-309 欄間突出窓付 FIX 窓 欄間突出 FIX 窓片開框戸	
998		A-029 A-085 A-092	ACW-302・402 のガラス割付について 建具姿図-4 では欄間はありませんが、立面図-1 では欄間がありくい違います。建具姿図を正とし、欄間なしと考えてよろしいですか。	よろしいです。
999		A-029 A-089	ガラスの割付について 下記建具が建具姿図と立面図にてガラスの割付がくい違います。全て建具姿図を正と考えてよろしいですか。 ・GCW-205 ・GCW-401 ・AW-205 ・AW-404(Y8 通り)	よろしいです。
1000		A-086 A-092	GCW-401 について 建具表では W13700 とありますが、姿図では W23700 とくい違います。 姿図を正とし、W23700 と考えてよろしいですか。	よろしいです。

1001	A-035 A-081 A-085	<p>執務室 3-A・正副議長室 ACW-301 について</p> <p>矩計図-3 では欄間突出窓付 FIX 窓とありますが、建具姿図-4 では FIX 窓とくい違います。建具姿図を正と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
1002	A-033 A-082 A-091	<p>SW-104 の H 寸法について</p> <p>建具表-5 では H645 ですが、建具姿図-1・矩計図-1 では H345 とくい違います。建具姿図-1・矩計図-1 を正とし、H345 と考えてよろしいですか。</p>	質問番号 284 の回答を参照してください。
1003	A-080 A-091	<p>1F 売店 SW-110 の防火性能について</p> <p>建具案内図-1 では一般ですが、建具表-5 では特定防火設備(遮煙)とありくい違います。建具表を正とし、特定防火設備(遮煙)と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。
1004	A-029 A-090	<p>SSD-101 の H 寸法について</p> <p>建具表-4 では H2900 とありますが、立面図-1 では H3600 程度とくい違います。建具表を正とし H2900 と考えてよろしいですか。</p>	質問番号 288 の回答を参照してください
1005	A-030 A-083 A-090	<p>SSD-103 の W 寸法について</p> <p>建具表-4 では W3430 ですが、立面図-2 では W3900 程度ありくい違います。建具表を正とし、W3430 と考えてよろしいですか。</p>	よろしいです。

1006		A-068~ 077 A-082~ 094	<p>建具の額有無について 下記建具が建具表と展開図で違いがあります。全て建具表を正と考えてよろしいですか。</p> <p>・建具表:額入 展開図:額なし</p> <p>SD-104(1F 執務室 1-C) SD-117(1F 作業優先会議室) SD-118(1F 印刷室) SD-302(3F 執務室 3-A) LD-102(1F:執務室 1-E、所長室兼応接室、消毒室、2F:検診室、診察室 1-1、1-2、検査室 1-1、救命室) LD-104(1F 清掃控室) LD-106(1F 執務室 1-D) LD-202(2F 相談室 2-1、授乳室 2-1、検査室 2-2、診察室 2-1、計測室、問診室) LD-204(2F 事務所兼相談室 2-A、2-B、栄養指導室、準備室) LD-206(2F 栄養準備室) LD-302(3F 相談室 3-1) LD-303(3F 執務室 3-A、庁議室、大会議室、市民相談室前室、市民相談室、市長室、副市長室、応接室、待合室、仮眠室(女)、仮眠室(男))</p>	よろしいです。
------	--	--------------------------------	--	---------

			<p>LD-304(3F 大会議室、測定室)</p> <p>LD-305(3F 大会議室、会議室 3-4)</p> <p>LD-306(3F ラウンジ、作業室)</p> <p>LD-307(3F 庁議室)</p> <p>LD-403(4F 正副議長室、議会事務局、 会議室 4-1、委員会室 1、2、執務室 4-C)</p> <p>LD-404(4F 執務室 4-A、正副議長室、 議会事務局、執務室 4-B、4-C、相談室 4-1、 4-3、4-4、議員控室 1~6、電話交換室)</p>	
1007		<p>A-091</p> <p>A-071</p> <p>A-072</p>	<p>建具扉の開き勝手について 下記建具が建具表と展開図で違いがあります。 全て建具表を正と考えてよろしいですか。</p> <p>・SW-203(前室 H2-1) 建具表:両袖 FIX 窓付両開框ドア 展開図:両開フラッシュドア</p> <p>・SW-208(多目的室(軽体操室)) 建具表:欄間部 FIX 窓付両開框ドア 展開図:両開フラッシュドア</p>	よろしいです。
1008		<p>A-080</p> <p>A-087</p>	<p>SD-009 について 建具表では外部建具指示がありませんが、2FEPS(X2-X3/Y4)は外部建具と考えられます。外部建具と考え、フッ素樹脂焼付塗装仕上</p>	よろしいです。

			と考えてよろしいですか。	
1009	A-081 A-088	4F 廊下 4-4 SD-402 の防火設備について 建具案内図-2 では一般ですが、建具表-2 では特定防火設備(煙感知器連動)とありくい違います。建具表を正とし、特定防火設備(煙感知器連動)と考えてよろしいですか。	よろしいです。	
1010	A-083 A-090	SS-201 について 建具表では W6370 とありますが、姿図では W6200 とくい違います。 建具表を正とし、W6370 と考えてよろしいですか。	よろしいです。	
1011	A-048 A-080~ 081	2F 検診室 2-1・計測室の建具について 展開図-5 において、建具符号のない片引ドアがあります。建具案内図を正とし、こちらは誤記と考えてよろしいですか。	質問番号 270 の回答を参照してください。	
1012	A-082 A-091	SW-305 について 建具表ではガラス記号・厚さが P-6、扉部 T-5 とありますが、姿図では P-8 の指示も確認できます。姿図を正と考えてよろしいですか。	よろしいです。	
1013	A-083 A-090	SSD-111 について 建具表では W2360 とあります。姿図では自動ドア部のみガラスと考えられます。自動ドア部を W1255 と考えてよろしいですか。	質問番号 290 の回答を参照してください。	

1014		A-082 A-083 A-091	SW-407、408、409 について 建具表、姿図ともにガラス記号・厚さ P-12+A+P-8 とあります。空気層の厚さが不明です。 A12 と考えてよろしいですか。	A100 程度の 2 重ガラスとしてください。
1015		A-090 A-091 A-093	飛散防止フィルムについて AW-204、AW-207、SW-106、TL-001 は強化ガラスですが飛散防止フィルムの指示がありません。無しと考えてよろしいですか。	よろしいです。
1016		A-084 A-086 A-092 A-093	AW-408、GCW-401 について 他の枠アのガラス記号・厚さは強化ガラスとありますが、AW-408、GCW-401 は Low-E6+A12+P6 とくい違います。建具表姿図を正とし、Low-E6+A12+P6 と考えてよろしいですか。	よろしいです。
1017		A-002 A-113	ガリの空調ダダ外接続部について 工事区分表でガリはダダ外接続枠まで建築工事、 接続ダダ・チャンバー・配管は機械工事とありますが、 部分詳細図ではホッパーまで建築工事となっています。また、参考数量書ではホッパーの計上はなく、チャンバー・接続金物のみ計上されています。 工事区分表記載を正と考えてよろしいですか。	部分詳細図を正とし、ホッパーまで計上してください。

1018	A-087 ~094	<p>飛散防止フィルムについて</p> <p>建具表では SW-107、108、109、111 の飛散防止フィルムは B とあります。しかし、それ以外の飛散防止フィルム B はスリットガラス(50x1800)に指示があります。SW-107、108、109、111 は飛散防止フィルム A と考えてよろしいですか。</p>	<p>飛散防止フィルムについては建具表を正としてください。</p>
1019	A-082 ~094	<p>建具形状について</p> <p>下記建具が建具表形式と姿図で違いがあります。</p> <p>LD-203 は両開フラッシュドア、それ以外は姿図を正と考えてよろしいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LD-203 → 両開フラッシュドア ・SSD-102 ・SW-301、303、304、306、401~403、406 ・ACW-201、202、302、309、402 <p>→すべて姿図を正</p>	<p>よろしいです。</p>
1020	A-099	<p>ACW-307 について</p> <p>耐火ボード上部の STPL-1.6 グラスウール充填を共としてと考えてよろしいですか。</p>	<p>STPL-1.6 共としてください。</p> <p>GW 充填は図中に記載のとおり建具外工事としてください。</p>
1021	A-086 A-092 A-101	<p>GCW のコマガラス工法について</p> <p>建具表の備考欄に St マリオン コマガラス工法の注記がありますが、参考数量書にはコマガラスの計上がありません。A-101 上部詳細図よりホリダー</p>	<p>よろしいです。</p>

			内に W20 を 2 本設置とし、ガラス種別は FLt6 と考えてよろしいですか。	
1022		A-086 A-092 A-101 A-049 A-053	GCW205・401 のコーナー部マリオン有無について GCW-205、401 コーナー 90°部分の詳細図がありません。また、建具姿図では GCW-205 と 401 でマリオンの有無が食い違っています。 平面詳細図では GCW-401 はコーナー部マリオン無しの図示ですが、GCW-205 はマリオンそのものの有無が不明です。いずれの建具もコーナー部はマリオン・コマガラスは無しで突合せシーリングのみと考えてよろしいですか。	建具姿図を正とし、GCW-205 はコーナー部マリオン有、GCW-401 はコーナー部マリオン無しとしてください。両建具とも直線部はマリオン有となります。
1023		A-080 A-093	新東棟 2F AW-E02 のか所数について 建具案内図-1 では 2 か所確認できますが、 建具表-7 では 1 か所とくい違っています。 建具表を正とし、2 か所と考えてよろしいですか。	2 か所を正としてください。
1024		A-080 A-093	新東棟 1F SD-E02 のか所数について 建具案内図-1 では 1 か所確認できますが、 建具表-7 では 2 か所とくい違っています。 建具表を正とし、2 か所と考えてよろしいですか。	1 階に 1 か所 2 階に 1 か所、計 2 か所としてください。

1025		A-082 A-088	<p>新東棟 SD-E01 について 建具表では H2500 とありますが、姿図では H2600 とくい違います。</p> <p>建具表を正とし、H2500 と考えてよろしいですか。</p>	<p>質問番号 283 の回答を参照してください。</p>
1026		A-080 A-093	<p>新東棟 2F LD-E02 のか所数について 建具案内図-1 では 6 か所確認できますが、建具表-7 では 5 か所とくい違います。建具表を正とし、5 か所と考えてよろしいですか。</p>	<p>よろしいです。</p>
1027		S-2 L-001	<p>外構工作物のコンクリート強度について 構造図特記仕様書では Fc21N/mm² SL15cm ですが、外構図特記仕様書では Fc24N/mm² SL12cm と仕様が食い違います。外構図特記仕様書が正と考えてよろしいですか。</p>	<p>構造図を正としてください。</p>
1028		S-73	<p>新庁舎雑詳細図-1 の外構土間スラブについて 外構平面図により、雑詳細図-1 の外構土間スラブは該当なしと考えてよろしいですか。</p>	<p>該当箇所がない場合は不要でよろしいです。</p>
1029		A-144 L-006	<p>新東棟 EX1 通りの犬走りについて 断面図は VS 側溝と外壁の間に犬走りのご指示ですが、外構図は外壁際に VS 側溝があり犬走りはありません。外構図を正とし犬走りはなしと考えてよろしいですか。</p>	<p>外構図の VS 側溝位置を正とします。</p> <p>外壁との隙間（屋根伏では表現されない部分）は A144 図に準じ、</p>

				コンクリートスラブとしてください。
1030		L-012 L-013	階段-Bの金属手摺について 仕様は詳細図-5のTS-Aに倣ってよろしいですか。	仕様詳細は、別添の質疑回答資料②を参照してください。
1031		A-146	多目的駐車場3・車寄せ2の鉄部塗装について 仕様表でウレタン樹脂塗装ですが、断面図はDP塗装で相違します。DP塗装を正と考えてよろしいですか。	A-146図のとおり、多目的駐車場3の支柱等鉄部はDP塗装としてください。 車寄せ2の支柱等鉄部は仕様表のとおりとしてください。
1032		A-145	駐輪場の駐輪台数について 下記台数と考えてよろしいですか。 駐輪場屋根-1：132台 駐輪場屋根-2：72台 駐輪場屋根-5：16台	駐輪場屋根-1：132台でよろしいです。 駐輪場屋根-2：駐輪ラックがないため、Wに応じた駐輪台数となります 駐輪場屋根-5：駐輪場ラックがないため、Wに応じた駐輪台数となります
1033		A-138 A-140	駐輪場サインについて 参考内訳書はES-13として1か所計上されていますが、サイン意匠図でES-13は欠番です。参考内訳書を正としES-13駐輪場サインを1	よろしいです。

			か所設置と考えてよろしいですか。	
1034		L-016	植穴の酵素管 φ150 と根囲い(H600)について 適用は中・高木のみで、低木は不要と考えてよろしいですか。	植穴の酵素管は、中・高木のみ適用としてください。 根囲いは、コグマザサ植栽範囲の外周のみとしてください。L-006 植栽計画図に準じてください。
1035		L-006	植栽計画図 駐輪場 1 西側のソカシ-B について 植栽リストに記載ありませんが、参考内訳書により樹高 7.0m、幹周 0.5m、枝張 3.0m、高木地下支柱-B と考えてよろしいですか。	質問番号 316 の回答のとおりです。
1036		L-009	CBH-A 舗装のコンクリートブロック品番について 詳細図にイワ:佐わび同等と東洋工業:ワの 2 社記載ありますが、使い分けがありましたら各々の該当範囲をご指示下さい。	使い分けはありません。
1037		A-007	特記仕様書-5 で適用○印のフェンスについて 外構図にフェンスの指示はありません。今回工事にフェンスがありましたら仕様と範囲をご指示下さい。	今回の工事にフェンスはありません。
1038		A-003 ~008	下記の費用について、特記仕様書には記載がありませんので、見積金額に含む必要は無しと考えてよろしいですか。 ・起工式・上棟式等に要する費用	下記のとおりとしてください。 ・起工式・上棟式等に要する費用：諸経費に含まれるものとします。

			<ul style="list-style-type: none"> ・中間検査、完了検査費用 ・省エネ法に基づく中間及び完了検査費用 ・建築物省エネ性能表示費用 ・バリアフリー法に基づく完了検査費用 ・福祉のまちづくり条例に基づく検査費用 ・昇降機設備の申請・検査費用 ・電気保安技術者費用 ・本受電後の基本料金 ・本設後、引渡しまでの電力、上下水道の基本料金 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間検査、完了検査費用：手数料は含みません ・省エネ法に基づく中間及び完了検査費用：手数料は含みません ・建築物省エネ性能表示費用：手数料は含みません ・バリアフリー法に基づく完了検査費用：手数料は含みません ・福祉のまちづくり条例に基づく検査費用：手数料は含みません ・昇降機設備の申請・検査費用：手数料は含みません ・電気保安技術者費用：本工事では見込まなくてよろしいです ・本受電後の基本料金：本受電後～引き渡しまでは受注者負担としてください ・本設後、引渡しまでの電力、上下水道の基本料金：本設後～引き渡しまでは受注者負担としてください
1039		A-003 S-1	土工事の埋戻し及び盛土の種別において、意匠図ではA種・B種、構造図ではA種とくい違います。意匠図を正と考えて宜しいでしょ	よろしいです。

			うか、ご指示下さい。	
1040		S-1	試験杭の長さは本杭と同様で宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
1041		S-2	マスコンクリートの適用箇所において、庁舎：基礎・基礎梁とありますが、免震層以下全て及び擁壁と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	基礎・基礎梁のみとしてください。
1042		S-2	マスコンクリートのセメント種類において、複数適用になっていますが、中庸熟ポルトランドセメントを採用と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	中庸熟ポルトランドセメントを採用することはよろしいです。温度応力解析にてひび割れ等の検証を行った場合のみ普通ポルトランドセメント採用可とします。
1043		S-2	擁壁のコンクリート強度及びスランプは、F c 3 0 S 1 5 と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
1044		S-42 S-48	基礎梁及び耐圧版下の捨てコン厚が t = 1 5 0 ありますが、溶接金網が必要と考えて宜しいでしょうか。またその場合の仕様は、φ 6 - 1 0 0 × 1 0 0 で宜しいでしょうか、ご指示下さい。	溶接金網は不要です。
1045		S-43	擁壁の配筋において、外側縦筋の定着は F C S 1 下端まで延ばし L 2 の長さ折り曲げと考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。

1046		A-022 S-10	梁貫通補強数量において、ピット階平面図の人通孔・連通管・通気管は含まれるものと考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
1047		A-036	ドライエリアの免震ピット床にある水勾配増打補強はD 1 0 @ 2 0 0 と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	厚みに応じて S-73 図の補強要領に準じて配筋してください。
1048		A-033 S-26	2階床外周部梁の納まりにおいて、2階伏図では通り芯ですが、矩計図では柱面に寄っておりくい違います。2階伏図を正とし、梁側面に増打を見込んで宜しいでしょうか、ご指示下さい。	構造図を正としてください。
1049		S-48	スラブ厚が $t = 350$ 以上の場合、幅止筋 D 1 3 @ 1 0 0 0 を見込んで宜しいでしょうか、ご指示下さい。	配筋は不要としてください。
1050		A-022 A-116	部分詳細図 D-1 0 3 において、水勾配が後打ちコンクリートですが、雑用排水槽・非常用汚水槽以外も後打ちコンクリートと考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	スラブ一体打ちとしてください。
1051		S-73 S-82	外構土間スラブ配筋詳細図の該当範囲があればご指示下さい。	新東棟周辺外構で一部適用となります。
1052		A-144 S-81	新東棟の B-B 断面図において、1階床 E X 1 通りにあるスラブは S 2 1 と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	上記、土間スラブとしてください。

1053		S-83	駐輪場の基礎梁地業は捨てコンのみとし、砕石は不要と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。 地盤改良を設ける箇所の砕石は不要です。
1054		A-146 S-83	多目的駐車場屋根3の基礎形状が外構屋根詳細図と基礎伏図とで違いがあります。基礎伏図を正と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	構造図を正としてください。
1055		S-83	多目的駐車場屋根3において、F34の地業は捨てコンのみとし、砕石は不要と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	捨てコン50、砕石60としてください。
1056		A-146	車寄せ屋根2の基礎下地業は砕石 t = 100・捨てコン t = 50と 考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
1057		A-010 A-202	新設着工時（解体工事完了後）の地盤レベルが不明です。土工事の掘削開始レベルをご指示下さい。	A-010 図及び K-001~010 図より解体完了後地盤レベルを算出してください。
1058	内訳書 P.26		参考数量書P. 26に異形鉄筋D38のガス圧接が計上されてお りません。継手はガス圧接と考えて宜しいでしょうか、ご指示下 さい。	よろしいです。
1059		A-002	共通特記仕様書-2の工事区分において、工事用電力、上下水道、 ガス料金（引込負担金、基本料金を含む）は工事別協議とありま すが、どのように按分するのかご指示下さい。	工事契約金額に応じて按分とお考え ください。

1060		A-003	<p>施工条件における施工時間の確認ですが、八潮市の休日を定める条例によると日曜日、土曜日、祝日、正月は原則不可とあります。工事工程上で止むを得ない場合は、監督員との協議及び事前に近隣等に周知の上、施工することは可能と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
1061		A-003	<p>施工条件において ZEB 補助事業に応募予定であるため補助事業スケジュールに合わせた施工管理とありますが、関連費用及び施工管理スケジュールについては、別途ご協議いただけると考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。</p>	<p>協議は行いますが、補助事業スケジュールによるものとし、契約期間が工事期間となります。</p>
1062		A-003	<p>施工条件に外構撤去工事については、電気配線等の埋設物の調査を行い着手することとありますが、調査及び撤去費用は別途協議いただけると考えて宜しいでしょうか。また、既存埋設物の図面等がございましたら、ご指示下さい。</p>	<p>費用は本工事に含むものとします。埋設物位置等については監督員との現地確認、協議の上着手するものとしてください。</p>
1063		A-003	<p>土工事における建設発生土の処理について、場外搬出適切処理とありますが、指定処分場の有無がありましたらご指示下さい。</p>	<p>指定処分場はないため、関係法令等に基づき適正に処分してください。</p>
1064			<p>計画地に土壤汚染は無いものと考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。</p>	<p>現段階では土壤汚染はないと考えてよろしいです。</p>

1065		A-003	県産品の使用についての記載がありますが、該当品における推薦業者・メーカー等がございましたらご指示下さい。	特にありません。製造所および専門メーカー選定時にできる限り県産品を使用させていただくことをお願いしています。
1066		A-203～ 205	仮設計画図の共通仮設について、指定仮設ではなく参考仮設と考え、大幅な仕様変更が発生した場合、ご精算して頂けると考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	参考仮設計画図は参考となりますので、計画は受注者にて検討してください。 原則として仕様変更に伴う費用は受注者対応となります。
1067		A-203～ 205	仮設計画図において工事用出入口は東西の2ヶ所に設置することが可能とありますが、追加で南側にゲートを設置することは可能でしょうか、ご指示下さい。	質問番号2の回答のとおりです。
1068		S-101～ 103	山留・構台計画図について、指定計画ではなく参考と考え、大幅な仕様変更が発生した場合、ご精算して頂けると考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	山留・構台計画図は参考図となりますので、山留計画は受注者にて検討してください。 原則として仕様変更に伴う費用は受注者対応となります。
1069		S-104	既存杭位置図において、既存杭は全て引抜き撤去することとありますが、建物に干渉しない範囲で既存杭を残すことは可能でしょうか、ご指示下さい。	全て撤去としてください。

			か、ご指示下さい。	
1070		L-007	仮設ロータリー平面図において、北側外構取合部の整地が本工事に含まれますが、表層仕上げの程度をご指示下さい。	再生砕石敷き均し程度として下さい。
1071	内訳書 P221	L-017	水路改修計画図において、車両出入口部水路の細目別内訳に山留（シートパイル）150 m ² と記載がありますが、山留計画図（参考図）がありましたらご指示下さい。	山留計画図（参考図）はありません。L-017 図より施工上および周辺地盤への影響が生じないように計画してください。
1072		L-017	車両出入口部水路改修に伴う山留及び水路撤去・新設工事において、道路管理者等との協議や道路占用許可申請等が必要になると考えます。また現段階ではどのような指導がなされるか不明慮ですので、入札段階で見込むべき一律の条件をご指示下さい。	施工は渇水期(11月～5月)に行うこととし、水路上を歩道として供用しているため、安全管理等を徹底してください。その他関係法令等に従い施工してください。
1073		K-003	撤去施設平面図において確認ですが、電柱移設は別途工事とあります。本工事着手前に移設されていると考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	電柱を所管する東京電力と協議の上移設となりますが、令和5年に外構工事と合わせての移設を予定しています。
1074		A-010 K-009	外構撤去施設詳細図において、防火水槽撤去に伴う山留工事が必要かと思われませんが、北側室外機置場のフェンスを含めた周囲に影響	防火水槽撤去期間に限り、室外機置場周辺の通路利用は不可とします。

			が発生すると思われます。工事期間中における隣地借用や現状復旧費用に関しては、別途協議いただけると考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。	撤去時期については、事前に監督員の承諾を得てください。 隣地借用については、別途協議となります。 近接する室外機等に影響が出た場合には、受注者負担にて現状回復を行ってください。
1075		K-009	外構撤去施設詳細図において、既存庁舎庇解体が本工事に含まれますが、庁舎運営上、解体作業における制限（作業時間等）がございましたらご指示下さい。	仮囲いや安全対策を行った上、監督員の承諾を受ければ特に制限はありませんが、来庁者や執務に影響が生じる恐れがある場合は、監督員との協議の上施工してください。
1076		A-021	内部仕上げ表において汚水槽、非常用排水層の仕上げがポリウレア樹脂ライニング工法とありますが、工法規格はB T - C工法程度と考えると宜しいでしょうか、ご指示下さい。	よろしいです。
1077	構造図	S-15	免震工事特記仕様書-1 5.1.3 免震部材のバラツキによる偏心の影響において個体特性に応じたレイアウトを行い確認された個体特性に基づき原則として建物重心位置に対してバランスよくレイアウトし、監理者の承認を得るとありますが、免震部材のレイアウトはS-24 免震部材配置図にて確定であると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。同符号部材の中での剛性などの個体ばらつきを考慮して、設置してください。

1078	意匠図	S-21 S-41 S-42	杭頭補強筋については、副基礎鉄筋要領図、基礎梁主筋の位置を検討すると干渉する可能性が大きいと推測できます。各杭頭部分の基礎配筋検討図を作成し、監理者と協議し杭頭補強筋等を変形させ配置しても宜しいでしょうか。	よろしいです。 なお、杭頭補強筋は均等間隔でなく、ある程度の対称性のある配置であればよろしいです。
1079	意匠図	A-203	参考仮設計画図-1において工事用出入り口2の他に南側市道2033線側に関係者との協議を経てご了承を頂いた上で設置しても宜しいでしょうか。	質問番号2の回答とおりです。
1080	意匠図	A-003	①一般共通事項-⑧施工条件でZEB補助事業に応募予定とありますが、確定となった場合の申請業務等の主体は設計監理者と考えておりますが、どのようなご計画でしょうか。ご教授願います。また、ZEBにおいて省エネ、創エネのための+αの設備が追加となった場合は工期も含め追加清算の対象としてご協議願います。	申請業務の主体は発注者及び工事施工監理者となります。また、補助申請手続きに必要な写真等の添付資料の作成について、受注者に協力いただくことになります。 補助対象事業の詳細については、受注者に提示します。 設備が追加となった場合は別途協議となります。 工期は補助事業スケジュールによるものとし、契約期間が工事期間となります。

1081	意匠図 構造図	A-203～ 205 S-101～ 104	参考仮設計画図にタワークレーン他の機種、敷鉄板の記載及び山留・構台計画図がご座いますが、タワークレーン他の機種変更、敷鉄板、山留・構台計画の計画変更等行って見積をして良いと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	参考仮設計画図及び山留・構台計画図は参考となりますので、仮設計画、山留計画等は受注者にて検討してください。 原則として仕様変更に伴う費用は受注者対応となります。
1082	八潮市 告示第 220号 他		配布資料に見積内訳書がご座いますが、配布資料には見積内訳書の扱いに付いての記載がご座いません、参考数量と考え、契約上の取り扱いにはならないと考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	「D1(1/5).八潮市アセットマネジメント推進課 030714 八潮市新庁舎建設工事(建築・南側外構工事)NO.1」は参考内訳書としてよろしいです。
1083	意匠図	A-120 A-128 A-130 A-131 A-133 A-135 A-136 A-137 A-146 A-115	<ol style="list-style-type: none"> 1. PC 版 2. 金属屋根 3. 防水板 4. 免震エキスパンションジョイント 5. 議場家具 6. 木製造作家具 7. 調理家具 8. サイン 9. 外構屋根 10. A-115/D-33 柱型化粧パネル 	設計図書に記載のあるとおり、同等品としてください。また、設計図書に記載のないものは、メーカーの指定はありません。

		11. A-115/D-37 遮光ルーバー の各参考メーカー、をご教示下さい。	
--	--	--	--